

30

かきせみ



修
'03.2

2003年春号

八王子・日野カワセミ会

MOKUJI

目次

2002年1年間に見た野鳥の種類数	2
2002年夏山探鳥	6
北の国から vol.4	10
安曇野だより No,16	12
探鳥日誌 No,17	13
探鳥の記録(2002年7月~12月)	13
鳥信(2002年7月~12月)	23
片倉城址公園(浅川流域探鳥図)	5
ツバメ巣調査・中間報告	35
2002年野鳥定期カウント結果	36
セイキレイの集団罅(2002年7月~12月)	41
ヒメアマツバメの動向(2002年7月~12月)	44
2002年浅川流域イワツバメ営巣調査	46
2002年秋のサシバ渡り調査結果	49
2002年片倉城跡公園巣箱調査	53
2002年我が家の庭に来る野鳥調査結果	55
2002年ツバメの集団ねぐら調査結果・活動経過概要	58
2003年冬鳥一斉調査	62

八王子・日野カワセミ会は
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです。

2002年 1年間に見た野鳥の種類数

取りまとめ：粕谷和夫

21名の会員から報告がありました。200種以上見たという人が8名（前年は6名）いました。感動したこと、その他特記事項欄には以下のようなことが記載されていました。

- 青木繁昌・・ヤブサメとハジロウロコハタオリチョウの写真を撮れたこと。
- 井手龍世・・昨年みたカッコウは今年は見ませんでした。ヤマセミも数年見ていません。集計の度に淋しい思いです。
- 井上典子・・4/11に高月浄水場の池でアカツクシガモ、7/17に多摩湖にてコグンカンドリ、5/25に戸隠高原でアカハラのサエズリをきいたこと、12/2埼玉県の川本町で73羽のコハクチョウ、12/6高尾山でルリビタキのサエズリを聞いたこと。以上初めて観たり聞いたりしたこと。12/14タシギを間近で双眼鏡で発見出来たこと。
- 今井達郎・・遠出探鳥が種類数に大きく貢献している。3月銚子（70種）、軽井沢（52種）、4月谷津干潟（39種）、5月戸隠（50種）、6月天売島（77種）、9月谷津干潟（37種）
- 大関 豊・・最近近場ばかりで種は増えません。
- 粕谷和夫・・回数178回の内訳は探鳥63回、観察会の支援・指導31回、野鳥調査84回です。調査84回は毎月の定期カウントが主体で、この他ツバメ巣調査、カラス巣調査、ツバメねぐら調査、セキレイねぐら調査、カラスねぐら調査に行った回数は84回の中には含まれていません。
- 木村信幸・・今年は公私ともに忙しく、殆ど探鳥に時間が割けませんでした。
- 佐伯直寛・・6月14日、北海道探鳥会にて天売島でウミガラス及びサロベツ原生花園でシマアオジに会えたこと。
- 佐藤サヨ子・①初めて見る鳥はいつも感動しますが、今年は2年間も歩いている大栗川でこの4月に始めてカワセミを見つけた時。
②やはり大栗川のほとりの民家の庭の木にアオサギを見つけた時。9月始めの頃でした。
③大栗川の裏にある支流、名前がないので私は勝手にドブ川と呼んでますが、大栗川の半分しかない狭い川です。両側に木が生い茂り、

水の中にも緑があり、コサギやカモ、キセキレイがいて、時々カワセミの姿も目にします。10月にゴイサギの幼鳥らしき鳥を見つけたのですが、今井さんに聞いてみたら喉から胸を見るように言われチャンスを待っていたら、11月25日川淵の柵に白い鳥を見つけ、白といっても薄い淡いオレンジ色か茶色を掛けたような色で、嘴も薄いオレンジ色で、肢は黒でした。それでよく見ると、水の中にゴイサギの成鳥がいて柵の外にはこの前見た茶色のがいました。

④真向かいにある大塚公園で6月に2羽のコジュケイを見たのですが、10月に入って買い物の帰り大塚公園を通ったら、何時もキジバトに出会う原生林として残してある部分の囲いの外に4羽のコジュケイがいたのにびっくりしました。

島崎太郎・・2002年のベスト5 (コベニヒワ 1/11 斜里港、ツメナガホオジロ 3/10 濤沸湖、シマアオジ 5/23 濤沸湖、ミヤマ+コクマルガラス 12/7 女満別、ウミオウム 12/27 納沙布岬)

傍島玲子・・多摩霊園のイスカ、上野の不忍池のアカツクシガモ、狭山湖のゴンカンドリをウオッチング出来たことはラッキーでした。特にイスカは3回目にやっと出会いました。7区に移動してシジュウカラ30羽の群と共に行動しており尾がちぎれていました。写真を撮る人達も全くいなくなり静かな中に枝々を元気に飛び回っている姿。色は褪せている様でしたが上下のアンバランスなクチバシがとてもおかしく、可愛く印象深く残っています。

細田富美代・①天売島のウトウとウミネコ (空が暗くなり始める頃、空、海、陸、数十万のウトウとウミネコに占領される。餌を求めてウトウ対ウトウ、ウトウ対ウミネコの攻めぎあい、迫力満点である。思わず自分も力を入れていた)。

②黒川清流公園のヒレンジャク (粹に澄まして枝に止まっている姿、歌舞伎役者だ。フンをする姿もステキ。群をなしている姿を見たい7回通い3回会う事ができた幸せ有難う又会いに来てくださいね)。

③谷地川のオオタカ (流れを挟んで5分間(?)のにらめっこ。精悍な姿に圧倒され、興奮で動悸治まらず。飛び立つ早さもすごい。土手に駆け上がったが姿見えず、別れを惜しむ時さえ与えてくれなかった)

丸山二三夫・* 2月に木曾川河口でコウライアイサを、さらに足を伸ばして琵琶湖でアカハシハジロを初認。遠出をした価値充分あり。

* 同じ2月に初めて苫小牧航路を体験。

* 4月下旬自宅で夜にアオバズクの鳴き声を聞いたこと。

山崎久美子・11/3-の瀬林道でキビタキを見たこと。10/7通勤途中に息絶えているオオルリ♀を道路の端で見つけたこと。皆さんで楽しい探鳥会に数多く参加できたこと。

山崎悠一・・・昨年に比べ、天売島と舳倉島で見た鳥が種類数を稼いだ。特に天売島のケイマフリ、ウミスズメ、ウトウと舳倉島のシロハラホオジロ、ムギマキを見たこと。

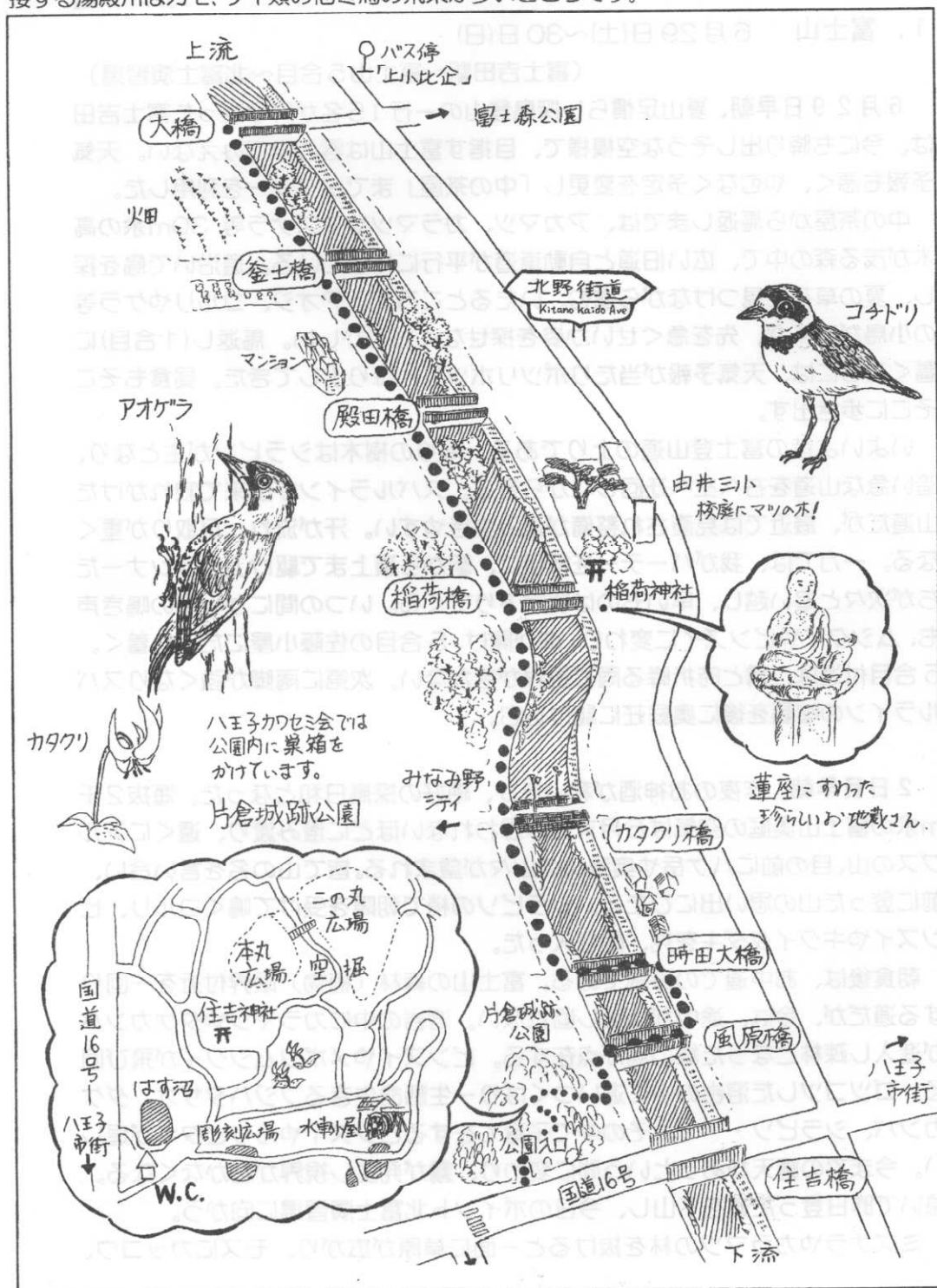
若狭誠・・・初めて見たヒレンジャクの尾羽の赤色、ミヤマホオジロの喉の黄色が印象に残った。カウント外ですが、ニュージーランドのファンテイルが可愛かった。

1年間に見た日本の野鳥の種類数（過去の報告者含む）

報告のあった 会員名	種類数						種類数	回数
	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	
青木繁昌		210	197	236	173	168	165	
井出龍世	97	94	96	98	101	92	95	32
井上典子							137	40
今井達郎	203	183	166	158	174	175	202	43
大関 豊	165	195	169		132	137	135	115
小川清成							152	24
粕谷和夫	181	203	178	215	170	176	235	178
木村信行			105	123	99	131	90	9
倉本 修			229	271	248	214	241	
佐伯直寛			156	228	186	205	230	39
佐藤サヨ子						122	111	61
嶋崎太郎			112	129		176	217	70
鈴木了一							33	12
傍島玲子						91	134	35
新田 茂		141	156		138	119	110	96
細田富美代					75	140	172	67
丸山二三夫	134	167	160	134	225	233	245	108
山崎悠一	228	208	218	213	228	209	228	113
山崎久美子	203		177	190	208		196	72
柚木育子							202	
若狭 誠	205	186	196	200	228	87	149	48

片倉城址公園

室町時代に築城された片倉城の跡、尾根続きの丘陵は開発によって、その原風景の多くを失いましたが、ここは、未だその面影を残している公園です。冬季はカウ類を中心に、また、隣接する湯殿川はカモ、サギ類の他冬鳥の飛来が多いところです。



本マップは、1999年10月に発行した「浅川流域探鳥図」より抜粋したものです。

2002年夏山探鳥

門口 一雄

1. 富士山 6月29日(土)~30日(日)

(富士吉田駅~富士山5合目~北富士演習場)

6月29日早朝、夏山足慣らし探鳥登山の一行15名が降り立った富士吉田は、今にも降り出しそうな空模様で、目指す富士山は雲の中でみえない。天気予報も悪く、やむなく予定を変更し「中の茶屋」までタクシーを利用した。

中の茶屋から馬返しまでは、アカマツ、カラマツやミズナラ等30m余の高木が茂る森の中で、広い旧道と自動車道が平行に伸びている。道沿いで鳥を探し、夏の草花を見つけながら進む。いたるところで、アオジ、コルリやケラ等の小鳥が鳴くが、先を急ぐせいか姿を探せなくもどかしい。馬返し(1合目)に着くころには、天気予報が当たりポツリポツリと降り出してきた。昼食もそこに歩き出す。

いよいよ昔の富士登山道の上りである。周りの樹木はシラビソが主となり、暗い急な山道を右へ左へ迂回しながら登る。スバルラインが出来て寂れかけた山道だが、最近では見直され整備が進み歩きやすい。汗が流れ、足取りが重くなる。一方では、我がパーティーを横目に、駅から頂上まで駆け上るランナーたちが次々と追い越し、早いものは駆け下りてくる。いつの間にか小鳥の鳴き声も、ムシクイやビンズイに変わり、森が開け、5合目の佐藤小屋にたどり着く。5合目付近は、霧と時折降る雨で視界がきかない。次第に雨脚が強くなりスバルラインの喧騒を後に奥庭荘に駆け込む。

2日目早朝、昨夜のお神酒が利いたか、絶好の探鳥日和となった。海拔2千m余の富士山奥庭の空気は6月末とは思われないほどに澄み渡り、遠くにアルプスの山、目の前にハケ岳や奥秩父の山々が望まれる。皆で山の名を言い合い、前に登った山の思い出にひたる。シラビソの梢で朝陽を受けて鳴くコルリ、ビンズイやキクイタダキを見、聞き入った。

朝食後は、お中道での探鳥である。富士山の森林(植物)限界付近を一回りする道だが、今は、途中が崩落し回れない。溶岩の中にカラマツやダケカンバが進入し疎林となった緑の島が点在する。ビンズイやメボソムシクイが飛び回る。ゴツゴツした溶岩の中に這いつくばり一生懸命生きるフジハタザオ、ダケカンバ、シラビソ・・・、その中で子育てをするビンズイやルリビタキが逞しい。今までの晴天があっという間に変わり、霧が発生し視界が利かなくなる。急いで昨日登った道を下山し、今日のポイント北富士演習場に向かう。

ミズナラやカラマツの林を抜けると一面に草原が広がり、モズにカッコウ、

コヨシキリ、黒い顔のノビタキそしてホオアカなど草原の鳥のオンパレードである。今までよく見られなかったうっ憤が一気に吹っ飛び心地よく「足慣らし探鳥登山」をシメることができた。厳しい登りだったが、小鳥の鳴き声、花や緑囲まれ思い出に残る探鳥登山であった。

確認した野鳥

アカハラ ヒガラ アオシ ウグイス ビンズイ ホオジロ コゲラ カッコウ ホトトギス キビタキ ヤブサメ コルリ ヒヨドリ イカルコムドリ ハチクマ モズ メジロ ゴジュウカラ コガラ アオバトメボソムシクイ ウソ ルリビタキ ホシガラス キクイタダキ ミソサザイ アマツバメ カヤクグリ キバシリ キセキレイ エナガ ホオアカ ノビタキ コヨシキリ アカゲラ ツバメ ツツドリ オオルリクロツグミ シジュウカラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス キジバト スズメ(46種)

参加者(敬称省略；順不同)

今井達郎 石橋公子 大川征治 大川香 青木静子 倉本修 白川司 白川史子 傍嶋玲子 丸山二三男 細田富美代 萩原正昭 柚木鎮夫 矢崎恵美子 門口一雄 門口裕子 (16名)

2. 仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳 (7月20日~22日)

20日早朝、高尾を発ち甲府からバスで広河原、そして村営バスに乗り換え南アルプススーパー林道を進み北沢峠に昼前に着いた。峠は、樺などの高木に囲まれ、あふれる緑が夏の日差しを遮り、薄暗くひんやりとしている。

北沢峠は、甲府側と伊那側からのバスの終点で、ハイカーやキャンパーで賑わい海拔2,000m余の山の中とは思われない。バス停の周りでは、テントがはられ移動郵便局が開設され記念切手を売る等、スーパー林道が通る前の深山幽谷の森とは一変していた。思いのほかの賑わいに環境への影響が気になる。

我々一行16名は、今日の目的地馬ノ背ヒュッテを目指して先を急ぐ。大平山荘の前を通り、樹林の中の急坂を進む。僅かのスペースを探し昼食をとった。目の前の苔むした倒木の周りを飛び交うコマドリを見た。小川を渡り、ガレ地を登り、草地を横切り、ミソサザイに見入り、クルマユリに立ち止まり、イチヨウランを初見だと喜び……。あえぎあえぎ進み、今宵の宿馬ノ背ヒュッテに4時過ぎに着いた。

21日午前5時過ぎ、仙丈ヶ岳の頂上を目指して出発する。満員の山小屋で寝不足気味だったが、思ったより元気である。天気も安定し登山日和である。仙丈小屋まで、小さなお花畑を右に左に見送り、朝のすがすがしい空気を吸って快適に進む。仙丈小屋の前には、カールの雪融け水を集めているのだろうか、冷たい水が小川のように流れ、とても3,000m近い高地とは思えない。小屋には、風力発電用の小型風車が数基設置され、仙丈からの吹き降ろしにさらされプロペラが吹き飛ばすように回っている。3,000mの山には風車は似合わない。

カールの縁を回り一気に頂上に向かう。頂上直下でチョウゲンボウのホバリングやイワヒバリがガレ地で餌を探すのを見た。チョウゲンボウは、イワヒバ리를追って登ってきたのだろうか、このような高地でみるのは初めてである。

登り始めて約2時間、日本第10指に数えられる、標高3,033m仙丈ヶ岳頂上に到着する。360度の眺望が開ける。南から塩見岳、はるか彼方に荒川三山、目の前に北岳と南アルプスの山々が一望される。北岳の奥には、3週間前に足慣らして挑戦した富士山が頭を出す。北には、目の前に明日挑戦する甲斐駒ヶ岳を中心に右に鳳凰三山、左に鋸岳からハヶ岳へと続く。足元には仙丈カールと登ってきた道が左に、右には下山路が尾根をたどり北沢峠の深い緑の森へ吸い込まれるように伸びている。息を切らして登った疲れを忘れ、地図を広げ山々を確認し合い、たがいの頑張りをたたえ、記念写真を撮って北沢峠に向け下山する。

北沢峠からキャンプ場そして北沢を渡り、今日の宿泊地仙水小屋に4時過ぎに到着する。途中、ヒガラ、ルリビタキの水浴びやミソサザイが巣に出入りするのを見た。小屋は昨夜とは違い空いていて、広々と利用できた。ビールを飲みながらの「花合わせ」では、100種近くを数え「花の仙丈」にガッテンした。

22日午前5時過ぎ、駒ヶ岳を目指して出発する。林の中をしばらく行くと視界が開けゴロゴロした岩の山が現われる。この先の行程が心配されるが、ルリビタキ、ホシガラスが出現し、この先の鳥運に期待する。一步一步足場を探し、岩を踏みしめ最初のポイント北沢峠に着く。峠からの急坂は、シラビソ林の中の日陰と、ときおり見える仙丈ヶ岳の眺めに救われ登る。林相がハイマツ等の低木に変わり駒津峰に着く。駒津峰は下山路の分岐で、見晴らしがよく駒ヶ岳への狭い尾根筋とアップダウンを繰り返す登山道、花崗岩の白味かった山肌、そして山頂が目の前に展開する。

登っては降り、岩を跨ぎ、急坂の連続に汗が流れ息が切れる。イワヒバリが目の前に現れ、疲れを忘れて見入った。上空ではアマツバメの群れが雲と共に舞い上がる。すれ違う登山者に「もうすぐだ。」と励まされ10時半過ぎ全員登頂。バンザイ。頂上からは、ハヶ岳や中央アルプスの山々が望めたが、間もな

沢峠を目指して下山する。

3日間とも天気に恵まれ、全員が頂上を踏み、無事下山できたことを感謝します。そして、草花のこと、樹木のこと、山の名前のこと等教えてくれた方々、鳥を見つけ、適切なアドバイスをしてくれた方々ありがとうございました。心に残る山行となりました。また、80歳3ヶ月で3,033m登頂の「カワセミ会ギネス」を更新した今井さんおめでとうございます。初日の昼下がりの暑い中の登りや、2日目の仙丈ヶ岳から北沢峠までの約1,000mの長い下り、草花も少なく、ガレ場が多い駒ヶ岳の登り降り等、今井さんに引っ張られて登る事ができました。2003年夏山も是非挑戦してほしいです。

山小屋で今井さんに指導受けた「今井流健康法」

- ① カワセミ会の探鳥会に積極的に参加する。
- ② 階段は1段飛ばしで上る。
- ③ ふとんの中で、数分間両足を数センチ上げ右に左に動かす。
- ④ ダンベルを持ち膝の屈伸をする。

を励行し、今井さんの記録に近づきたいと思います。

確認した野鳥

ミソサザイ ヒガラ クマタカ チョウゲンボウ イワツバメ イワヒバリ
カヤクグリ コマドリ ルリビタキ ウグイス メボソムシクイ キ
クイタダキ コガラ ウソ ホシガラス ハシブトガラス エナガ ジュ
ウイチ ヤマガラ ゴジュウカラ カケス ビンズイ トラツグミ アマ
ツバメ(24種)

参加者(敬称省略；順不同)

今井達郎 青木静子 倉本修 白川司 白川史子 丸山二三男 細田富美
代 宮越俊一ご夫妻 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 矢崎
恵美子 門口一雄 門口裕子 (16名)



北の国から vol.4

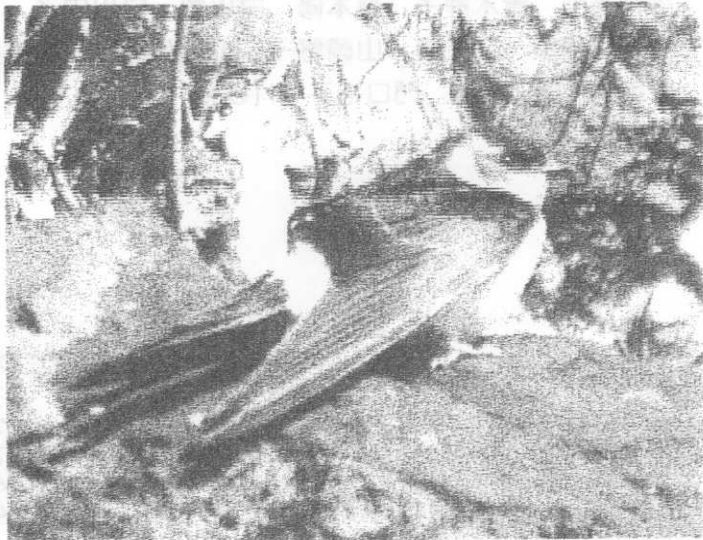
嶋崎 太郎

1. 初冬の珍事

11月14日、その日も僕はいつものように大学で講義を受けていました。しかし、居眠り常習犯の僕は、授業が始まってしばらくすると次第に夢の世界へ……。先生には申し訳ないとは思っているのですが、どうしても眠たくなってしまふんですよね……。でも、何故授業中の居眠りってあんなに気持ちがいいんでしょうか。誰かそこのところを研究して発表でもしてくれないかなあ……。ま、それはさておき、僕が居眠りをし始めてすぐにポケットの中に入れておいた携帯電話が「ブルブルブル……」と震えだしました。心地よい眠りを妨げられた僕は「誰だ、授業中にメールなんてする奴は。」などと、自分のことを棚にあげてぶつぶつ言いながら携帯を見ると(居眠りとメール、もちろんどちらも授業中にははいけませんよ)、地元バーダーのKさんから「今日ニッ岩海岸*から海岸町*にかけてコシアカツバメが20羽くらい出たらしいよ。」とのことでした。「コシアカかあ、そういえば今年は見てなかったなあ、見たいなあ、でも授業が夕方まであるんだよなあ。サボっちゃうか？」などとよからぬことも考えましたが、結局次の日に授業が終わってから行くことにしました。僕は真面目ですから(笑)

ここで、関東にお住まいの皆さんなら「何だコシアカぐらい。」と思われるでしょう。しかし、オホーツク地域においては今までに2、3回しか確認されていないいわゆる珍鳥なのです。しかも本来ならとくに南に渡っている時期に集団で現れたのですから驚くべきことなのです。

さて、話を戻しまして翌15日、その日は1限で授業が終わったため、早速ニッ岩に向かいました。そして到着してみてビックリ、かなりの数のコシアカツバメがニッ岩の周りを飛び回っています。全部で40羽くらいでしょうか、前日より数が増えているようです。しかし、その日は日中でも2℃と気温が低く、衰弱しているのか飛んではすく



に岩に体を押しつけるようにして止まり、しばらく体を温めてからまた飛び立つという様子でした。このままでは、餌も取れずに衰弱してしまい、命を落としてしまいます。何とかならないかと思い、Kさんなどが釣りえさを買ってきたりしたのですがやはり食べてはもらえず、仕方なく僕たちはその場を去りました。

その後聞いた話によると、コシアカツバメはニッ岩周辺だけでなく、斜里町*³や湧沸湖、能取湖方面、また留辺蕊(るべしべ)町*⁴などという山間部でも記録されるに至り、推定で100羽程度の個体がオホーツク地域に飛来したのではないかとのことです。しかし、残念なことに、餌不足や寒さのために、その少なくとも五割は命を落としてしまったようです。この現象を知った多くの人たちは、「渡り遅れた群れが気流に巻き込まれて迷行したのではないか。」思われているようですが、僕はそう思いません。むしろ、時々ニュースなどで取り上げられる、クジラなどの群れが方向感覚を失い座礁してしまうといった現象と同じなのではないか、と考えています。もちろんこれは僕の勝手な推察であり、正しいかどうかはわかりません。しかし、このような現象の原因を究明し、防ぐことが可能なのではないのでしょうか。このようなことに詳しい方がおられましたらご一報いただけると幸いです。

*1 ニッ岩海岸…網走市街から北に3 km程いったところにある、ニッ岩という大きな岩がある海岸。すぐ近くには水族館がある。

*2 海岸町…網走市街とニッ岩の中間地点にあたる地域。

*3 斜里町…網走から真東に40 km程いったところにある町。カモメで有名。

*4 留辺蕊(るべしべ)町…網走と旭川の大体中間にあたる町。

1. スズメの出張

私の家にはスズメの巣が分かっているだけで5個あります。多分もう少し多いのではないかとも思っています。引っ越してまもなくのこと、私が野鳥の会に入っていることを知ったお隣りのおじさんは

「スズメだけは呼ばんでくれな」

と言っていました。お隣りのお宅は裏に田んぼがあり、スズメは稲穂を食べる害鳥とみているのでしょう。(分かりました)と応えておいたのですが、いつの間にかスズメの巣だらけになってしまいました。

昔、スズメのお宿はお化け屋敷のようだ、と聞いたことがあります。スズメが持ち込む巣材(ワラや枯れ草)が積もり積もって、さらにはあふれて垂れ下がる様子を指したものと思います。私の家の場合でも、瓦の下や軒下の穴に作った巣はきれいで、そこに巣があることは言われなければわからないのですが、北と南のてっぺんの垂木に作った巣は、まさにその状態でよくもまあこんなに持ち込んだものとあきれてしまいます。風が吹くと、一部は落ちて屋根や下はゴミだらけ、また、といをふさぐなど困ったものであります。最初のうちは巣も小さくてお化け屋敷にはなっていなかったので(まあいいか)と大目にみていたのですが、こうも目立ってくるとお隣りのおじさんとの約束も気になって、子育てが終わった秋に、この二つだけは取り除きました。

そんなわけで家のまわりには、一年中スズメがいて賑やかなのですが、パタッと静かになる時期があります。いつとき、スズメがいなくなるのであります。ほんとにまったく姿を消すのであります。いなくなる時期は、九月中~十月初めでありまして、いったい何処へ行ってしまおうんでしょうかね？

この頃、安曇野の田んぼでシギチを探していると、スズメの群れに良く出会います。巣立ったスズメの若鳥は新天地を求めて旅立ちするらしいのですが、それはそれは過酷な旅で、生き残るのはわずかと言います。旅立ち前の若鳥らが群れを作って田んぼにいるのだと思っていたのですが、どうやら親スズメも稲穂に群がっているようなのであります。何故そう思うのか、というと稲刈りが終わって、しばらくすると家にもスズメを見るようになります。稲穂の実った時期は田んぼに出張していると考えればつじつまが合うのであります。ほんとかな？

「スズメだけは呼ばんでくれな」

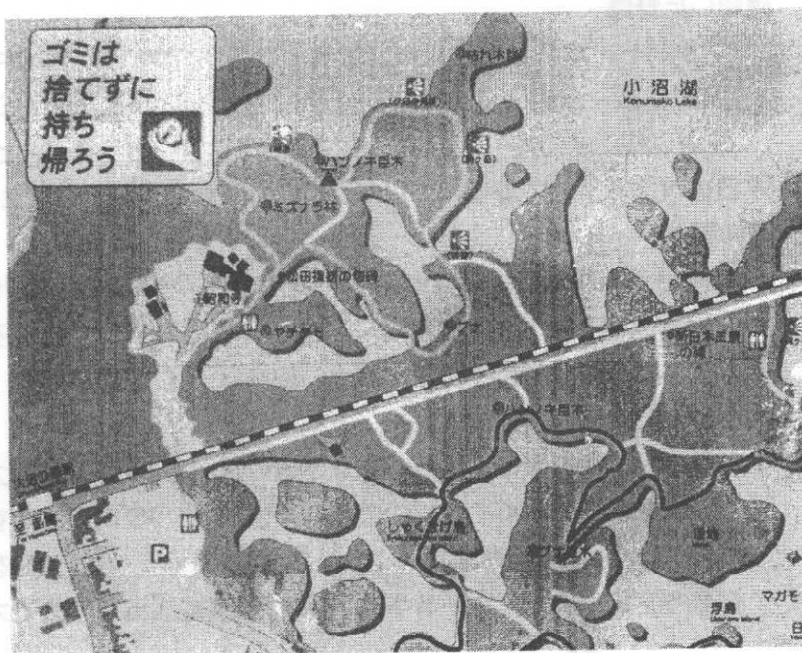
という、お隣りのおじさんの声はある意味切実なものだったのであります。来年は、きちっと観察しようと思っています。

函館より特急で20分で行ける大沼国定公園は、駒ヶ岳を背景にその裾野に点在する、「大沼」、「小沼」、「じゅんさい沼」の三つの沼からなる特別保護区の自然公園です。公園の中心である、大沼は入り組んだ湖岸線を持ち、湖面に大小126の島があり、遊歩道で島から島で渡れ、回遊式の日本庭園を思わせる優美な風景を堪能することができます。

大沼公園駅前の観光案内所で、マップを頂きスタートです。探鳥には、函館本線の西側に広がる小沼が訪れる人も少なく適しています。大沼公園駅から函館本線を左側に見ながらしばらく歩き、左に折れ踏切を越えます。民宿の前を通り右よりの道を選びます。トイレの先を左折し昭和寺の裏側を通り小沼に出ます。このあたりが第一のポイントでした。当日(11月中旬)は、訪れる人も無く白一色の静寂な景色でした。突然梢の雪が落ち、黒い鳥が横切りました。カラスにはおかしいと思い周囲を探すと、全身が黒一色、頭上の鮮明な赤が目立つ、クマゲラのみでした。幹線道路からそう奥に入っていない場所で初認でした。

第二のポイントは、大沼湖遊歩道の奥まったところでした。湖月橋が見えるところに暖炉のあるしゃれた喫茶店があります。ここより大沼公園駅方面に数分歩いたところです。キバシリ、ミヤマホオジロ、ハシブトガラ、カケス、ミソザサイ、ヤマガラ、メジロが次々現れ一歩も動けない状態が続きました。キバシリの番と思われる仲のよさそうな2羽、白い背景に黄色と黒が鮮明なミヤマホオジロ、ヤマガラ、メジロも関東で見るよりはるかに美しく見えました。

地元探鳥会を主催されている方と懇意になり、函館までの帰路車で一緒にさせて頂きました。大沼では国際セミナーハウス、森林公園周辺、駒ヶ岳登山口などがポイントのようです。白鳥台で鳥合わせ時にトビに混じってオジロワシが現れフィナーレとなりました。



探鳥の記録（2002年7月～12月）

取りまとめ：山崎悠一

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ① 7月14日（日） | 月例探鳥会：醍醐林道 |
| ② 7月20日（土）～22日（月） | 遠出探鳥会：仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳 |
| ③ 8月11日（日） | 月例探鳥会：早朝高尾山 |
| ④ 9月1日（日） | 遠出探鳥会：谷津干潟 |
| ⑤ 9月8日（日） | 月例探鳥会：多摩川（市民グランド～JR中央線鉄橋） |
| ⑥ 10月5日（土） | 遠出探鳥会：葛西臨海公園 |
| ⑦ 10月13日（日） | 月例探鳥会：多摩川（JR日野鉄橋～多摩大橋） |
| ⑧ 10月22日（火） | 平日探鳥会：葛西臨海公園 |
| ⑨ 11月10日（日） | 月例探鳥会：浅川（ふれあい橋～一番橋） |
| ⑩ 11月21日（木） | 平日探鳥会：道満・彩湖 |
| ⑪ 11月23日（土） | 遠出探鳥会：丹沢湖 |
| ⑫ 12月8日（日） | 月例探鳥会：浅川（一番橋～長沼橋） |
| ⑬ 12月14日（土） | 遠出探鳥会：横浜舞岡公園 |
| ⑭ 12月31日（火） | 大晦日探鳥会：多摩湖・狭山湖 |

① 7月14日（日）：月例探鳥会

場所：醍醐林道

確認した野鳥

キジバト ホトトギス カワセミ コゲラ ツバメ キセキレイ ヒヨドリ カワガラス クロツグミ ウグイス オオルリ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ イカル スズメ カケス ハシボソガラス ガビチョウ（20種）

本日のベスト：オオルリ カワガラス カワセミ クロツグミ

鳥仲間

青木静子 井手龍世 井形定子 井上典子 今井達郎 小川清成 川上恵 河村洋子 佐伯直寛 佐藤サヨ子 白川司 千葉槇子 永見博子 新田茂 平井国二 細田富美代 森松幹治 山崎悠一 柚木育子（19人）

担当者の記録

梅雨の合間の晴天で、暑かったが木陰にはいるとひんやりと涼しく心地良かった。ネムや草むらに咲くカンゾウの花を眺め、クロツグミのさえずりを聞きながらゆっくりと歩く。醍醐川も増水していたが、カワガラス・カワセミを見ることが出来た。龍泉寺での小休止にホトトギスを聞き、醍醐に入って初めてオオルリのさえずりを

聞き、龍神淵付近でもモミのこすえでさえするオオルリを全員で見ることが出来た。
(新田)

②7月20日(土)～22日(月):遠出探鳥会

場所:仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳

確認した野鳥:

クマタカ チョウゲンボウ ジュウイチ アマツバメ ビンズイ ミソサザイ
イワヒバリ カヤクグリ コマドリ ルリビタキ トラツグミ ウグイス メボ
ソムシクイ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ ゴジュウカラ
ウソ カケス ホシガラス ハシブトガラス (23種)

今回のベスト:ホシガラス ミソサザイ コマドリ チョウゲンボウ

鳥仲間

青木静子 今井達郎 門口一雄 門口裕子 倉本修 白川司 白川史子 細田富
美代 丸山二三夫 宮越俊一 宮越夫人 矢崎恵美子 山崎悠一 山崎久美子
柚木鎮夫 柚木育子(16人)

③8月11日(日):月例探鳥会

場所:早朝高尾山

確認した野鳥

カルガモ キジバト ヒメアマツバメ アオゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ クロツグミ ウグイス
エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ イカル スズメ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス ドバト ガビチョウ (24種)

鳥仲間

井上典子 石橋公子 粕谷和夫 門口一雄 佐伯直寛 佐藤サヨ子 傍嶋玲子
西巻虎彦 萩原正昭 平井国二 平井智恵子 細田富美代 宮越俊一 森松幹治
山崎悠一 山崎久美子 横山由美子 若狭誠 川上恵(19名)

担当者の記録

早朝から暑かった。鳴き声を頼りに野鳥を探すも、葉の影でその姿はほとんど確
認できず。アオゲラ・クロツグミ等も声のみ。本日はベスト鳥なしで終了した。

来年8月は夕刻にムササビ観察との組み合わせも検討したい。(川上 恵)

④9月1日(日):遠出探鳥会

場所:谷津干潟

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オカヨシガモ スズガモ トビ
バン ハジロコチドリ コチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシ
ギ トウネン ハマシギ コオバシギ オバシギ キリアイ アカアシシギ ア
オアシシギ キアシシギ イソシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ ダイシ
ャクシギ ホウロクシギ チュウシャクシギ セイタカシギ ウミネコ キジバ
ト ツバメ ハクセキレイ スズメ オナガ ハシブトガラス ドバト(37種)

鳥仲間

青木繁昌 今井達郎 岩本嘉之 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 川上
悲 河村洋子 倉本修 近藤幹夫 佐伯直寛 佐藤サヨ子 白川司 白川史子
関根伸一 福本順吉 古山隆 細田富美代 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子
柚木育子 若狭誠(24名)

⑤9月8日(日):月例探鳥会

場所:多摩川(市民グラウンド~JR中央線鉄橋)

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ
ツミ イソシギ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ コシアカツバメ ハク
セキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
ドバト ガビチョウ(30種)

本日のベスト:ゴイサギ コシアカツバメ セッカ

確認した蝶

イチモンジセセリ キチョウ モンキチョウ ナミアゲハ クロアゲハ ヒメア
カタテハ キタテハ ダイミョウセセリ ヒメウラナリジャノメ ヤマトシジミ
アカタテハ モンシロチョウ ベニシジミ ジャコウアゲハ(幼虫)(14種)

鳥仲間

阿江範彦 青木繁昌 井形定子 今井達郎 大川征治 大川香 小川清成 小原
堅嗣 粕谷和夫 門口一雄 川上悲 小塩菊子 小林佐千子 佐藤サヨ子 杉田
陽子 西巻虎彦 新田茂 平井国二 平井智恵子 広岡房江 古山隆 丸山二三
夫 宮越俊一 森松幹治 山崎悠一 山崎久美子(26名)

担当者の記録

前日の豪雨や曇後雨の予報にも係わらず、集合場所には、多くの会員が集まって

いた。このコースは、本日が初回で、多摩川の右岸を上流に向かいJR中央線の鉄橋まで行きます。市民グラウンドの周辺では、ガビチョウとカイツブリ声、ゴイスギの集団を確認。ここは、適度な溜まりと植物が豊富で、カイツブリの繁殖が確認されている所です。途中、ニラやツリガネニンジンが咲き誇るなかにたくさんの蝶も見ることができました。終点のJR中央線の鉄橋付近で鳥合わせ後、上空にツミの家族と思われる3羽を確認して解散となった(阿江)

⑥10月5日(土):遠出探鳥会

場所:葛西臨海公園

確認した野鳥

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ アマサギ カルガモ コガモ スズガモ バン オオバン コチドリ キアシシギ イソシギ アオアシシギ タシギ ユリカモメ セグロカモメ ウミネコ セイタカシギ キジバト カワセミ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ キビタキ スズメ オナガ ハシブトガラス ドバト (31種)

本日のベスト

キビタキ アオアシシギ セイタカシギ アマサギ

鳥仲間

門口一雄 門口裕子 倉本修 佐藤サヨ子 長谷川篤 長谷川典子 馬場隆道 馬場啓子 平井国二 平井智恵子 古山隆 前田善明 山崎悠一 山崎久美子 柚木育子(15名)

担当者の記録

林の中で、渡り途中の地味なキビタキ雌を2羽見ることができた。鳥類園の汽水池では、アオアシシギがチョーチョーチョーと独特の声で鳴いていた。10月にしては日差しが強く、暑くて、日陰に入るとホッとする一日だった。(倉本)

⑦10月13日(日):月例探鳥会

場所:多摩川(JR日野鉄橋~多摩大橋)

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ ツミ ノスリ チョウゲンボウ バン イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ コシアカツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス、ドバト (35種)

今回のベスト：オオタカ チョウゲンボウ ノビタキ

鳥仲間

井上典子 小川清成 小原堅嗣 門口一雄 門口裕子 神谷古牧 川上恵 木村
晴美 久保田ヤス子 近藤幹夫 佐藤サヨ子 杉田陽子 傍島玲子 谷村都代子
千葉槇子 西巻虎彦 新田茂 野村愛子 萩原正昭 馬場隆進 馬場啓子 平井
国二 平井智恵子 平沢和夫 福井秀雄 福井代利子 藤生稔久 細田富美代
山浦秀雄 山崎悠一（30名）

担当者の記録：

ベスト三種は、いずれも二羽ずつ出て、一人残らずゆっくりと観察出来たこと。
オオタカは、ごく間近での帆翔したものと、何とカルガモをハンティングして調
理を始めるところまで観察出来た。ノビタキは当地希少種（数週間前に中村会員
が当地で確認）。冬鳥が全く出ず、当地としては確認出来た種類は少なかったが、
ヒヨドリ移動、ノスリ、コシアカツバメ、モズの高鳴きなど、秋の訪れを感じ
させてくれた。全員での探鳥はここまででしたが、オプションとして、7名で平
の堰まで行ったが、ヒバリの囀り飛翔（快晴の空に良く似合っていた）、ただのツ
バメ、キジ（飛んでいった）の三種が追加され、Wオプションではササゴイが二
羽確認出来た。（神谷）

⑧10月22日（火）：平日探鳥会

場所：葛西臨海公園

確認した野鳥

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カル
ガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ スズガモ トビ ミサ
ゴ チョウゲンボウ バン オオバン ハマシギ イソシギ アオアシシギ コ
アオアシシギ オオハシシギ エリマキシギ セイタカシギ ユリカモメ セグ
ロカモメ ウミネコ キジバト カワセミ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ シ
ョウビタキ ノビタキ キビタキ シジュウガラ メジロ スズメ ムクドリ
ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト（42種）

本日のベスト エリマキシギ スズガモの大群 カンムリカイツブリ

鳥仲間

井上典子 今井達郎 大川征治 川上恵 小川清成 河村洋子 倉本修 近藤幹
夫 小塩菊子 佐藤サヨ子 杉田陽子 傍島玲子 田中英吉 細田富美子 丸山
二三夫 三好恒雄（16名）

担当者の記録

オオハシシギもエリマキシギも地味な冬羽になっていた。スコープの視野に入れ

て全員で良く見る事ができた。コアオアシシギとかセイタカシギを見ている時、カワセミが何度か姿を現し、狭い観察小屋の中は歓声で盛り上がった。(倉本)

⑨ 11月10日(日): 月例探鳥会

場所: 浅川(ふれあい橋～一番橋)

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガ
ガモ トビ オオタカ イカルチドリ ハマシギ イソシギ ユリカモメ キジ
バト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス
ドバト(36種)

本日のベスト: ハマシギ カワセミ ジョウビタキ

鳥仲間

阿江範彦 浅野幸男 浅野恵美子 石橋公子 井上典子 今井達郎 大川征治
粕谷和夫 粕谷寿美子 門口一雄 門口裕子 川上恵 木村晴美 小塩菊子 近
藤幹夫 佐藤サヨ子 清水盛道 白川司 白川史子 高山早苗 新田茂 平井国
二 平井智恵子 福井代利子 宮越俊一 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚
木育子 横山由美子(30名)

⑩ 11月21日(木): 平日探鳥会

場所: 道満・彩湖

確認した野鳥

カンムリカイツブリ ミミカイツブリ カイツブリ カワウ コサギ アオサギ
マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ
ホシハジロ キンクロハジロ オオバン バン オオタカ ハヤブサ チョウゲ
ンボウ イソシギ セグロカモメ ユリカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ
タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト(43種)

本日のベスト: カンムリカイツブリ ミミカイツブリ ヨシガモ ハヤブサ オオバ
ンの大群

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 今井達郎 大川征治 大川香 河村洋子 近藤幹夫 杉田
陽子 新田茂 細田富美代 若狭誠(11名)

担当者の記録

小春日和の一日。参加者が以外に少なかったが猛禽3種とカモ類9種等、過去最多の43種を確認した。

特にオオタカとハヤブサの空中戦、ヨシガモ雄の優雅な姿等満足の日だった。また、ハヤブサとチョウゲンボウ、ミミカイツブリとハジロカイツブリ、バンとオオバンの幼鳥の識別等識別ポイントを勉強できた。(青木)

⑪ 11月23日(土)：遠出探鳥会

場所：丹沢湖

確認した野鳥

カイツブリ カワウ アオサギ シジュウカラガン オシドリ マガモ カルガモ ホシハジロ キンクロハジロ カワアイサ トビ キジバト ヤマセミ カワセミ アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ カワガラス ショウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ イカル スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト ガビチョウ(43種)

本日のベスト：オシドリ ヤマセミ ベニマシコ

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 石橋公子 井上典子 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 河村洋子 小塩菊子 佐藤サヨ子 白川史子 傍島玲子 田中栄吉 福島弥四郎 丸山二三夫 原田佳世 平井国二 平井智恵子 山崎悠一 山崎久美子 横山由美子(22名)

参加者の感想

湖畔をゆったり歩いた丹沢探鳥会。曇り空とはいえ、きれいな紅葉と穏やかな湖水に浮かぶオシドリの群れに気持ちが和らぎました。また、白と黒の模様の美しいクリクリ眼の可愛いヤマセミも観察でき、去りゆく秋を味わいながらの楽しい探鳥会となりました。(石橋公子)

⑫ 12月8日(日)：月例探鳥会

場所：浅川(一番橋～長沼橋)

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ トビ ハヤブサ イカルチドリ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグ

ロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ショウビタキ ツグミ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト(38種)

本日のベスト：コガモ ハヤブサ カワセミ カワラヒワ

鳥仲間

浅野恵美子 井形定子 粕谷和夫 門口一雄 川上悲 小塩菊子 佐藤サヨ子 佐藤哲郎 傍島玲子 永見博子 新田茂 古山隆 藤生稔久 山崎悠一 山崎久美子 若狭誠(16名)

担当者の記録

小雨の中の寒い探鳥会になった。しかし、滝合橋下流側のヨシガモの雌と平山橋サイドの28番鉄塔にいたハヤブサは、このコースでは初めて確認した。(山崎)

⑬ 12月14日(土)：遠出探鳥会

場所：横浜舞岡公園

確認した野鳥

コサギ カルガモ コガモ トビ ハイタカ ノスリ タシギ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ショウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト(34種)

本日のベスト：アオジ タシギ シメ ハイタカ

鳥仲間

青木繁昌 青木静子 井上典子 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 小塩菊子 近藤幹夫 佐藤サヨ子 白川司 白川史子 杉田陽子 関根伸一 傍島玲子 高橋和子 新田茂 原田佳世 平井国二 平井智恵子 細田富美代 丸山二三夫 山崎悠一 横山由美子 若狭誠(26名)

担当者の記録

一般的な公園のイメージが頭にある人には「これが公園？」と思うような所。今でも谷津田、斜面畑、雑木林で人の生産活動が続く「生きている里山」、典型的な里山で、この場所に来ると何故かほっとする。八王子にもこのような公園が欲しい。アオジの数が多い。あちこちで足元から飛び立つ。田んぼにはタシギが来ている。カラスザンショウの実(種子)にハシブトガラス、ツグミが集まり盛んに啄んでいた。(粕谷)

⑭ 12月31日(火) : 大晦日探鳥会

場所 : 多摩湖・狭山湖

確認した野鳥

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ コサギ アオサギ
マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ オナガガモ ホシハ
シロ ホオジロガモ トビ ハイタカ ノスリ キジバト カワセミ アオゲラ
コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ショウ
ビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケ
ス ハシボソガラス ハシブトガラス コジュケイ ドバト (46種)

本日のベスト カイツブリ ハジロカイツブリ ヨシガモ アトリ

鳥仲間

青木繁昌 今井達郎 岩本嘉之 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 佐藤サヨ子
関根伸一 仲尾政幸 仲尾陽江 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫
柚木育子 若狭誠 山崎弘毅 山崎明德 山崎愛子 山崎優祐 (20名)

参加者の感想

平成14年最後の探鳥会。昨年からずっと狭山湖は工事中だったが11月中に終了したので、大晦日探鳥会は多摩湖狭山湖で実施した。武蔵大和駅から多摩湖までの自然林では、林の鳥をたくさん見ることが出来た。湖面には、カンムリカイツブリの群れやハジロカイツブリの群れがいた。ホオジロガモはめす。堰堤では日差しが背中を暖めてくれる。(山崎)



鳥信 (主として2002年7月~12月)

1. 冬鳥の総認

400 アカハラ 2002/3/24 1羽 14:50谷地川浄化施設、下流グラウンドの下流側の灌木に止まる。鳴き声はあげない。総認となる。 神谷古牧 立川1B
486 シメ 2002/3/26 3羽 7:47谷地川浄化施設、付近右岸の残土置き場にいた。今季総認とな 神谷古牧 立川0B

2. 冬鳥の総認

87 マガモ 2002/10/21 24羽 16:20高月浄水場、池で今季初認。7割が雄。 神谷古牧 拝島6E
89 コガモ 2002/9/22 9羽 城山川支流の大沢川・高尾街道の橋下流200mエクリプス 関根伸一他 拝島3A
89 コガモ 2002/9/23 1羽 程久保川にコガモがやってきました。後鳥橋の近くにメス一羽がカルガモと一緒にいました。今秋初認です。 佐藤サヨ子 武蔵府中3J
89 コガモ 2002/9/23 4羽 大栗川・大竹橋下流側 山崎久美子 武蔵府中1E
89 コガモ 2002/9/23 6羽 大栗川・さんもり橋下流側 山崎久美子 武蔵府中1E
89 コガモ 2002/9/26 8羽 エクリプス、浅川・日野市民プール上流日枝神社前 小塩菊子 武蔵府中2K
93 ヒドリガモ 2002/10/15 3羽 大栗川・大竹橋 山崎久美子 武蔵府中1E
95 オナガガモ 2002/11/16 2羽 7:55谷地川新鶴見橋、自宅裏。二羽とも雄だが、一羽はエクリプス。今季初認。 神谷古牧 立川0B
245 ユリカモメ 2002/11/2 3羽 浅川・長沼橋下流250m 山崎悠一・久美子 八王子9G
246 セグロカモメ 2002/11/10 1羽 9:10多摩川谷地川合流部、上流に向かって飛ぶ。今季初認。 神谷古牧 立川1B
344 ヒバリ 2002/2/22 2羽 7:52東光寺グラウンド、囀り飛翔。今季初認。 神谷古牧 立川0C
347 ツバメ 2002/3/16 2羽 9:24多摩川中央線鉄橋、右岸の岸辺で土を探っている。 神谷古牧 立川1B
350 イワツバメ 2002/3/24 7+羽 14:44多摩川谷地川合流部、上空を7~8羽の群れが舞う。今季初認 神谷古牧 立川1B
363 タヒバリ 2002/11/2 4羽 浅川・長沼橋下流200m 山崎悠一・久美子 八王子9G
363 タヒバリ 2002/11/3 2.2羽 高月水田(浄水場北側2羽、南側2羽) 粕谷和夫 拝島6E6F
369 モズ 2002/9/1 1羽 上恩方町(カ石地区)、林檎園の点在する少し小高い山の斜面に立つヒノキの樹上でモズの高鳴きを聞くことができました。 清水盛通 五日市8A
387 ジョウビタキ 2002/10/20 2羽 昨年と時期を同じくしてジョウビタキがやってきました。愛くるしい體と思わず微笑んでしまう表情を携えて、今年もこの地に秋本番を運んで来てくれました。恩方では、ダンゴツチョ、ヒッカタンといった呼ばれ方をしてもっとも身近な鳥のひとつです。 清水盛通 拝島1A
387 ジョウビタキ 2002/10/20 1羽 私も今日今シーズン初めて八王子市別所の長池公園でジョウビタキの声を聞きましたが、姿は見ませんでした。 登坂久雄 武蔵府中1C
387 ジョウビタキ 2002/10/27 1羽 12:15谷地川浄化施設、下流側右岸で雄がカタカタと嘴を打ち鳴らす。数日前から鳴き声は聞いていたが、姿を見たのは今期初。 神谷古牧 立川0C
387 ジョウビタキ 2002/10/27 1羽 城山手町内 千葉慎子 八王子3J
400 アカハラ 2002/10/14 1羽 高尾山・蛇溝コースの林内で声と姿 粕谷和夫 八王子7F
402 シロハラ 2002/12/30 1羽 小宮公園管理棟付近で探餌 大川征治 香 拝島7A
405 ツグミ 2002/10/31 2羽 7:50、場所:浅川大橋と大和田橋の間 浅川右岸にて 清水盛通 八王子7K
410 ウグイス 2002/3/4 1羽 7:50多摩川桜並木、右岸土手の外側にある藪で、囀り。まだうまく囀れない。 神谷古牧 立川1B
416 オオヨシキリ 2002/4/20 1+羽 18:23多摩川平の堰、中州の芦原で囀り。今季初認。 神谷古牧 拝島8C
455 アマガモ 2002/11/2 2羽 北浅川・福祉園北側、シーズン初認 定期加外 拝島1A
455 カシラダカ 2002/11/3 1羽 高月水田(浄水場北側) 粕谷和夫 拝島6F
455 カシラダカ 2002/11/11 2羽 7:53谷地川浄化施設、100mほど下った河原の灌木で、今季初認。 神谷古牧 立川0C
461 アオジ 2002/11/2 3羽 浅川・長沼橋下流250m 山崎悠一・久美子 八王子9G
461 アオジ 2002/11/10 1羽 8:40谷地川下田橋、下流側右岸の藪で、今季初認。 神谷古牧 立川0B
481 ベニマシコ 2002/11/13 1羽 7:40谷地川新旭橋、下流右岸の枯れたイタドリに雄。今季初認。 神谷古牧 立川0C
481 ベニマシコ 2002/11/28 1羽 谷地川・多摩川合流部 赤みが弱く若鳥と思われる 大川征治 立川0C
486 シメ 2002/11/11 1羽 7:50谷地川浄化施設、100mほど下った河原の灌木で、今季初認。 神谷古牧 立川0C
3. 通過
183 ムナグロ 2002/8/4 3羽 浅川・一番橋の上流側300m 山崎悠一・久美子 武蔵府中1J
233 オオジシギ 2002/4/7 1羽 9:30谷地川浄化施設、下流グラウンド下流側から桜並木にかけての芦原の上を、ものすごいスピードで鳴きながら飛び回る。時々急降下したり、一旦舞い降りた後再び飛び上がったりを繰り返す。当地初認。 神谷古牧 立川1B
320 アマツバメ 2002/4/27 5+羽 7:50多摩川谷地川合流部、高いところをものすごいスピードで飛び交うが、時々10mぐらいの所で降りてくる。大きさがよく分かる。 神谷古牧 立川1B
367 ヒヨドリ 2002/10/10 697羽 暁町の自宅上空を通過するヒヨドリ、7時48分~13時34分の間に697羽通過、午後用事のためカウントできなかったが、1日中カウントすればもっと増えたはず。自宅裏の隣家の山から湧き上がるヒヨドリの群は見ごたえがある。 峯尾真澄 八王子6K
367 ヒヨドリ 2002/10/17 50羽 朝8時、晴、JR八王子駅ビル上空を北東から南西に群で飛翔、市街地の薄り。 粕谷和夫 八王子7J
385 コルリ 2002/4/28 1羽 S1、長沼公園頂上園地南側の林下の藪で数日前から囀り。 馬場裕・百合亜 八王子9G
388 ノビタキ 2002/9/15 1羽 高月浄水場の土手で子供とおやつ食べてたらノビタキ見ました 中村美弥子 拝島6E
388 ノビタキ 2002/9/26 1羽 浅川・日野市民プール上流日枝神社前迎りのカヤ(?)の中 小塩菊子 武蔵府中2K
388 ノビタキ 2002/9/26 2羽 小宮公園隣接の牧草地。盛んに草の実を食べていた。 大川征治、香 拝島7A
388 ノビタキ 2002/9/26 4羽 浅川・大和田橋上流側の水管橋下流右岸に2羽、萩原橋下流左岸に2羽、4羽とも冬羽で♀か幼鳥タイプ、丈の高い夏草の先端に止まりフライキャッチしていた 倉本修 八王子6K7K
388 ノビタキ 2002/10/13 2羽 9:40谷地川浄化施設、左岸のフェンスに。公式記録としては当地初 探鳥会 立川0C
418 キマコムシクイ(参考) 2002/8/16 1羽 八王子市恩方板当林道・ヤマガラ、メジロ、コゲラの群の中にムシクイ1羽、翼に2本の帯が見えたので、カラフトムシクイかキマコムシクイかと疑ったが、頭尖線が見えず、黄色味も少なかったため、とりあえずキマコムシクイとした。しかし、完全な確認でないこと、渡りにしては少し早すぎると思われるので、参考記録としたい。 粕谷和夫 与瀬9J

427	キビタキ	2002/3/31	2羽	C1+C1、長沼公園霧降の道中程東方向からビーボという感じの声と、長泉寺尾根東方向からの声。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
427	キビタキ	2002/9/29	1羽	高尾山霞台、♀	平井智恵子	八王子0F	
427	キビタキ	2002/9/30	1羽	CV1、長沼公園霧降の道、タコノアシのある藪で移動しながら地鳴き。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
430	オオルリ	2002/9/29	1羽	高尾山霞台、若♂	平井智恵子	八王子0F	
432	エンビタキ	2002/9/22	1羽	高月給水所、トンポを捕まえ、木の Teppen で食べる	粕谷和夫	拝島5E	
432	エンビタキ	2002/9/29	10羽	高尾山霞台	平井智恵子	八王子0F	
432	エンビタキ	2002/10/6	1羽	元気農園内の桑の木でフライキャッチを繰り返していた	大川征治	拝島7A	
432	エンビタキ	2002/10/12	6羽	10:00陣馬山山頂、サシバ観察中にポツポツ出る。	神谷古牧	与瀬3H	
433	コサメビタキ	2002/9/14	1羽	小仏川左岸上栢田橋上流約300m、桜の木(コゲラ2羽、シジュウカラ5羽の中)	粕谷和夫	八王子1G	
433	コサメビタキ	2002/9/30	1羽	SC1、長沼公園絹ヶ丘口南側の桜・カエデ等植林の枝に止まったり付近を移動しながら囀る。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
433	コサメビタキ	2002/10/6	1羽	元気農園で探餌していた	大川征治	拝島7A	
490	コムクドリ	2002/9/6	15羽	小宮公園頂上部の元気農園内。9月8日には数が増えた	大川征治	拝島7A	
490	コムクドリ	2002/9/7	10数羽	小宮公園頂上部の元気農園内のミズキで10数羽のコムクドリが実を食べたり群れで旋回したりしていた。実は熟れ初めなのでしばらくは居るとおもわれる。	大川征治	拝島7A	
490	コムクドリ	2002/9/14	34羽	8:30谷地川浄化施設、左岸にいたムクドリ約50羽の群れに、数羽のコムクドリが混ざる。	神谷古牧	立川0C	
4. 希少種							
5	カイツブリ	2002/11/9	3羽	9:20谷地川新旭橋、下流側に居た三羽の内一羽は、とても白っぽく、写真に撮る。	神谷古牧	立川0C	
40	カワウ	2002/11/17	394羽	9:30、長沼橋・下流側、状況：長沼橋に行った時には、既に多数のカワウが群れていた。しばらく餌をあさったりしていたが、10:25頃に下流方面へ一斉に飛び立った。コサギ、ユリカモメも後を追うように下流方面へ飛び去った。私が長沼橋近辺で見た群れとしては最大規模でした。(その他コサギ107羽、ユリカモメ105羽、ダイサギ7羽、アオサギ2羽)	佐藤哲郎	八王子9G	
40	カワウ	2002/11/28	31羽	F31、長沼公園北端の上空から浅川方面へ飛翔。当地初見。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
47	ヨシゴイ	2002/6/29	1羽	17:30多摩川平の堰、中州の芦原(ツバメの巣となる所)に出現。	粕谷和夫神谷古牧	拝島8C	
54	ササゴイ	2002/6/12	1羽	8:1多摩川中央線鉄橋、川の流真にぼつんと出た石の上に止まる。やや若い個体。	神谷古牧	立川1B	
54	ササゴイ	2002/8/12	1羽	多摩川平の堰	大川征治	拝島8D	
54	ササゴイ	2002/9/3	1羽	谷地川が多摩川に合流する地点	大川征治	立川0C	
54	ササゴイ	2002/9/19	1羽	高月浄水場 幼鳥	大川征治、香	拝島6F	
54	ササゴイ	2002/9/21	1羽	浅川・平山橋の下流側100m	山崎悠一・久美子	武蔵府中0H	
55	アカカシラサギ	2002/7/9	1羽	北浅川 陵北大橋下流の木の橋から対岸の山へ飛び、しばらく木に止ってその後下流へ飛び去る。きれいな夏羽	河村洋子	拝島2B2C	
58	チュウサギ	2002/5/25	4羽	9:11多摩川平の堰、上空を4羽の群れが通過する。	神谷古牧	拝島8C	
58	チュウサギ	2002/6/8	1羽	8:10多摩川谷地川合流部、流心の石にたつ	神谷古牧	立川1B	
58	チュウサギ	2002/6/20	3羽	15:25高月浄水場、北西側の水田で、コサギと共に捕食。1羽のみ嘴が真っ黒。	神谷古牧	拝島6F	
58	チュウサギ	2002/10/7	1羽	14:57高月浄水場池の南側、2連ドームハウス前で冬羽根の個体。の時期には珍しい。嘴が足指よりも短いのが解る。	神谷古牧	拝島6E	
86	オシドリ	2002/7/6	1羽	北浅川・NTT電波塔付近、Iカブス。嘴に赤み有り。	定期幼外	拝島1A	
91	ヨシガモ	2002/3/21	2羽	16:22高月浄水場の池、他のカモに混ざり雄雌各一羽	古山隆	拝島6E	
91	ヨシガモ	2002/11/23	1羽	高月浄水場の池、♂1羽(たぶん第1回冬羽)。他に、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、コガモ等。	古山隆	拝島6E	
92	オカヨシガモ	2002/3/17	2羽	13:2多摩川谷地川合流部、二羽とも雄の個体。今季この場所では初	神谷古牧	立川1B	
105	スズガモ	2002/10/25	2羽	16時00分、高月浄水場の池で、スズガモのペアを見ました。嘴の付け根が白い雌と、第一回冬羽と思われる雄です。天橋立を挟んだ東側には♀、またはエクリプスのヒドリガモのようなカモで、お尻が(側面ではなく尾羽の下の真後ろ)が白い(狭い範囲)不明のカモがいました。	神谷古牧	拝島6E	
150	ヤマドリ	2002/9/27	2羽	陣馬高原水場近く。雄雌とも横襟がはっきり見えた。	大川征治、香	小塩菊子と瀬3G	
160	クイナ	2002/12/20	1羽	浅川・長沼橋左岸上流側湿地(他にカルガモ6羽、コガモ8羽、コサギ5羽)	粕谷和夫	八王子9H	
167	バン	2002/2/10	2羽	11:00多摩川ひょうたん池、二羽とも成鳥	神谷古牧	立川0C	
167	バン	2002/5/19	2羽	10:10多摩川ひょうたん池、二羽とも成鳥。気の強いカイツブリに追わ	神谷古牧	立川0C	
167	バン	2002/7/13	2羽	9:00多摩川ひょうたん池、ガマの根方を泳ぐ。二羽とも成鳥	神谷古牧	立川0C	
167	バン	2002/8/10	1羽	7:50多摩川ひょうたん池、二羽とも若鳥	神谷古牧	立川0C	
167	バン	2002/9/14	1羽	9:00多摩川ひょうたん池、成鳥。	神谷古牧	立川0C	
167	バン	2002/11/24	1羽	浅川・長沼橋上流側左岸湿地、カルガモ10羽、コガモ30羽の中	粕谷和夫	八王子9H	
176	コチドリ	2002/12/14	3羽	9:00谷地川多摩川合流部、岸辺を歩く。たまにしか見られない。	白川岡	立川1B	
298	アオバト	2002/8/16	1羽	高尾山・5号路と1号路で2回鳴き声を聞いたが、同一個体と判断した	白川岡・史子	与瀬9E	
298	アオバト	2002/9/30	2羽	高月給水所、2羽が目の前を飛び丘陵の木に止まる	粕谷和夫、新田茂	拝島5E	
321	ヤマセミ	2002/11/23	1羽	醍醐から盆堰林道。途中マヒワの大群に出会いあきる野に抜ける手前の沢でヤマセミにも会いました。♀1	峯尾良雄・真澄	五日市6B	
326	カワセミ	2002/7/5	1羽	高尾山、蛇滝沢	粕谷和夫	八王子0F	
336	アカゲラ	2002/1/6	2羽	9:30谷地川浄化施設、下流右岸の河原にある一本の灌木に、二羽い	探鳥会	立川0C	
336	アカゲラ	2002/1/11	1羽	7:30谷地川下田橋、橋の下流右岸の林にいた。	神谷古牧	立川0B	
336	アカゲラ	2002/1/30	1羽	7:41谷地川浄化施設、北側の林で、補食。腹の下半分が真っ赤。	神谷古牧	立川0C	
336	アカゲラ	2002/4/8	1羽	7:50谷地川浄化施設、下流ゆったりとした波状飛行で、下流へ向かう。	神谷古牧	立川0B	
349	コシアカツバメ	2002/8/26	7, 8羽	自宅付近(日野市程久保650、高橋橋台団地)、台風の直前、コシアカツバメが7, 8羽集団で空高く舞い、時々電線に止まって羽づくろいをしていました。渡りの相談でもしていたのかな?その時、腰の赤い色ははっきり見えたが、台風が去った後は姿をみせていません。	佐藤サヨ子	武蔵府中3J	

367 ヒヨドリ	2002/1/12	1羽	9:50谷地川浄化施設、尾羽がほとんど無い個体が居て、写真に撮った	神谷古牧	立川0C
367 ヒヨドリ	2002/1/15	1羽	7:41谷地川浄化施設、ダム下の灌木に、尾のないヒヨドリ。写真撮影する。	神谷古牧	立川0C
375 カワガラス	2002/7/5	1羽	高尾山麓・小仏川、蛇滝橋付近	粕谷和夫	八王子0G
375 カワガラス	2002/9/19	1羽	醍醐川・恩方第2小学校から約500m上流地点	川上憲他	五日市6A
375 カワガラス	2002/10/14	1羽	小仏川・駒木野病院付近	粕谷和夫	八王子1G
375 カワガラス	2002/11/1	1羽	8時過ぎ、案内川(高尾山口駅前)。	倉本修、千葉慎子	八王子1F
375 カワガラス	2002/11/14	2羽	西浅川町の南浅川(両界橋~白山橋間)でカワガラスと思われるペアを見ました。アオジの声を聞きながらジョウビタキを見ている時、濁った短い鳴き声とともに現れました。双眼鏡に入れることは出来なかったが、狭い川で目を飛んだのでかなりはっきりと見えました。12:50頃、下流の白山橋方向から2羽で現れ、一旦両界橋手前の小さい中州に降り、すぐにまた白山橋方向に去りました。大きさ:ムクドリ大色:全身殆ど黒に近い暗色飛び方:水面すれすれの高さを速い羽ばたきで流れに沿って飛んだ。最近の南浅川はかなり水が澄んでいるとは言え、今までこの場所でカワガラスを見たことはありません。	横山由美子	八王子2G
375 カワガラス	2002/11/19	1羽	12:45頃、1羽、南浅川(両界橋~白山橋)高尾保育園裏。櫻の木が樹影を作る浅瀬で潜水したり羽づくろいをしていました。	横山由美子	八王子2G
375 カワガラス	2002/11/22	2羽	2羽が、南浅川・白山橋に向かって飛びました。16時すぎ	千葉慎子	八王子2G
375 カワガラス	2002/12/1	2羽	小仏川・駒木野公園付近で1羽(八王子1G)、案内川・京王高尾山口駅前~花フジ旅館(探餌中)で1羽(八王子1F)	粕谷和夫	八王子1G1F
375 カワガラス	2002/12/18	1羽	高尾町高尾保育園裏、南浅川(両界橋~白山橋)の櫻の木の下の岩で囀り護岸工事が始まってしまったので来ないかと思っていました。月曜日から排水ポンプもショベルカーも止めて工事はお休み状態になっているため、静かになり、水も澄んでいるためか来てくれました。ただ、工事はまだ続くし、この川は強い雨が降ると水位がかなり高くなります。カワガラスが営業しても安全な場所があるのかしらと高くなります。	横山由美子	八王子2G
375 カワガラス	2002/12/25	1羽	12:50~13:20。南浅川・白山橋~敷島橋間の浅川市民センター北側、滝下の岩場で探餌中。暫くして敷島橋方向に下ったが、途中で再び探餌。その後はUターン、再び上流へ。白山橋下流200m付近と100m付近で長時間探餌。石上で休息した後、13:20頃白山橋をくぐり抜け両界橋方向へ飛び去った。	川上憲他	八王子2G
375 カワガラス	2002/11/21	2羽	11月21日12:45頃、南浅川(白山橋下流~浅川事務所)カワガラス2羽 11月28日12:45頃、南浅川(白山橋下流~浅川事務所)カワガラス1羽	横山由美子	八王子2G
385 コルリ	2002/6/9	1羽	小仏城山・杉木立の中で盛んに囀っている♂1羽を視認した	白川司・史子	与瀬8F
385 コルリ	2002/7/3	1羽	小仏城山・杉木立の中で盛んに囀っている♂1羽を視認した	白川司・史子	与瀬8F
393 インヒヨドリ	2002/11/26	1羽	今朝(11/26)、八王子駅北口で、インヒヨドリ(雌雄不明)を見ました。駅ビルと京王プラザホテルの間に「八王子交通ビル」というビルがあり、7:40頃、非常階段の手すり等に止まっています。インヒヨドリは八王子市内でも、時々観察されますが、渡りの途中なのでしょうか。大陸にすむ別亜種は内陸部の岩の多い地域にも住み、渡り性もあるとのこと。日本で、北の個体は渡るようですが...	古山隆	与瀬7F 八王子7J
393 インヒヨドリ	2002/12/13	1羽	♂、狭間町、イトウヨウカ堂屋上	粕谷和夫	八王子3G
396 トラツグミ	2002/2/21	1羽	夕方、寺沢川橋の畑にいますのを視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
396 トラツグミ	2002/12/22	1羽	八王子市板当林道・入り口から450m付近の杉林の中	粕谷和夫	与瀬9K
400 アカハラ	2002/2/5	1羽	8:4谷地川浄化施設、下流側右岸の河川敷内の林にいて、鳴きながら上流側へ移動する	神谷古牧	立川0C
400 オオアカハラ	2002/12/13	1羽	7:52多摩川桜並木、河原の林にオオアカハラと思われる個体。赤みが濃く、頭が真っ黒。	神谷古牧	立川1B
424 キクイタダキ	2002/7/3	1羽	裏高尾・一丁平、エナガの群れのはずれに1羽を視認した	白川司・史子	与瀬8E
424 キクイタダキ	2002/12/6	2羽	高尾山・3号路モミの木枝先から枝先へ	木村晴美他	与瀬9E
424 キクイタダキ	2002/12/22	5羽	八王子市板当林道・入り口から1200m付近の杉	粕谷和夫	与瀬9J
427 キビタキ	2002/11/2	1羽	♂1、高尾山・蛇滝登山道の林内で姿確認。未だ残っていた	粕谷和夫	八王子0F
429 オジロビタキ	2002/12/30	1羽	10時30分、場所 東京薬科大構内の木の疎な斜面、枝から枝へ飛び移りながら時々地上に降りたり、枝にとまるときは尾羽を開き気味にしてよく上下に降る。とにかく一番の特徴は疲れないのと言うくらい、ミソサザイのように尾を立てている事、尾の下は白、尾の上は黒でコントラストがあり、雨覆いの縁に薄く白い線がありました。同じ所をチョンチョン移動するので、10分以上観察できました。	原田佳世	武蔵府中1G
435 エナガ	2002/9/10	15羽	6:30谷地川新鶴見橋、自宅前のオニグルミの木に群れる。当地では珍しい。	神谷古牧	立川0B
442 ゴジュウカラ	2002/12/15	2羽	天合峰・紙屋入	粕谷和夫、新田茂	拝島1C
451 シロハラホオジ	2002/10/13	1羽	裏高尾・一丁平登山道左側の山桜付近の下草の中で餌を啄ばんでいた。一見ホオジロと思ったが顔全体が淡褐色で眉斑、頬線、喉が汚白色であったので、シロハラホオジロの幼鳥と判断した。	白川司・史子	与瀬8E
452 ホオアカ	2002/11/3	3羽	高月水田(浄水場北側1羽、南側2羽)	粕谷和夫	拝島6E6F
456 ミヤマホオジ	2002/12/15	2羽	天合峰・紙屋入	粕谷和夫、新田茂	拝島1C
462 クロジ	2002/3/22	1羽	7:23谷地川新旭橋、上流側左岸の芦原にいた。今季初認。	神谷古牧	立川0B
462 クロジ	2002/4/28	2羽	CV2、長沼公園ひよどり沢のカシの樹冠でガビチョウなどと枝移り。	馬場裕・百合亜	八王子9C
462 クロジ	2002/11/9	4羽	天合峰・松木入りで2羽、紙屋入で2羽、ともにアオジの小群の中、数は4羽以上いたかも知れない。	粕谷和夫他	拝島0C1B
462 クロジ	2002/11/28	2羽	V C 2、長沼公園。ホオジロよりか細い「チツ」という声。	馬場裕・百合亜	八王子9G
462 クロジ	2002/12/1	2羽	クロジ2羽は高尾山・蛇滝登山道の藪の中、姿確認	粕谷和夫	八王子0F
470 アトリ	2002/11/16	1羽	平山)城址公園、9時~12時。アオジ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、シメに加えて、アトリ♂1も見られました。	原田佳世	武蔵府中0G

470	アトリ	2002/11/17	100羽	平山城址公園・尾根道、11時、状況・市街地(北西)から飛来し、尾根道を越えて棚わきのイヌシデの木にキョキョと賑やかにたかり、数分して又市街地の方に去った。	原田佳世	武蔵府中0G
472	マヒワ	2002/3/31	10 + 羽	V C 1 0 +、長沼公園橋本尾根西側の谷戸で、木の蕾を喰っていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
472	マヒワ	2002/11/23	100羽	醍醐から盆堀林道。途中マヒワの大群に出会いあきる野に抜ける手前の沢でヤマセミにも会いました。100±	峯尾良雄・真澄	五日市6A
472	マヒワ	2002/12/6	30羽	高尾山・3号路、約30羽が群れて飛んでいた	木村晴美他	与瀬9E
472	マヒワ	2002/12/15	1羽	天合峰・紙屋入、他の個体を探したが、1羽だけ林内の落葉樹枝先に止まる	粕谷和夫、新田茂	拝島1C
472	マヒワ	2002/12/23	245羽	裏高尾・与瀬9F 90羽・20羽・60羽、与瀬8F 70羽・5羽を視認した。90羽は、杉の実を啄ばんでいた。5羽は、小仏城山山頂茶店前の山桜の枝で休息していた。他は、群れて移動中であった。	白川司・史子	与瀬9F 与瀬9F
481	ベニマシコ	2002/1/12	14羽	10:00谷地川浄化施設、定期カウント中、数カ所合計14羽もいた。	神谷古牧	立川0C他
481	ベニマシコ	2002/1/28	2羽	7:47多摩川桜並木、土手下の芦原の上を鳴きながら二羽が移動していた。	神谷古牧	立川1B
481	ベニマシコ	2002/2/10	6羽	10:00多摩川桜並木他、ひょうたん池までの随所にいる	神谷古牧	立川1B他
481	ベニマシコ	2002/3/10	2羽	9:45谷地川浄化施設、下流側の藪の中。	神谷古牧	立川0C
481	ベニマシコ	2002/11/18	1羽	北浅川 陵北大橋下流30m右岸、アキノノゲシの実をついばんでいた。♂	河村洋子	拝島2B
481	ベニマシコ	2002/12/14	6羽	10:00谷地川浄化施設、周辺で、雄雌合計。	神谷古牧	立川0C
483	ウン	2002/12/6	1羽	高尾山・3号路下山していたら右後方から鳴き声が聞こえてきた	木村晴美他	与瀬9E
483	ウン	2002/12/30	4羽	VC(♂1+♀3)、長沼公園藤降の道あずまの西側斜面で盛んにニシキウツギの種子を喰う。	馬場裕・百合亜	八王子9G
5. 猛禽						
118	ミサゴ	2002/10/15	1羽	谷地川が多摩川に合流する近くの上空を軽く旋回して上流へ	大川征治	立川0C
119	ハチクマ	2002/7/6	1羽	北浅川・川原宿橋北側	定期約外	拝島0B
119	ハチクマ	2002/10/12	1羽	北浅川・松竹公園上空を北へ向かって飛翔	定期約外	八王子0K
123	オオタカ	2002/1/12	1羽	9:10多摩川桜並木、桜並木前の定位位置である柳の木に止まる	神谷古牧	立川1C
123	オオタカ	2002/1/13	1羽	北浅川 天使病院上空を対岸へ飛び木に止まる	河村洋子他	拝島2B
123	オオタカ	2002/1/17	1羽	8:00多摩川谷地川合流部、中州下流側の木にとまる。胸の白っぽい成鳥だ。	神谷古牧	立川1B
123	オオタカ	2002/1/19	1羽	8:32谷地川新鶴見橋自宅、南側の林からやってきて、私の頭上を一回旋回し谷地川上流へ向かう	神谷古牧	立川0B
123	オオタカ	2002/1/19	1羽	9:53谷地川新日向橋、右岸から川の方へせり出した木の枝に止まる。やがて飛び立ち私の自宅前をかすめてから南へ消える。	神谷古牧	立川0B
123	オオタカ	2002/2/4	1羽	8:25多摩川谷地川合流部、胸に縦斑のある若鳥が木にとまる。プト、ポソ、オナガなど21羽が取り囲むが、意に介さず羽繕いをしている。	神谷古牧	立川1B
123	オオタカ	2002/2/10	1羽	11:15多摩大橋、下流下流側右岸の排水路に近い砂利屋さん上空を通過	神谷古牧	立川0C
123	オオタカ	2002/3/17	1羽	9:14谷地川浄化施設、付近北東側多摩川河川敷の林に若鳥。茶色で、縦斑もよく見える。	神谷古牧	立川0C
123	オオタカ	2002/3/20	1羽	7:50谷地川浄化施設、付近北東側多摩川河川敷の林に成鳥。朝日に胸の白さが輝く。	神谷古牧	立川0C
123	オオタカ	2002/3/27	1羽	6:49谷地川新鶴見橋、上流自宅上空を北西からきて南東に向かって通過。	神谷古牧	立川0B
123	オオタカ	2002/3/30	1羽	F V 1、北側(浅川)方面から長沼公園上空に南飛。	馬場裕・百合亜	八王子9G
123	オオタカ	2002/4/13	1羽	16:00高月浄水場、オオタカがヒヨドリを襲うが、カラスが突然現れてじゃまをしたため、ハンティングは不成功。	神谷古牧	拝島6F
123	オオタカ	2002/4/29	1羽	18:20多摩川平の堰、中州の林から50羽ぐらゐのムクドリが突然飛び立つ。その群から一羽をオオタカがとらえる。	神谷古牧	拝島8C
123	オオタカ	2002/5/31	1羽	11:54高月町高月病院、北側の尾根筋を若鳥が帆翔。	神谷古牧	拝島5E
123	オオタカ	2002/7/6	1羽	北浅川・松竹公園南側を羽ばたき滑翔	定期約外	八王子0K
123	オオタカ	2002/7/11	1羽	5:30谷地川新鶴見橋、台風一過の自宅上空を西から東へ通過。いつもより高度が高い。	神谷古牧	立川0B
123	オオタカ	2002/7/13	1羽	8:30谷地川新旭橋、右岸の林に飛来。胸が白く、眉斑のハッキリした成鳥。	神谷古牧	立川0B
123	オオタカ	2002/8/3	1羽	北浅川・川原宿橋北側	定期約外	拝島0B
123	オオタカ	2002/8/10	1羽	7:30多摩川谷地川合流付近、排水路下流側ラジコン飛行場上空を西から来て通過。	神谷古牧	立川0C
123	オオタカ	2002/9/14	1羽	北浅川付近・心源院一本松に滞留。	定期約外	八王子0K
123	オオタカ	2002/10/6	2羽	9:40谷地川多摩川合流部、水面すれすれをハシトガラスに追われて逃げるオオタカの幼鳥は、少しずつ高度を上げる。体がかかなり小さいので雄の幼鳥か。プトを従えてかなりの高度まで上がるが、突然急降下する。すると失敗はしたものの、1羽のハトにねらいを定めていたのだ。カラスのモビングはたいしたプレッシャーではないようで、この間も獲物探しをしていたのは驚き。この時成鳥が中州の林から様子を見守っていた。その後幼鳥は再び高度を上げ、悠然と帆翔してどこかに消える。	神谷古牧	立川1C
123	オオタカ	2002/10/12	2羽	北浅川・2羽とも松竹公園付近を飛翔	定期約外	八王子0K
123	オオタカ	2002/10/13	1羽	小仏城山の頂上北東側から南西側へ滑翔した。尾の長さ及び輝白から判断した	白川司・史子	与瀬8F
123	オオタカ	2002/10/15	1羽	谷地川下流の浄水場上空を旋回	大川征治	立川0C
123	オオタカ	2002/10/28	1羽	8:7多摩川谷地川合流部、中州の林から、二羽のハシトガラスに追われて飛び出し、低く飛んで左岸に消える。	神谷古牧	立川1C
123	オオタカ	2002/10/30	2羽	多摩川・10時10分高月方向より滝山城方向に飛翔、11時滝山城方向より拝島方向に飛翔	佐伯直寛	拝島6D
123	オオタカ	2002/11/1	1羽	浅川・ふれあい橋上流側100M中州桜の木	門口一雄他	武蔵府中3K
123	オオタカ	2002/11/2	1羽	北浅川付近・八王子城址方向から一本松方向へ飛翔	定期約外	八王子0K

123 オオタカ	2002/11/2	1羽	北浅川・川原宿北500m付近を飛翔	定期約外	拝島0B
123 オオタカ	2002/11/2	1羽	北浅川・川原宿西100m付近を飛翔	定期約外	拝島0A
123 オオタカ	2002/11/2	1羽	北浅川・松竹公園と團央道の間付近を3羽同時に出現。幼鳥の1羽のみカウント	定期約外	八王子0K
123 オオタカ	2002/11/10	1羽	浅川・ふれあい橋上流側(河原の木から飛び立ち、1羽のカラスと数羽のカワラヒワにモビングされる)	探鳥会	武蔵府中3K
123 オオタカ	2002/11/19	1羽	8:5多摩川桜並木、桜並木前中州の柳の木にいた。胸が白く、眉斑が細いため、顔が黒っぽく見える。	神谷古牧	立川1C
123 オオタカ	2002/11/19	1羽	高尾山・大垂水峠西側上空旋回、一丁方向へ消える	川上憲	与瀬9E
123 オオタカ	2002/11/24	1羽	15:50多摩川秋川合流部、啓明の堰上にある林にいたが、飛び立ち速度を上げて低く下流へ向かう。ハンティングのようだ。	神谷古牧	拝島6E
123 オオタカ	2002/12/8	1羽	北浅川・心源院一本松に滞留。	定期約外	八王子0K
123 オオタカ	2002/12/10	1羽	浅川・鶴巻橋たもと、トビと現れカラス6羽に追われ工学院大の方へ去った	福島弥四郎	八王子5K
123 オオタカ	2002/12/15	3羽	9:30多摩川谷地川合流部他谷地川浄化施設、北側の多摩川本流にある林に雄の成鳥と、雄の若鳥。下って多摩川谷地川の合流部には雄の成鳥が居た。雄はこの時期にしては珍しくしきりに鳴いていたが、そこへ、上流からやってきた雌の成鳥が襲いかかる。しばし空中戦となる。大きさの違いがよく分かる。やがて雌は下流に向かい、雄は再び木に止まって、鳴き始める。	神谷古牧	立川1B他
123 オオタカ	2002/12/21	1羽	北浅川 松枝橋方面から上流へ飛ぶ	河村洋子他	拝島4B
123 オオタカ	2002/12/30	1羽	V♂1、長沼公園北東の疎林で周りを見回しながら20分以上毛づくろい。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
124 ツミ	2002/10/13	1羽	9:10多摩川桜並木、中州上空でオオタカと交差。大きさからツミと推	探鳥会	立川1C
125 ツミ	2002/9/30	1羽	V1、長沼公園ハイキングコース展望園地のあずまや両側~東側をカケスと往き来。	馬場裕・百合亜	八王子9G
125 ツミ	2002/11/2	1羽	北浅川付近・八王子城址付近を飛翔	定期約外	八王子0J
125 ツミ	2002/11/2	1羽	北浅川・松竹公園付近でトビにモビング	定期約外	八王子0K
125 ツミ	2002/11/9	1羽	川口町川口小学校付近の上空、1羽のオオタカをモビングする	粕谷和夫他	拝島2C
126 ハイタカ	2002/9/26	1羽	小宮公園頂上部 カラス2羽に追われて飛来公園の林内に逃げ込んだ。	小宮定例	拝島7A
126 ハイタカ	2002/11/18	1羽	北浅川 天徳病院50m上流対岸の山の稜線を巡回していた	河村洋子	拝島2B
129 ノスリ	2002/1/12	1羽	8:20多摩川谷地川合流部、中州の林に止まる	神谷古牧	立川1B
129 ノスリ	2002/1/17	1羽	12:7滝ヶ原グラウンド、北側の木にとまる。小雨の中、両翼をわずかに下方へ広げているので、翼をかぶっているように見える。	神谷古牧	拝島6E
129 ノスリ	2002/1/26	1羽	8:33谷地川浄化施設、北側の上空を、カラスに追われ、上流方向へ逃げる。	神谷古牧	立川0C
129 ノスリ	2002/2/1	1羽	7:45多摩川河川敷内、谷地川ワンド付近木に止まっていたノスリが、翼をしながら飛び立つ	神谷古牧	立川1C
129 ノスリ	2002/2/4	1羽	8:22多摩川桜並木、中州にある見張り木である柳に止まる。すぐそばに止まるハシブトガラスと大きさがあまり変わらない大きな個体だ。	神谷古牧	立川1C
129 ノスリ	2002/2/10	2羽	9:10多摩川谷地川合流部、中州の合流部と桜並木前の柳の木にいた	神谷古牧	立川1B他
129 ノスリ	2002/3/10	1羽	9:40谷地川浄化施設、北側の林に止まる。	神谷古牧	立川0C
129 ノスリ	2002/7/6	1羽	北浅川・川原宿と松竹橋の間付近を飛翔	定期約外	八王子0K
129 ノスリ	2002/8/16	1羽	小仏城山・帆船中、林道の木立の間から約50mの至近距離で視認した	白川司・史子	与瀬8F
129 ノスリ	2002/9/30	1羽	高尾山・国道20号ごん助北側山頂付近を旋回	川上憲	八王子0D
129 ノスリ	2002/10/12	1羽	北浅川・松竹公園南側を羽ばたき滑翔	定期約外	八王子0K
129 ノスリ	2002/10/13	1羽	高尾山・八王子0Eから出現し左旋回しながら上昇、西側に流れた。翼のV字形及び翼下の斑から判断した	白川司・史子	与瀬9E
129 ノスリ	2002/10/30	1羽	多摩川・11時頃滝山城方向より高月浄水場方向へ飛翔	佐伯直寛	拝島6D
129 ノスリ	2002/11/2	2羽	北浅川・川原宿北側に同時に出現	定期約外	拝島0B
129 ノスリ	2002/11/2	1羽	北浅川・元木橋北側	定期約外	拝島1B
129 ノスリ	2002/11/2	1羽	北浅川・八王子城址付近を飛翔	定期約外	八王子0J
129 ノスリ	2002/11/2	1羽	北浅川・川原宿西側を飛翔	定期約外	拝島0A
129 ノスリ	2002/11/2	1羽	北浅川・團央道西200m付近を飛翔	定期約外	与瀬9K
129 ノスリ	2002/11/9	1羽	天合峰・紙屋入上空旋回	粕谷和夫他	拝島1B
129 ノスリ	2002/11/10	1羽	案内川・落合橋付近上空旋回	粕谷和夫	八王子1G
129 ノスリ	2002/12/14	1羽	9:50谷地川浄化施設、下流側北側の木に止まる。	神谷古牧	立川0C
129 ノスリ	2002/12/23	1羽	8:25多摩川谷地川合流部、やや上流よりの林に止まる。	神谷古牧	立川1B
129 ノスリ	2002/12/29	1羽	8:25谷地川浄化施設、北東の小きな林に止まる。	神谷古牧	立川0C
130 サシバ	2002/9/14	1羽	北浅川・川原宿上空200m、数回旋回飛行し南南西方向へ飛び去る	定期約外	拝島1A
131 クマタカ	2002/9/29	1羽	高尾山霞台	平井智恵子	八王子0F

134	イヌワシ	2002/9/29	1羽	急速に晴れてゆく空を見つめ飛んでくるサシバを期待しながら、所用で出かけるためバス停で上を見していました。南から北に飛ぶ1羽の大きな黒いワシタカが目飛び込みます。高度100~150mの間でしょうか、羽ばたきながらまっすぐ飛び去ります。両翼にはっきりとした白い紋様、これだったらあとで同定は出来るでしょうと建物に隠れるまで目で追います。帰ってから手持ちの図鑑等で調べますが、やはりイヌワシの若鳥に間違いなさそうです。時刻：11:35、場所：下恩方町 西東京バス恩方車庫バス停 状況：高さ100~150m 羽ばたきながら北に飛び去る。黒い中に両翼の白斑がはっきりと見て取れます。飛んだ方向は城山城址から天合峰を結んだライン上です。	清水盛通	拝島0A
134	イヌワシ	2002/10/28	1羽	瑞穂町16号バイパス上、13時15分~13時19分(南より北へ向かって飛翔、高度200m)、15時10分~15時15分(北より南・六道山から八王子方面へ向かう、高度200m)、トビ3羽がモビングしていた。大きさはトビより大きかった。若鳥の特徴である羽に白斑をワシタカ4名の専門家が確認。先日清水盛通氏が八王子で観察したのと同じ個体か? 11月28日、同じ場所で同一個体と思われる若鳥を再度観察、青梅方面へ飛び去る。	関根伸一他	青梅
141	ハヤブサ	2002/12/20	1羽	浅川・鶴巻橋付近、ユリカモメを追い捕獲失敗後、ドバトを追っかけた後、掘み役所の屋上に行く	福島弥四郎	八王子5K
141	ハヤブサ	2002/12/28	1羽	10時50分頃、自宅上空150mにハヤブサ1羽が西(浅川上流側)から現れ、しばらく旋回したあと東に飛び去りました。自宅は、浅川に近い元横山町3丁目の住宅密集地です。	若狭誠	八王子7K
145	チョウゲンボウ	2002/1/7	1羽	8:48高月浄水場、北西側の水田で1羽ほどのスズメが落ち穂を食べていると、浄水場の屋上付近からチョウゲンボウがやってきてスズメの群につっこむが、間一髪スズメは飛び立つ。	神谷古牧	拝島6F
145	チョウゲンボウ	2002/1/12	1羽	10:20多摩川ひょうたん池、上空をカラスに追われ、鳴きながら上流へ逃げる。	神谷古牧	立川0C
145	チョウゲンボウ	2002/1/13	1羽	北浅川 上巻分小学校付近を低空飛翔	河村洋子他	拝島2B
145	チョウゲンボウ	2002/1/25	1羽	7:50多摩川桜並木、中州上空をカラスに追われる。ずーっと羽ばたきながら逃げ切り、谷地川新旭橋の電柱に止まる。	神谷古牧	立川0C
145	チョウゲンボウ	2002/3/17	1羽	9:22多摩川谷地川合流部、中州の奥の木で羽繕い。	神谷古牧	立川1B
145	チョウゲンボウ	2002/3/24	1羽	10:49日野駅北側薬王寺、高い上空を北西に向かう。	神谷古牧	立川1B
145	チョウゲンボウ	2002/3/30	1羽	FV1、長沼公園北側のたんぼの上空を北へ。	馬場裕・百合亜	八王子9G
145	チョウゲンボウ	2002/4/25	2羽	8:1多摩川谷地川合流部、土手にいると背後(南)から「キキキ」という声がし、振り仰くと二羽のチョウゲンボウがホバリングしている。そのまま少しずつ高度を下げ、土手の高さぐらいになってから羽ばたき始め、中州の林の向こう側に消並んでる。雄と雌であった。	神谷古牧	立川1B
145	チョウゲンボウ	2002/6/28	1羽	8:50多摩川ひょうたん池、池の上空を北西に向かって飛ぶ。	神谷古牧	立川0C
145	チョウゲンボウ	2002/9/14	1羽	17:30多摩川中央線鉄橋、左岸の木で遠くまで通る声で「キキキキ」としばらく泣き続け、やがて飛びたち、木の上を数回旋回してから、南へ向かう。	神谷古牧	立川1C
145	チョウゲンボウ	2002/9/21	2羽	浅川・長沼橋下流側28番鉄塔付近	山崎悠一・久美子	八王子9G
145	チョウゲンボウ	2002/9/21	2羽	16:20石川町大聖教会、上空を「キュルキュル」と鳴きながら二羽のチョウゲンボウが絡み合うように小さな旋回を繰り返す。やがて高度を上げながら南西に流れるが、数分してまた戻り、二羽で旋回。ペアらしい。	神谷古牧	立川0B
145	チョウゲンボウ	2002/10/19	3羽	北浅川 天徳病院対岸を3羽同時に宝生寺方面へ飛翔	河村洋子他	拝島2B
145	チョウゲンボウ	2002/10/23	1羽	八王子市横山町甲州街道ビル	千葉慎子	八王子7J
145	チョウゲンボウ	2002/10/29	1羽	♀浅川・大和田橋上流側に現れ水管橋の上に止まっていた。11/26も同所に♀が約3分間とまる。	倉本修	八王子7K
145	チョウゲンボウ	2002/11/3	1羽	高月水田(浄水場南側)、タヒバリ約10羽にモビングされ、田の外に	粕谷和夫	拝島6E
145	チョウゲンボウ	2002/12/20	1羽	北野清掃工場の煙突に止まる	粕谷和夫	八王子8J
6. シギ、チドリ						
185	ケリ	2002/11/12	1羽	高月浄水場の南側水田でケリ1羽を見ました。	古山隆	拝島6E
196	ハマシギ	2002/11/2	36羽	9:30、浅川・高幡橋上流(水際でじっとしていました。)	原田佳世	武蔵府中2K
196	ハマシギ	2002/11/10	30羽	浅川・高幡橋上流側の川の中	探鳥会	武蔵府中2K
214	クサシギ	2002/12/18	1羽	陵北大橋と木の橋の間でついばんでいました	柚木育子	拝島2B
214	クサシギ	2002/12/21	2羽	北浅川 松林住宅グラウンド下 川べりを歩いてた	河村洋子他	拝島3B
217	キアシシギ	2002/8/12	1羽	多摩川平の堰の下流の河原	大川征治	拝島8D
228	ヤマシギ	2002/10/18	1羽	薬科大薬草園 突然飛び出して下方に飛ぶ 探すが見つからず	大川征治	武蔵府中1G
230	タシギ	2002/10/13	2羽	今秋はじめてタシギを見ました。1回目と2回目の距離が離れていること、飛んでいるのを見たこと、から越冬地を探している段階と解釈している。10/13 2羽 浅川長沼橋下流100m付近、10/14 2羽 浅川長沼橋下流350m付近	山崎久美子	八王子9G

7. 託卵鳥

302 カッコウ	2002/5/15	1羽	8:13多摩川桜並木、中央線鉄橋上流右岸の桜並木で、木から木へ渡りい歩く、今季初認。	神谷古牧	立川1B
302 カッコウ	2002/5/30	1羽	7:38日野市新町、多摩川に向かって落ちる崖上の林で鳴いていた。谷地川浄化施設付近から見えていたが、声、姿ともよく確認できた。	神谷古牧	立川0B
302 カッコウ	2002/6/8	1羽	9:20谷地川浄化施設、下流側で鳴き声が聞こえるが、姿見確認。	神谷古牧	立川0C
302 カッコウ	2002/6/17	1羽	7:57多摩川桜並木、桜並木前中州の林の上を、鳴きながら移動。	神谷古牧	立川1C
303 ツツドリ	2002/7/3	1羽	裏高尾・日影沢、1羽が鳴いているのを確認した	白川司・史子	与瀬9F
303 ツツドリ	2002/9/4	1羽	8:00多摩川桜並木、例年通り、毛虫を食べにやってきた。足の付け根の腹が黒っぽいのがこの個体の特徴のようだ。	神谷古牧	立川1B
303 ツツドリ	2002/10/10	1羽	元気農園のさつま畑で大きな毛虫を捕らええの木で食べる	大川征治	渡り鳥
304 ホトトギス	2002/6/3	1羽	6:5谷地川新鶴見橋、自宅前の森から鳴き声。今季初認。15分ほどしてから、声が東へ遠ざかる。今季初認。	神谷古牧	立川0B
304 ホトトギス	2002/6/7	1羽	1:20谷地川新鶴見橋、深夜掃宅して、窓を開けるとハッキリとした鳴き声が聞こえた。	神谷古牧	立川0B
304 ホトトギス	2002/6/9	1羽	裏高尾・日影沢、1羽が鳴いているのを確認した	白川司・史子	与瀬9F
304 ホトトギス	2002/7/3	1羽	裏高尾・与瀬9F1羽、8F1羽、8E1羽が鳴いているのを確認した	白川司・史子	与瀬9F8 F8E
304 ホトトギス	2002/7/20	1羽	高尾山・大平林道森林ふれあい館南側林内	川上忠	与瀬9E
304 ホトトギス	2002/8/1	1羽	17時、S1、長沼公園で下柚木方面から聞こえる	馬場裕・百合 壺	八王子9G
304 ホトトギス	2002/9/24	1羽	今日は一日家で過ごすつもりで椅子に掛けたままぼんやり窓の外を見ていると一羽の鳥が木立のなかの枝に止まりました。何時もヒヨドリやキジバトがいる所なので、たぶんヒヨドリだろうと思って窓際に置いてあるスコープを覗くとなんとホトトギスでした。胸の横溝、尾羽の白斑がくっきり見えました。	佐藤サヨ子	武蔵府中J

8. ねぐら

319 ヒメアマツバ	2002/11/10	17羽	高尾山口駅下ねぐら入り・16:35~16:45に17羽が上空旋	粕谷和夫	八王子1F
347 ツバメ	2002/9/8	4羽	ツバメの若鳥と思われる4羽 7月5日城山手の町内の住宅の門の脇の木(3メートル)をねぐらにしていた。	千葉慎子	八王子3J
488 スズメ	2002/11/10	30羽	16:30、高尾山口駅裏側水田脇の梅の木に約30羽飛び込む	粕谷和夫	八王子1F
493 ムクドリ	2002/4/7	1000+	18:18多摩川平の堰、中州の林に降り入りすべく、大群が舞う。	神谷古牧	拝島8C
493 ムクドリ	2002/7/27	410羽	スケールは小さいのですが自宅南方の大和田町北八公園近くの高圧線に1週間ほど前からムクドリが集まるようになり、始めの頃は100羽以下でしたが27日は410羽までに増えました。これだけ多いと見事です。pm5:30頃から集まり始め6:15ごろピークになり6:25頃から数10羽の群れで東方向に飛び出し始め7時までにはほとんど飛び去ってしまいます。塀が近くにあると思はれますがまだ見つけておりません。	大川征治	八王子8K
493 ムクドリ	2002/11/1	100+羽	北浅川・小田野バス停付近、電線にびっしり(就塀前集合?)	千葉慎子	拝島1A
503 カラス	2002/8/22	500羽	カラスがたくさんいるという情報で、今日(8/22)見に行きました。場所は、京王線南平駅の南隣線の高圧鉄塔・高圧線に位置的には多摩動物公園の西端でしょうか、概数で500羽位です。林の中からも沸き立つように集団が現れます。実数はもっと多いと思われる。時間は夕方の6時から1時間くらい見ていました。暗くなっても高圧線にとどまっているもの、下の林に入り込むものがあり塀とも考えられますが、これからの動向が気になります。カラスの種類は、ハシブト、ハシボソどちらかは不明です。	清水盛通	武蔵府中1H
504 カラス	2002/11/6	1000羽	初沢町・高乗寺(新高尾霊園)、ハシブトガラス主体で一部ハシボソガラスが混じる。16時30分頃から集まり17時30頃塀入り終了。塀入り前の集合場所は墓地であるが、直接塀入りする個体の方が多い。塀場所は初沢川左岸尾根(墓地西側)の森林が主体で、初沢川右岸の山王神社の方にも小さな塀が形成されている模様	粕谷和夫	八王子3C



9. 行動

54 ササゴイ	2002/7/13	1羽	多摩川平堰・魚道で捕った魚を直ぐに食べず、4~5匹食べた後、1匹づつ食べた。約2時間内にこのような行動を2回した。他にササゴイが2羽いたが、このような行動をとったのは1羽だけであった。	粕谷和夫	拝島8C
54 ササゴイ	2002/8/24	1羽	8:1多摩川谷地川合流部、幼鳥が冠羽を立てて水面を対岸に向かって飛ぶ。	神谷古牧	立川1B
57 サギ混群	2002/12/5	81羽	8:12多摩川桜並木、桜並木前の谷地川にアオサギ1, ダイサギ17, コサギ63が群れて捕食活動。	神谷古牧	立川0C
87 マガモ	2002/1/21	10羽	14:2高月浄水場、激しい雨の中、5ペアが♀入り乱れ、つつき合ったり、羽を引っ張り合ったりして争う。	神谷古牧	羽島6E
93 ヒドリガモ	2002/1/4	6羽	16:49高月浄水場、♂が胸と翼を反り返らせて「ヒョッ、ヒョッ」と鳴き合い、♀の驚い合い。♀同士も互いにつつき合う。	神谷古牧	拝島6E
286 キジバト	2002/10/14	3羽	12:00日野市新町、畑地にある焚き火後で、しきりに灰を食べる。	神谷古牧	立川0B
331 アオゲラ	2002/12/1	1羽	高尾山・蛇溝登山道、1本のカラスザンショウの樹の実にヒヨドリ約10羽、キジバト1羽とともにアオゲラ1羽が群がり、盛んに啄ばむ。アオゲラが木の実を食べているのを目撃。	粕谷和夫	八王子0F
336 アカゲラ	2002/3/31	1羽	7:24谷地川浄化施設、下流グランド北側の河原で、ブタクサなどの枯れ草の茎をつつく。コゲラのそれと同じような捕食。	神谷古牧	立川0C
339 コゲラ	2002/1/11	1羽	7:51谷地川浄化施設、右岸側のグランドから下流側二軒目の住宅にあるアンテナで、コゲラがアンテナの分配器をドラミング。10分ぐらいたたき続けていた。	神谷古牧	立川0B
344 ヒバリ	2002/10/13	1羽	11:30多摩大橋、上流右岸上空を囀り飛翔。この時期には珍しい。	神谷古牧他	拝島9C
347 ツバメ	2002/5/24	10+羽	8:10日野駅付近、ビルの谷間の巣を2羽のハシブトガラスが襲い、巣を壊し一羽の雛を銜えて飛び去る。応援のツバメも来て20羽近くでカラスに反撃するが、歯が立たず。	神谷古牧	立川1B
347 ツバメ	2002/6/3	2羽	7:43谷地川浄化施設、右岸のグランドで、若い個体が砂を食べている。砂嚢にためるのか。	神谷古牧	立川0C
355 ハクセキレイ	2002/10/18	1羽	高月水田、稲刈後の田んぼで、産卵行動中の赤とんぼ(アキアカネ?)を捕まえて食べる	粕谷和夫	拝島6E
369 モズ	2002/1/22	1羽	7:50多摩川桜並木、土手下の谷地川の流れ右岸で、大きなドジョウを捕まえ、数回頭をかんで、息の根を止めると、くわえて多摩川中州へ消える。	神谷古牧	立川1C
369 モズ	2002/10/3	1羽	7:20谷地川浄化施設、右岸の工事現場から、ビービー鳴いて必死に逃げるカワセミを追いかけて来る。土手の柵のポストに這うのをやめて止まる。鱗模様のハッキリとした體だった。	神谷古牧	立川0C
369 モズ	2002/11/18	1羽	8:10多摩川谷地川合流部、合流部の少し上流側で、川岸にいたハクセキレイを、モズが鳴かすの林の上から突然急降下して襲う。ハクは逃げたが、原因不明。	神谷古牧	立川1B
369 モズ	2002/12/1	2羽	16:45谷地川浄化施設、右岸で、周囲はかなり薄暗くなったのに、100mほどの距離を置いて、二羽のモズが互いに高鳴きを繰り返す。	神谷古牧	立川0C
387 ジョウビタキ	2002/3/10	2羽	8:32多摩川谷地川合流部、雄二羽が争う。しばらく追い合った後、残った雄が秋のようにヒッ、ヒッと鳴く。	神谷古牧	立川1B
425 セッカ	2002/4/14	1羽	6:50高月浄水場、枯れた草に止まったまま、囀り飛翔と同じ鳴き方で囀る。	神谷古牧	拝島6F
440 ヤマガラ	2002/11/9	数羽	天合峰・紙屋入、エゴの実を啄ばむ	粕谷和夫他	拝島1C
444 メジロ	2002/4/8	2+羽	8:8多摩川谷地川合流部、ケヤキ?の新芽を啄む。	神谷古牧	立川1B
471 カワラヒワ	2002/1/25	1羽	7:53多摩川桜並木、中州方向から1羽のムクドリを追ってくる。時々空中で、体当たりのような攻撃をする。	神谷古牧	立川1B
481 ベニマシコ	2002/3/11	1羽	7:39谷地川新旭橋、橋の上流側左岸で、強い風に揺られながら、セイタカアワダチソウをついばむ。	神谷古牧	立川0B
485 イカル	2001/9/26	80羽	ケヤキの大木に群れるイカルの群を見ました。浅川橋側の極楽寺の境内で2001年9/26日から数日間、約80羽もの群が1本のケヤキの大木に取り付いていました。この時は他に、ヒヨドリの群も同時に入っていました。選りの途中に、ケヤキの実が結構、重要な栄養源になっているのかもしれない。	古山隆	八王子6K
488 スズメ	2002/10/27	10+羽	12:00谷地川新旭橋川で水浴び後、暖まったコンクリートの護岸に体を平たくして張り付き、暖を取っている。	神谷古牧	立川0B
503 ハシブソガラ	2002/3/10	1羽	8:45多摩川中央線鉄橋、右の河原で、オニグルミと思われる実を繰り返し空中から落とし、割ろうとしている。	神谷古牧	立川1B
504 ハシブトガラ	2002/12/10	2羽	8:20多摩川中央線鉄橋、右岸の民家にある二階の高さほどある柿の木に何故かてっぺんまで猫が登ってうづくまっている。そこへ二羽のブトがやってきて、ここぞとばかりに猫をつつく。猫は小さな声で鳴くのみ。やがてブトは飽きてどこかへ行き、猫は何とか屋根づたいに降りる。写真を撮った。	神谷古牧	立川1B

10. 繁殖

5 カイツブリ	2002/8/4	1 番	多摩川八高線鉄橋上流側、緩やかな川の流れの中に造巢中	粕谷和夫	繁殖4③ 拝島9C
88 カルガモ	2002/6/4	7羽	7:28多摩川ひょうたん池、かなり大きい6羽の幼鳥のいる親子連れ。	神谷古牧	繁殖4② 立川0C
88 カルガモ	2002/6/10	9羽	6:59谷地川下田橋、親鳥の半分位まで育った、8羽の幼鳥を連れての親子連れ。	神谷古牧	繁殖4② 立川0B
88 カルガモ	2002/8/3	3羽	北浅川・中小田野公園近く親子連れ(親1,子2)	定期約外	繁殖4② 拝島1A
149 コジュケイ	2002/7/9	4羽	北浅川 松枝住宅グラウンド下の畑で親1羽、3羽の子連れ	河村洋子	繁殖4② 拝島3B
149 コジュケイ	2002/7/28	1 家	洗濯ものを取り外すべくベランダにいと下の庭の30m先にコジュケイいるのを発見しかも親子連れの4羽でした。すぐスコップを持ち出し見ると2羽の子供はまだ赤い色がなく、試しに手を振ってみると初めは知らん顔して草を食べていましたが、やがて私の住まいの方に近づいてきて親子共々私の真下で草を食み、しばらくそこにおりました。午後5時ちょっと前でした。	佐藤サヨ子	繁殖4② 武蔵府中3J
149 コジュケイ	2002/8/21	1 番	最近では毎日のように自宅庭(日野市高幡台団地)に出てくれてそれも日によっては二度か三度。今日はお昼頃から今はもう3時に近いのにまだ日向ぼっこしています。時間こそまちまちですが、私を楽しませてくれている子連れのコジュケイ、交尾を見ました。	佐藤サヨ子	繁殖4② 武蔵府中3J ⑤
167 バン	2002/5/14	1 羽	17:31多摩川平の堰、中州の間に近いところで、成鳥が水草を銜えて葦の根方を積み上げている。造巢、又は営巢中の補修活動。堰本体は工事続行中。	神谷古牧	繁殖4③ 拝島8C
167 バン	2002/6/4	7羽	7:35多摩川ひょうたん池、前後を親鳥に固められて、5羽の真っ黒な雛が葦の根方を行列。	神谷古牧	繁殖4② 立川0C
167 バン	2002/6/8	2羽	9:55多摩川ひょうたん池、子育て中の親鳥2羽が翼をやや広げ、尾羽を立て、キッキッ又はピッピッと鋭く鳴いている。1匹ほどのヤマカガシが雛を狙ってか、泳いできたようだ。親鳥は連続して撃退する。	神谷古牧	繁殖4⑤ 立川0C
296 キジバト	2002/7/9	1 番	JR八王子駅北口広場熊沢書店前歩道のクスノキの人の背高さの枝にキジバトが営巢、6月以降抱卵していたものが孵化、巢中に2羽の雛有り。バス停に並んでいる人は無関心なのか誰も気づかない。	粕谷和夫	繁殖5① 八王子7J
296 キジバト	2002/7/14	1 羽	高尾自然科学博物館庭のシラカシに架かっているガラスの古巣を使って営巢(巢材を同古巣に運び入れ巢中に暫く入っていた)	粕谷和夫	繁殖4③ 八王子1F
296 キジバト	2002/9/7	2 羽	我が家の庭のサンシュユの木に巢立ち雛が、9月7日午前10時頃から2羽とまっていた。12時ころから望遠鏡で観察しました。親鳥がえさをあたえにくるとおもっていたのですが、4時ころまで待ちましたが現れませんでした。雨がやんだ合間にと、犬の散歩に出かけ、急いで4時30ころ帰って、見るといせませんでした。親が呼びに来たのでしょうか?6時間くらい食べなくてもだいじょうぶなんですね。9月11日親が雛2羽へ給餌、9月12日雛が姿消す(無事飛べるようになったと思われる。巢は隣家の手入れをしていない木と思われる)。	千葉慎子	繁殖4② 八王子3J
296 キジバト	2002/12/17	2羽	7:00谷地川新鶴見橋、自宅前で、キジバトがディスプレイライトをした後、もう1羽が止まっていた電線に舞い降り、にじり寄って、頬剃りする。すると元々止まっていた方が上に乗じ交尾を始めた。ディスプレイライトをしていたのは雛だったのだ。	神谷古牧	繁殖4⑤ 立川0B
326 カワセミ	2002/3/16	2羽	8:32谷地川新旭橋、雛が小魚を捕まえ、木の枝に打ち付けて弱らせてから下流側にいた雛にプレゼント	神谷古牧	繁殖4⑤ 立川0B
326 カワセミ	2002/9/25	2羽	7:15谷地川新旭橋、上流100mほどの石の上で、親鳥に幼鳥がまわりつき、餌をねだるようにピーピー鳴く。	神谷古牧	繁殖4② 立川0B
326 カワセミ	2002/10/14	2羽	8:20多摩川中央線鉄橋、左岸の土の上で、雛の周りを幼鳥が反時計回りに90°ずつ飛んでは降りて、しきりに何かを訴えるが、その都度雛親は後ろを向いてしまう。	神谷古牧	繁殖4② 立川1B
347 ツバメ	2002/7/3	5羽	8:7多摩川谷地川合流部、近くの民家の軒下に、数羽が交代で土着け。横幅1.5mくらい。(結局この家には巣作りをしなかった)	神谷古牧	繁殖4③ 立川1B
347 ツバメ	2002/8/10	2羽	7:10谷地川浄化施設、親鳥が、若鳥に空中で給餌をする。	神谷古牧	繁殖4② 立川0C
355 ハクセキレイ	2002/6/20	1 番	ハクセキレイがオートバイのサドルの下に巣を作り雛が3羽ほど巣立った話を聞き、巣も見せてもらいました。従業員が巣立つまで見ていてくれたようです。その間、オートバイは使えなかったようです。	若狭誠	繁殖5⑥ 八王子8J
355 ハクセキレイ	2002/7/7	1 番	【天候】晴(うだるように暑い)、【場所】日野市大字下田320?付近(株)下田商店(根川の源平島橋上流右岸)【状況】下田商店の根川沿いの工場の屋根の隙間に巣がある。親2羽が交互に根川周辺で採餌し、雛に給餌する。隙間から顔を出す雛1羽を確認。まだ、羽毛が生え揃っておらず、孵化後さほど経っていないと思われる。記録写真を撮影。ツバメ調査中に偶然確認。	渡辺仁	繁殖5① 立川3A
356 セグロセキレイ	2002/5/6	1 羽	8:7谷地川新旭橋、谷地川浄化施設付近から飛び立ったセグロセキレイは、獣毛を銜えてSRビル屋上の隙間に潜り込む。	神谷古牧	繁殖4③ 立川0B
367 ヒヨドリ	2002/8/22	1 番	庭のオトメツバキの木の中に鳥の巣がありました。ここは草むしりや水やりや木の剪定などいつもやっている場所なのですが、巣作りしていたことは全く気がませんでした。一夜にして完成なんてありえないし・・・見つけた時(22日)巣立った後の巣だと思って気楽に覗いたら卵が4個あったのでびっくりして退散しました。見ていた親はもっと驚いたでしょうね。卵はウズラくらいの大きさで白に小豆色の点々がありました。何の鳥の卵かと考えていたらヒヨドリが巢の近くにきましたのでヒヨドリに間違いないと思います。目線よりちょっと上の位置で死角にはなりますが、ここで巣立ちまで無事に子育てできるのか心配です。	笹川佳子	繁殖5② 拝島0B
367 ヒヨドリ	2002/9/5	1 番	雛が誕生しました。卵発見(8月22日)から15日目ということはいつ頃産卵したのでしょうか。家の中からカーテン越しに見ていますので観察時鳥に恐怖は与えていないつもりです。	笹川佳子	繁殖5② 拝島0B

367 ヒヨドリ	2002/9/8	1番	大雨が2日も続きヒヨドリの巣はすっかり水浸しの状態。雛の動きは全く感じられず、親鳥の姿もないので、一大決心して巣の中を覗いてみました。最悪の事態を想像していたのです。ところが巣の中はからっぽ、あの全身が口みたいな雛が3日か4日で巣立つはずはないと思うのですが何かに襲われた形跡はなく巣の乱れもありません。やっぱり巣立っていったのでしょうか？	笹川佳子	繁殖5② 拝島0B
367 ヒヨドリ	2002/9/14	5羽	川口川・大正橋～高尾橋右岸庭木、親1+子4、幼鳥4羽が肩を寄せ合い可愛かった	鈴木章七他	繁殖4② 拝島4C
367 ヒヨドリ	2002/8/	1番	JR西八駅東の踏み切り通りの写真館の入り口の植木の中に営巣したヒヨドリは、4匹のヒナをそれぞれ1メートルも離れていないところを、頻りに通る車と人の混雑の中で無事巣立ちさせた(写真有り)	三好恒雄	繁殖5① 八王子5J
369 モズ	2002/4/28	1羽	CV1、長沼公園緑ヶ丘入り口付近で、ヒナ(観察できず)に向かって、虫を啜ってさかんに巣立ちを促す。	馬場裕・百合亜	繁殖5① 八王子9G
369 モズ	2002/8/10	1羽	7:15谷地川浄化施設、右岸側の田圃を挟んだ農家のフェンスに、幼鳥がとまっていた。	神谷古牧	繁殖5⑤ 立川0B
427 キビタキ	2002/7/5	1番	高尾山・いろはの道の頂上手前、♂がホバーリングしながら♀に交尾	粕谷和夫	繁殖4⑤ 与瀬9E
471 カワラヒワ	2002/5/29	2羽	8:00多摩川桜並木、前土手の上を番と思われる二羽が獣毛集めをしている。雄は、餌があると銜えていた獣毛を放棄して食事。雌が一心不乱に一杯銜え込み、飛び立つと、雄は何も銜えず、身一つでついていく。	神谷古牧	繁殖4③ 立川1B
503 ハシボソガラス	2002/3/5	2羽	8:15日野駅北側薬王寺、境内の銀杏の大木に営巣。小枝を運んでは座り込む。	神谷古牧	繁殖4③ 立川1B
503 ハシボソガラス	2002/3/16	2羽	9:36日野駅北側薬王寺、境内の銀杏の大木の巣に一羽がうずくまり、もう一羽が近くの枝で見張り。	神谷古牧	繁殖5② 立川1B
503 ハシボソガラス	2002/3/17	2羽	9:21多摩川谷地川合流部、中州の林で一羽が巣の中に、もう一羽は近くの木で見張り。	神谷古牧	繁殖5② 立川1B
503 カラス・種不明	2002/4/26/27		長沼公園橋本尾根北西側のコナラにカラスのものらしき巣	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
503 カラス・種不明	2002/4/26/27		長沼公園展望園地南側の枯赤松にカラスのものらしき巣	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
503 カラス・種不明	2002/4/26/27		長沼公園頂上園地南側のコナラにカラスのものらしき巣	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
503 ハシボソガラス			京王線高橋不動駅の北東のケヤキらしい木に営巣	馬場百合亜	繁殖
503 ハシボソガラス			平山団地東端のスギに営巣	馬場百合亜	繁殖
504 ハシボソガラス	2002/2/26	2羽	13:42日野市大坂上、20号沿いの葬祭場前の電柱に営巣。座り込む様子から、既に抱卵中と推定。すぐそばの電線で、もう一羽が見張り。	神谷古牧	繁殖5② 立川1A
504 ハシボソガラス	2002/3/31	3羽	長沼公園：井戸たわ沢、西尾根および鎌田鳥山の南西斜面の木で、皆営巣中。	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
504 ハシボソガラス	2002/4/27		京王線平山城址公園駅西側、浅川右岸の民家のケヤキに営巣	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
504 ハシボソガラス	2002/5/31	1羽	長沼公園井戸たわ沢で営巣中のヒナ3(?)羽に、ムクドリ(のヒナ)1羽を餌として与える	馬場裕・百合亜	繁殖5①
504 ハシボソガラス	2002/4/26/27		長沼公園井戸たわ尾根のコナラに営巣、見張り役2羽。	馬場裕・百合亜	繁殖 八王子9G
504 ハシボソガラス	2002/4/26/27		長沼公園中尾根のコナラに2羽のヒナを営巣	馬場裕・百合亜	繁殖5① 八王子9G
504 カラス・種不明	2002/4/26/27		長沼公園西尾根のコナラで抱卵中	馬場裕・百合亜	繁殖5② 八王子9G
504 ハシボソガラス			平山図書館西側に営巣木(樹種は不明)	馬場百合亜	繁殖
11. その他					
ガビチョウ	2002/5/4	2羽	川口川・堀口橋上流右岸竹林、唐犬橋上流右岸の森	鈴木章七他	拝島3C
ガビチョウ	2002/6/5	1羽	みついで住宅に接する北側の緑地、創価大学方向より飛来、桜の枝先で囀る(姿確認)。	新田茂	拝島6B
ガビチョウ	2002/6/9	10羽	裏高尾・日影沢、小仏城山、一丁平(与瀬9F3羽、8F2羽、8E2羽、8F3羽)囀りを確認した	白川司・史子	与瀬9F8 F8E8F F8E8F
ガビチョウ	2002/6/17	7羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)	河村洋子	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/7/3	5羽	裏高尾・与瀬9F1羽、8F2羽、8E2羽が囀っているのを確認した	白川司・史子	与瀬9F8 F8E F8E
ガビチョウ	2002/7/5	3羽	高尾山・6号路入り口手前(八王子1F)、6号路第1ベンチ(八王子0F)、3号路(八王子0E)	木村晴美他	八王子1F 1F0F0E
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・陵北大橋付近。	定期外	拝島1B
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・元木橋付近。	定期外	拝島1B
ガビチョウ	2002/7/6	2羽	北浅川・NTT電波塔付近。	定期外	拝島1A
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・福祉園付近。	定期外	拝島1A
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・川原宿付近。	定期外	拝島1A
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・深沢橋付近。	定期外	拝島1A
ガビチョウ	2002/7/6	1羽	北浅川・團長道南側トナリ林付近。	定期外	拝島1A
ガビチョウ	2002/7/6	4羽	4ヶ所で声、川口川・駒形橋上流左岸、川中の裏あたり、川口小学校裏あたり、協和病院の裏あたり	鈴木章七他	拝島3C
ガビチョウ	2002/7/9	11羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)	河村洋子	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/7/13	1羽	8:20谷地川浄化施設、下流側で囀り声	神谷古牧	立川0C
ガビチョウ	2002/7/20	6羽	高尾山・国道20号水野橋西側林内及びふれあい館南側林内	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	2002/7/23	1羽	午後6時ごろ犬の散歩中城山手の町内の公園ガビチョウが地上におりました。ブルーのまるいものをくわえていました。わたしたちにきずきそれを落として、藪に飛び込みました。ガビチョウもカラスのようにプラスチックをくわえることがあるのかと思いました。拾い上げたら、卵でした。まだ中に黄色い黄身が残っていました。巣の中から取ったのでしょうか？色をたよりに、水野伸彦署 野鳥のくらし卵から巣立ちまでによれば、ムクドリ(の卵)と思われる。ムクドリはまだ子育てをしているのでしょうか？ガビチョウは鳥の卵も食べるのでしょうか？	千葉慎子	八王子3J
ガビチョウ	2002/7/27	1羽	多摩川・滝山下	佐伯直寛	拝島6D

ガビチョウ	2002/8/2	2羽	高尾山・6号路琵琶滝付近(八王子0F)、3号路(八王子0E)	木村晴美他	八王子0F0E
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	北浅川・陵北大橋付近。	定期かつ	拝島1B
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	北浅川・中小田野公園	定期かつ	八王子1A
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	北浅川・川原宿橋北側	定期かつ	拝島0B
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	北浅川・深沢橋上流150m付近	定期かつ	拝島1A
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	北浅川・圏央道北側トンネル付近	定期かつ	拝島1A
ガビチョウ	2002/8/3	1羽	川口川・唐犬橋上流約200M	鈴木章七他	拝島3C
ガビチョウ	2002/8/4	6羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)	河村洋子他	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/8/10	1羽	7:5谷地川浄化施設、下流側で鳴き声	神谷古牧	立川0C
ガビチョウ	2002/8/16	6羽	高尾山・日影沢、小仏城山、一丁平(与瀬9F2羽 8F2羽 8E1羽 9E1羽) 夫々鳴き声で確認した	白川司・史子	与瀬9F8 F8E9E
ガビチョウ	2002/8/24	1羽	7:51多摩川桜並木、桜並木前の河原から、鳴き声が聞こえた。	神谷古牧	立川1B
ガビチョウ	2002/8/26	4羽	高尾山・国道20号水野橋南西側林内複数鳴き声、20号ごん助裏道路際	川上憲	与瀬9E八王子0D
ガビチョウ	2002/8/29	1羽	多摩川・滝山下左岸笹藪の中	佐伯直寛	拝島6E
ガビチョウ	2002/9/14	1羽	北浅川・深沢橋付近。	定期かつ	拝島1A
ガビチョウ	2002/9/14	1羽	北浅川・松竹橋西200m付近	定期かつ	八王子0K
ガビチョウ	2002/9/14	1羽	北浅川・圏央道南側トンネル付近	定期かつ	八王子0K
ガビチョウ	2002/9/15	5羽	北浅川・元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)5ヶ所で声	河村洋子他	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/9/15	5羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)5ヶ所で声	河村洋子他	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/9/25	3羽	多摩川・滝山下左岸笹藪の中	佐伯直寛	拝島6E
ガビチョウ	2002/9/30	数羽	数羽長沼公園。地面に降りてコナラの実を啜え、殻を割って中身を喰う。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2002/9/30	2羽	高尾山・大平林道森林ふれあい館南西側林内囀り	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	2002/10/12	2羽	北浅川・深沢橋上流200m付近	定期かつ	八王子0K
ガビチョウ	2002/10/12	2羽	北浅川・松竹公園と圏央道の中間	定期かつ	八王子0K
ガビチョウ	2002/10/12	1羽	多摩川・浅川合流付近、ガビチョウの声を始めて聞く	柚木鎮夫	武蔵府中4K
ガビチョウ	2002/10/12	2羽	湯殿川・釜土橋上流100M右岸の荒地の草藪の近辺、枯れ木(低木)と草藪の中を行ったり来たりしていた。	長谷川寛・典子	八王子6G
ガビチョウ	2002/10/19	8羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(4羽姿 4羽声)	河村洋子他	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/10/19	4羽	高尾山・国道20号ごん助北側林内で囀り、大平林道森林ふれあい館東側林内囀り	川上憲	与瀬9E八王子0D
ガビチョウ	2002/11/1	24羽	高尾山・6号路大山橋の先、落ち葉をひっ繰り返していた	千葉慎子他	八王子1E
ガビチョウ	2002/11/2	8羽	小仏川蛇滝橋下流側右岸山麓の林内2羽、高尾山(いずれも林内、声と一部姿確認)・蛇滝の下流側1羽、上流側2羽、1号路城見台付近1羽、1号路の最初の屈曲点付近2羽	粕谷和夫	八王子0F1F
ガビチョウ	2002/11/3	1羽	川口川・唐犬橋右岸	鈴木章七他	拝島3C
ガビチョウ	2002/11/9	9羽	天台峰・谷戸の沖で1羽、松木入りで6羽、紙屋入で2羽、いづれも藪の中で声	粕谷和夫他	拝島0C1B
ガビチョウ	2002/11/18	2羽	8:00多摩川桜並木、土手下の河原の藪で、ツグミのように落ち葉をかき分け、餌を探す。やがて、二羽ともオニグルミの実を銜えてきて、つき割ろうとしている。(割れるところまでは見ていない)	神谷古牧	立川1B
ガビチョウ	2002/11/18	7羽	北浅川 元八市民センター～陵北大橋下(左岸、右岸)	河村洋子	拝島2B3B
ガビチョウ	2002/11/19	2羽	高尾山・国道20号ごん助北側林内で囀り	川上憲	八王子0D
ガビチョウ	2002/11/28	数羽	数羽長沼公園頂上園地東側の谷戸の藪でヒヨドリ数羽と争う声。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2002/12/21	3羽	北浅川 陵北大橋下流、木の橋横 3羽姿	河村洋子他	拝島2B
ガビチョウ	2002/12/25	4羽	高尾山・大平林道森林ふれあい館南側林内と北側林内	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	2002/12/26	7羽	15:00 長沼公園、ソウシチョウとガビチョウが尾根道の直ぐ下、同じ場所にいた。	山崎悠一・久美子	八王子9F
ソウシチョウ	2002/11/1	5+羽	高尾山・6号路飛び石手前、近くにコゲラ、メジロがいた	千葉慎子他	与瀬9E
ソウシチョウ	2002/11/9	40羽	天台峰・松木入りで20羽、紙屋入で20羽、ともにヤブの群、ウグイスの笛鳴きに似たような地鳴きとガビチョウに似たようなさえずりあり。数は40羽以上いたかもしれない。	粕谷和夫他	拝島0C1B
ソウシチョウ	2002/11/17	4羽	8:30、長沼公園尾根道から霧降の道を2、3分下った左側状況：かなり大きな声を出して、小枝の間を飛び回っていた。	佐藤哲郎	八王子9G
ソウシチョウ	2002/12/1	20羽	高尾山・蛇滝登山道の藪の中で約10羽(八王子0F)、1号路入り口付近の藪の中で約10羽(八王子1F)、ともに姿確認	粕谷和夫	八王子0F1F
ソウシチョウ	2002/12/3	4羽	運動会上でソウシチョウを見ました。結構近づいて観察できます。喉から胸にかけての鮮やかなオレンジがとでもきれいでした。とっても簡単な場所ですので出かけてみてください。午前8:00、4羽+(10羽以上はいるでしょう)場所：八王子市大和田町(大和田町日枝神社西側の甲州街道と大和田北公園を結ぶ石段の脇)	清水盛通	八王子8K
ソウシチョウ	2002/12/6	3羽	高尾山・3号路浄心門下	木村晴美他	八王子0E
ソウシチョウ	2002/12/15	60羽	天台峰・松木入り約10羽、尾根下の斜面3ヶ所で約40羽、紙屋入約10羽、いずれも薄暗い林内の地面、ウグイスの笛鳴きのような声を出しながら動きまわる。	粕谷和夫、新田茂	拝島0C1B1C
ソウシチョウ	2002/12/26	5羽	15:00 長沼公園、ソウシチョウとガビチョウが尾根道の直ぐ下、同じ場所にいた。	山崎悠一・久美子	八王子9F
セキセイインコ	2002/9/26	1羽	ヒヨドリ山畑地 すずめの群れに混じるがいろ鮮やかで目立つ	大川征治、香	拝島8A
コウモリ	2002/3/17	3+頭	19:58多摩川谷地川合流部、数頭の群れで、飛び回る。今季初認	神谷古牧	立川1B
アブラコウモリ	2002/6/30	500+頭	19:2谷地川新旭橋、橋の上流側で数百頭の群れが飛び交う。	神谷古牧	立川0B
アブラコウモリ	2002/8/17	1000+頭	18:49谷地川浄化施設、1000頭以上の群れが飛び交うが、2001年の同時期よりもかなり少ない。	神谷古牧	立川0C
アブラコウモリ	2002/11/30	1頭	17時5分、湯殿川に架かる国道16号住吉橋の下から1頭のアブラコウモリが出て来て、西方向に飛び去った。確認はしてないが昼間、橋の下にいたものか? 比較的暖かい夕方で小さな蛾が飛んでいたのか、この季節でも未だコウモリが活動するのか。	粕谷和夫	八王子7G
ヤマコウモリ	2002/4/7	3頭	18:00多摩川平の堰、アブラコウモリに混ざり、ひときわ大きなコウモリが飛ぶ。後日ヤマコウモリと教わる。	神谷古牧	拝島8C

ヤマコウモリ	2002/4/29	1頭	18:32多摩川平の堰、単独で飛ぶ。アブラコウモリの姿無し。	神谷古牧 粕谷和夫	拝島8C 八王子7J
ヤマコウモリ	2002/11/13	1頭	JR八王子北口駅前から西放射線ユーロードという歩行者商店街があり、長崎屋前(中町)の小さな三角広場のクスノキにハクセキレイの集団塀が形成されています。ハクセキレイ350羽の塀入りかほぼ終了した17時5分、1頭のハト大のコウモリが上空を飛びました。商店街の上空を東に向かい、南に向かい、西に向かい3回目撃しました。この当たりではアブラコウモリを時々見かけますが、アブラコウモリより明らかに大きく(倍ぐらいの大きさ)、飛び方も野鳥の様な感じでした。		
ヤマコウモリ	2002/11/16	2頭	こんな町中でヤマコウモリが出るのかと思いますが、アブラコウモリ先週の夕方2頭のヤマコウモリを確認した。陵北大橋下流の木の横付近で、今日は残念ながら見ることは出来ませんでした。先週の目撃時間は夕刻4時を回った頃です、時間のある方は出かけてみて下さい。アブラコウモリがイワツバメといったところならヤマコウモリはアマツバメといった感じで飛んでいます。翼のスタイルがとても重畳感を持っていて相当なスピードで川面上空を上流、下流へと飛び回っています。	清水盛通	拝島2B
ヤマコウモリ	2002/9月頃	1頭	北浅川 天使病院横のキャンプ場の方へ大きなコウモリ(1頭)が飛んでいくのを目撃	河村洋子	拝島2B
カジカガエル	2002/5/2	1匹	7:15多摩川谷地川合流部、朝なのに、澄んだ声で良くなく。今季初認	神谷古牧	立川1B
カジカガエル	2002/5/14	1匹	8:22谷地川新旭橋、橋の上流側で鳴き声	神谷古牧	立川0B
オケラ	2002/3/21	1匹	21:8谷地川浄化施設、右岸の道で、鳴き声が聞こえる。今季初認。	神谷古牧	立川0C
リス	2002/9/10	1頭	裏高尾・日影沢林道に入って直ぐのところまで1匹を視認した	白川司・史子	与瀬9F
リス	2002/11/2	1頭	小仏川・駒木野公園付近の地上	粕谷和夫	八王子1G
キツネ	2002/10/14	2頭	浅川でキツネを見ました。以前散歩の人からキツネが出る、と聞いていたのですが見たのは初めてでした。 8:25、場所:浅川 中央線鉄橋~水管橋間の中州、状況:中州で寝そべったり、互いにじゃれあったりして遊んでいました。	佐藤哲郎	八王子8J
キツネ	2002/11/16	1頭	10:23多摩大橋、下流側500m右岸の土手の外側にある藪。当地初	神谷古牧	立川0C
カワラバツタ	2002/10/14	1匹	15:00多摩川平の堰、中敷上流側の石の河原にいた。	神谷古牧他	拝島8C
イタチ	2002/9/14	1頭	川口川・明治橋~大正橋	鈴木章七他	拝島4C
イタチ	2002/11/3	1頭	川口川・明治橋上流30M左岸土手横穴	鈴木章七他	拝島4C
イノシシ	2002/9/10	2頭	裏高尾・日影沢キャンプ場から上流に約200m行った林道上に子供(ウリ坊主)が2頭で、遊んでいた	白川司・史子	与瀬9F
イノシシ	2002/12/15	不明	天合峰・至る所で真新しい出足跡(地面の振り返し)	粕谷和夫, 新田茂	拝島0C1B1C



ツバメ巣調査・中間報告（2,041個の巣を発見）

八王子市、日野市全域のツバメの巣調査は2001年から4ヵ年計画で進められています。調査地域が広いので、20ブロックに分割し、2001年は奇数ブロックを、2002年は偶数ブロックを調査し、その結果、全体で2041個の巣を発見しました。

八王子市、日野市全域をローラー作戦と称して「しらみつぶし」に調べ、古巣を含まず調査当該年に利用している巣（抱卵段階以降が確認された巣）を2千個以上探したという調査は、日本中探しても例はないか、あっても僅かだと自負できる貴重な調査ではないかと思えます。

夏の暑い中、調査に参加された会員の皆様、お疲れ様でした。一つ一つの巣の様子は調査台帳に記録されましたので、今後、どのような建物に営巣されたか、巣は建物の何階に作られたか、巣は建物のどのような位置に作られたか、一建物中に巣は何個作られたか等の分析はこれから1年かけて行います。

また、ヒナの巣立ち状況を調査した継続調査結果から、巣立に成功した巣の割合、カラスや人間に破壊されて途中放棄した割合、巣立った巣の1巣当たりの巣立ち雛数等の分析も行います。

さらに、発見された巣の位置を地図に記入し、巣の分布状況が一目で分かるようなマップづくりやパソコンでデータをいつでも検索できるようなデータベースづくりにも取り組みます。

2003年は補足調査として、「1建物に多数のツバメの巣が作られるところの追跡調査」、「繁殖行動圏調査」、「雛への給餌回数調査」、「給餌のヘルパー確認調査」、「集団餌場調査」、「人口巣調査」、「集団ねぐら調査」、「渡りを始める時期の調査」、「時期別分布状況調査」、「カラスの巣調査」のような調査を計画しています。会員の皆様の積極的な調査参加を期待します。

（文責：粕谷和夫）

2002年野鳥定期カウント結果

取りまとめ：粕谷和夫

1. 調査地域と担当責任者

定期カウントの区域は、北浅川・浅川は大沢橋から多摩合流まで連続7区域、浅川支流は2区域、多摩川は3区域、高尾山は5区域、都市公園は3区域の計20区域について毎月1回の定期カウントを実施した。区域ごとの担当責任者は次のとおりである。

- [1] 北浅川 (大沢橋～陵北大橋) 丸山二三夫
- [2] 北浅川 (陵北大橋～松枝橋) 河村道寛・洋子
- [3] 北浅川 (松枝橋～鶴巻橋) 山浦秀雄
- [4] 浅川 (鶴巻橋～大和田橋) 倉本修
- [5] 浅川 (大和田橋～長沼橋) 佐藤哲郎
- [6] 浅川 (長沼橋～一番橋) 山崎悠一・久美子
- [7] 浅川 (一番橋～多摩川合流部) 門口一雄・青木繁昌
- [8] 川口川 (川口橋～明治橋) 鈴木章七
- [9] 湯殿川 (白旗橋～時田橋) 長谷川篤・典子
- [10] 多摩川 (滝山城跡下) 佐伯直寛
- [11] 多摩川 (谷地川合流部～中央線鉄橋) 神谷古牧
- [12] 多摩川 (浅川合流部) 阿江範彦・柚木鎮夫
- [13] 高尾山 (3・6号路) 木村晴美
- [14] 高尾山・小仏川 (上栲田橋～蛇滝入口) 粕谷和夫
- [15] 高尾山 (蛇滝入口・蛇滝・2・4・1号路) 粕谷和夫
- [16] 高尾山 (大垂水) 川上恚
- [17] 高尾山 (日影沢・城山・一丁平・いろはの道) 白川司・史子
- [18] 小宮公園 大川征治・香
- [19] 片倉城跡公園・湯殿川 小池一男
- [20] 長沼公園 馬場裕・百合亜

2. 総出現数と種類数

区域ごとに、2002年1月から12月まで月単位で最高値、最低値、平均値を取りまとめたのが(表1)。最高羽数を記録した月の出現羽数をまとめたのが(表2)。

最も数多く確認されたのは、〔4〕浅川A：浅川本流の鶴巻橋から大和田橋間で、平均値、最高値、最低値とも最大であった。

種類数は、最高値が〔7〕浅川D：浅川本流の一番橋から合流部までの区間で43種(1月に記録)平均値も34種と他の区間に比べ最高であった。年間の平均では、浅川で470羽、29種。高尾山で150羽、18種。公園で230羽、22種の野鳥が確認された。

(表1) 区間ごとの総出現数と種類数

区域/	総出現数 (羽)			総種類数 (羽)		
	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値
〔1〕 北浅川A	457	179	350	38	22	31
〔2〕 北浅川B	984	182	549	41	22	31
〔3〕 北浅川C	391	118	250	34	19	25
〔4〕 浅川A	1,510	543	830	34	19	25
〔5〕 浅川B	429	262	343	38	20	28
〔6〕 浅川C	700	198	365	36	21	27
〔7〕 浅川D	1,390	228	612	43	24	34
〔8〕 川口川	684	218	415	30	16	23
〔9〕 湯殿川	756	180	322	32	15	20
〔10〕 多摩川A	334	183	251	35	21	27
〔11〕 多摩川B	458	173	303	41	25	34
〔12〕 多摩川C	475	76	214	38	15	22
〔13〕 高尾山A	278	30	124	28	10	22
〔14〕 高尾山B	139	49	100	19	12	16
〔15〕 高尾山C	369	177	256	25	10	18
〔16〕 高尾山D	81	36	63	19	12	16
〔17〕 高尾山E	451	157	223	29	13	20
〔18〕 小宮公園	296	97	170	29	13	22
〔19〕 片倉城址公園	219	158	182	24	15	18
〔20〕 長沼公園	441	205	346	39	15	26

3. 出現種

オオタカが浅川広域、高尾山、と幅広く確認されている。ガビチョウは3箇所
の都市公園すべてで確認されている。その他、アカガシラサギが7月に陵北大橋
から松枝橋間。チュウサギが6,7月に谷地川から中央線鉄橋間。オシドリが1,
2,7月に大沢橋から陵北大橋間。ハチクマが4,7,10月に大沢橋から陵北大橋
間。ハイタカが9月に小宮公園。カッコウが6月に谷地川から中央線鉄橋間。サ
ンコウチョウが5月に高尾山で各々確認された。

月別の具体的なデータを希望する方は、取りまとめ責任者に申し出て頂きたい

(表2) 2002年最高羽数を記録した月の出現羽数(北浅川・浅川本流)

	北浅川・浅川本流							浅川支流		多摩川		
	大沢橋 ▽ 陵北大	陵北大 ▽ 松枝橋	松枝橋 ▽ 鶴巻橋	鶴巻橋 ▽ 大和田	大和田 ▽ 長沼橋	長沼橋 ▽ 一番橋	一番橋 ▽ 合流	明治橋 ▽ 川口橋	白旗橋 ▽ 時田橋	滝山下	谷地合流 ▽ 中央鉄橋	浅川 合流部
5 カイツブリ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	12	3	5
40 カウ	11	12	3	21	8	6	180	6	3	69	31	110
52 ゴイサギ	0	5	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1
54 ユウコイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
55 アカシラサギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57 ダイサギ	8	5	4	3	6	7	6	9	0	9	25	5
58 チウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
59 コサギ	6	19	4	15	28	19	130	11	4	24	31	24
62 アオサギ	7	6	2	2	12	6	5	3	2	12	8	7
86 オトリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 マカモ	4	1	0	0	1	1	5	0	0	0	3	0
88 カガモ	40	47	35	72	30	53	52	91	47	17	18	27
89 コガモ	9	13	30	117	85	138	142	97	86	4	21	46
89 アマガモ							1					
90 トモエガモ									1			
91 ヨシガモ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
92 オカヨシガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
93 ヒトリカモ	0	0	3	26	11	85	60	0	0	13	19	10
95 オナガカモ	0	0	0	33	7	3	17	0	35	0	2	4
97 ハシロガモ	0	0	0	0	2	10	2	0	0	0	0	0
119 ハチクマ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120 トビ	7	10	2	2	2	2	2	3	0	8	3	1
123 オオカ	4	1	0	0	1	1	1	0	1	2	2	0
125 ウミ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
126 ハイカ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129 ノスリ	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
130 ウソバ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
141 ハヤブサ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
145 チョウゲンボウ	1	3	1	1	1	1	2	0	0	1	2	1
149 コシユキ	6	7	6	0	0	0	3	2	1	11	4	3
151 キジ	2	8	3	1	0	1	5	0	0	4	13	5
160 クイ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
167 ハン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
176 コトリ	0	3	0	3	5	2	4	0	8	5	3	0
177 イカルトリ	3	12	17	19	12	14	23	0	0	6	4	1
183 ヒナゲロ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
196 ハマシ	0	0	0	0	2	5	80	0	2	0	0	0
214 クサシ	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
217 キアシシ	0	2	3	3	0	6	9	0	0	0	0	0
218 イソシ	0	2	3	6	4	10	7	0	1	0	5	3
230 タシ	0	2	0	1	1	2	0	0	1	0	0	0
233 オオシシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
245 コリカモ	0	7	1	87	15	55	119	0	0	16	8	2
246 セグロカモ	0	0	0	5	6	4	3	0	1	1	1	2
296 キシハト	30	42	25	26	19	17	27	32	27	7	13	6
302 カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
304 ホトキス	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
314 オオハズク	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
319 ヒメアマツハメ	6	0	1	23	1	0	0	0	0	0	8	0
320 アマツハメ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
326 カウセミ	5	3	2	3	5	6	7	5	1	3	4	3
331 アオケラ	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
336 アカケラ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
339 コガラ	3	4	2	2	2	2	2	5	1	4	3	2
344 ヒバリ	0	0	0	1	2	1	7	0	0	2	4	4
347 ツハメ	42	57	35	28	33	26	82	142	67	46	50	30
349 コシアカツハメ	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0
350 イツハメ	5	7	11	29	35	24	56	0	0	0	20	8
354 キセキレイ	11	7	10	7	5	3	5	12	6	2	4	3
355 ハクセキレイ	7	12	20	23	23	15	36	36	27	8	17	7
356 セグロセキレイ	20	25	23	18	16	11	19	18	12	24	8	2
360 ヒンズイ	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
363 タヒバリ	0	6	4	14	14	11	20	0	4	6	4	8
367 ヒヨドリ	215	235	30	38	45	30	52	68	25	22	42	96
369 モス	6	12	5	3	3	6	5	10	5	9	10	2
387 シヨウビサキ	9	9	6	5	8	2	8	7	3	3	5	5
388 ヒビサキ	0	0	2	4	2	0	0	0	0	0	2	0
399 クロツミ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
400 アカハラ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
402 シロハラ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	北浅川・浅川本流							浅川支流		多摩川			
	大沢橋 ▽ 陵北大	陵北大 ▽ 松枝橋	松枝橋 ▽ 鶴巻橋	鶴巻橋 ▽ 大和田	大和田 ▽ 長沼橋	長沼橋 ▽ 一番橋	一番橋 ▽ 合流	明治橋 ▽ 川口橋	白旗橋 ▽ 時田橋	滝山下	谷地合流 ▽ 中央鉄橋	浅川 合流部	
405	ツグミ	14	16	11	19	16	7	21	6	7	13	60	24
410	ウグイス	15	6	2	2	3	1	3	5	1	6	7	4
416	オヨシクリ	0	1	2	2	0	0	1	1	0	2	18	2
422	センダングサ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
425	セッカ	0	0	0	4	2	2	5	0	0	1	7	4
435	エナガ	3	35	10	0	0	0	0	11	0	6	14	4
438	コガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
439	ヒガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
440	ヤマガラ	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
441	シジュウカラ	20	36	7	11	11	8	19	19	13	12	34	21
444	メジロ	10	2	2	11	7	2	5	6	2	5	6	2
449	ホオジロ	27	67	40	28	14	17	50	0	20	21	39	22
455	カワラカ	7	48	10	6	1	2	10	0	30	35	4	2
461	アオジ	14	38	12	14	6	10	14	11	7	14	17	7
464	オオジュリン	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	1	0
471	カララヒ	88	224	200	98	53	42	135	24	75	59	71	214
472	マヒ	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
481	ヘニマシ	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	14	0
485	イカル	14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
486	シメ	14	19	2	3	3	2	5	2	6	9	9	4
488	スズメ	104	420	250	473	130	205	268	210	300	86	50	43
493	ムクドリ	38	117	40	183	81	65	120	78	65	47	54	55
496	カケス	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
498	オカ	10	12	2	6	8	3	9	18	20	6	35	6
503	ハシホソガラス	25	70	10	36	31	20	27	20	27	35	13	12
504	ハシブトガラス	9	16	6	8	37	7	26	5	5	21	28	8
	アヒル	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑種カモ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8
	トハト	56	157	70	331	39	216	138	30	7	7	30	40
	ガビチョウ	8	11	1	0	0	0	0	4	2	4	1	1
	ソウシヨウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ヘニスマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



(表2) 2002年最高羽数を記録した月の出現羽数(高尾山・都市公園)

	高尾山					
	6,3号路	小仏川	蛇滝入口	大垂水	日影沢	
40	カワ	0	0	0	0	1
57	ダイサキ	0	1	0	0	0
59	コサキ	1	0	0	1	0
62	アサギ	1	0	0	1	0
88	カガモ	3	4	0	0	0
120	トビ	0	0	1	1	3
123	オオカ	1	0	0	1	1
125	ウミ	0	0	1	0	0
129	ノスリ	2	1	0	1	2
149	コジュケイ	0	0	2	0	0
150	ヤマドリ	1	0	0	1	0
296	キジハト	8	4	10	4	6
298	アオハト	1	0	2	1	1
303	ツツドリ	1	0	1	1	1
304	ホトキス	1	0	0	1	3
319	ヒメアマツハメ	5	0	0	0	0
320	アマツハメ	0	0	0	0	3
326	カワセミ	0	2	1	1	0
331	アオガラ	3	1	4	1	1
336	アカガラ	2	0	2	1	1
339	コガラ	14	6	17	2	17
347	ウハメ	5	7	20	2	0
350	イワツハメ	20	6	0	0	4
354	キセキレイ	3	10	9	2	4
355	ハクセキレイ	5	4	0	0	0
356	セグロセキレイ	2	4	1	0	0
360	ヒンズイ	0	0	0	0	5
367	ヒヨドリ	57	35	140	15	66
369	モス	1	1	0	2	0
375	カワガラス	1	1	0	0	0
376	ミンサザイ	1	0	3	1	1
379	カヤクグリ	1	0	0	0	0
380	コマドリ	0	0	0	0	1
385	コホリ	0	0	0	0	1
386	ホトトギス	11	0	3	0	4
387	ジョウビトキ	1	1	1	3	7
399	クワガタ	3	0	2	2	9
400	アカハラ	0	0	1	0	0
402	シロハラ	3	0	1	0	1
405	ツグミ	0	2	1	0	1
409	ヤマサメ	5	1	9	1	9
410	ウグイス	6	2	16	7	30
422	センダングサ	2	0	2	0	2
424	キイタダキ	3	0	0	0	1
427	キビトキ	3	0	8	1	9
430	オオホリ	3	0	3	1	3
433	コサメビトキ	0	1	0	0	0
434	サンコウチョウ	1	0	0	0	0
435	エナガ	54	10	70	8	92
438	コガラ	1	0	0	2	10
439	ヒガラ	4	0	25	0	12
440	ヤマガラ	11	7	50	4	12
441	シジュウカラ	21	17	50	8	34
442	ゴジュウカラ	6	0	2	0	0
444	メジロ	30	25	60	8	39
449	ホシジロ	2	9	6	8	29
455	カシラガ	0	5	0	0	2
461	アオジ	3	10	6	3	9
462	クロジ	0	0	2	1	2
470	アトリ	0	0	0	0	3
471	カラビキ	10	4	0	2	2
472	マヒワ	30	0	10	0	245
483	ウツ	5	0	3	0	10
485	イカル	3	20	15	2	5
486	シメ	1	2	0	0	2
488	スズメ	37	30	10	30	2
493	ムクドリ	0	11	0	0	0
496	カス	9	0	10	3	8
498	オカ	0	15	0	0	0
503	ハシホソガラ	3	10	0	6	46
504	ハシブトガラ	10	25	45	4	8
	ソウジョウ	5	0	20	0	0
	カビチョウ	10	7	11	8	10
	ドハト	70	0	4	0	8

	都市公園			
	小宮公園	片倉城跡公園	長沼公園	
40	カワ	1	1	31
59	コサキ	0	1	1
62	アサギ	0	1	1
87	カガモ	2	0	0
88	カガモ	12	13	2
89	カガモ	13	4	0
120	トビ	2	0	1
123	オオカ	0	0	1
125	ウミ	0	0	1
126	ヒタカ	1	0	0
129	ノスリ	0	0	1
145	チョウゲンボウ	1	0	1
149	コジュケイ	5	2	10
151	キジ	8	0	0
218	イソシギ	0	1	0
296	キジハト	23	5	19
303	ツツドリ	1	0	0
304	ホトキス	0	0	1
319	ヒメアマツハメ	0	0	2
326	カワセミ	1	1	0
331	アオガラ	1	0	7
336	アカガラ	0	0	1
339	コガラ	13	5	22
344	ヒバリ	1	0	0
347	ウハメ	8	9	34
350	イワツハメ	0	0	3
354	キセキレイ	2	2	3
355	ハクセキレイ	5	4	1
356	セグロセキレイ	0	3	0
360	ヒンズイ	0	0	7
367	ヒヨドリ	73	42	92
369	モス	6	2	5
376	ミンサザイ	0	0	1
379	カヤクグリ	0	0	1
385	コホリ	0	0	1
386	ホトトギス	5	0	7
387	ジョウビトキ	4	2	5
396	トラフグ	1	0	0
400	アカハラ	2	0	1
402	シロハラ	4	0	4
405	ツグミ	16	2	12
409	ヤマサメ	1	0	4
410	ウグイス	2	2	27
420	メホソシギ	0	0	1
422	センダングサ	0	0	1
427	キビトキ	0	0	1
430	オオホリ	0	0	1
433	コサメビトキ	0	0	1
435	エナガ	16	7	58
440	ヤマガラ	9	3	22
441	シジュウカラ	23	27	72
444	メジロ	16	26	63
449	ホシジロ	9	0	15
455	カシラガ	87	4	63
461	アオジ	5	5	31
462	クロジ	0	0	2
471	カラビキ	34	23	14
472	マヒワ	100	0	0
483	ウツ	0	0	4
485	イカル	30	0	6
486	シメ	9	1	5
488	スズメ	145	44	52
493	ムクドリ	27	11	16
496	カス	4	0	3
498	オカ	0	7	5
503	ハシホソガラ	26	11	4
504	ハシブトガラ	20	4	53
	ドハト	1	47	41
	カビチョウ	1	3	28
	カッコウ s p	1	0	0

セキレイの集団罫 (主として2002年7月~12月)

取りまとめ：粕谷和夫

横山町三角広場の集団ねぐらは10月以降、中町の長崎屋前、西放射ユーロードの小さな三角広場に移動したようである。2001年秋に、JR八王子駅前京王プラザホテル前の1本のイチョウに集中した罫はその後イチョウが強剪定されたためか本年はハクセキレイが来なくなった。

本年は新たに2ヶ所で罫が発見された。一つは高尾駅南口のマクドナルド店前の街路樹(桜)で主としてセグロセキレイ、もう一つは片倉町の「中華店登龍門前他」で2本のトウカエテ(街路樹)である。川町の桑畑に形成される秋のセグロセキレイの集団罫は2001年と場所を変えたため、罫を特定できなかった。

(1) 八王子市横山町三角広場・(八王子7J、倉本修調査)

2002年7月29日(晴) 19時02分~19時09分	29羽罫入り
8月26日(曇) 18時31分~18時38分	17羽罫入り
9月26日(曇) 17時26分~17時40分	76羽罫入り
10月29日(晴) 16時45分~17時25分	罫入り0羽(無し)
11月27日(晴) 16時20分~17時00分	罫入り0羽(無し)
12月23日(晴) 16時30分~17時00分	罫入り0羽(無し)

(2) JR八王子駅前京王プラザホテル前・(八王子7J、粕谷和夫調査)

イチョウが強剪定(枝を大量に切り落とすこと)されたためか、本年はハクセキレイが寄り付かなかった。

(3) 中町の長崎屋前、西放射ユーロード三角広場

(八王子7J、粕谷和夫調査)

11月13日16時50分~17時00分 三角広場の3本のクスノキ、3本のシモクレン、数本のカツラに入る。結果は350羽でした。昨年の今頃は京王ホテル前のイチョウが罫木でしたが、今年はこちらに移動したようです
12月18日、長崎屋と「ふたば商店」の間の1本のクスノキに920羽、ふたば商店5Fビル屋上のビワの木に16時47分~17時10分の間に約100羽、計1,020羽がねぐら入り。セグロセキレイが1羽混じっているのを確認した。

(4) 八王子市北野町西東京三菱北野ショップ・(八王子8J、粕谷和夫調査)

11月24日、3本のクスノキに入ります。以前は強剪定(殆どの枝を切り落とし、丸坊主にしてしまうこと)に比べ、今は枝が復活してきていました。天気は曇りで16時10分から見えていたのですが、クスノキに入りだしたのは16時43分からで16時56分の終了時までの13分間に、入りが565羽、出が50羽で、差引515羽の罫入りが観察できました。

12月20日、16時51分~16時59分、ねぐら入り数は17羽で、11月24日の515羽と比べ激減しました。中町の大きなねぐらに吸収されたのか?

(5) ホンダクリオ新八王子店の北側歩道街路樹

(八王子3G、横山由美子調査)

使用する木は街路樹のエンジュ 1 本とホンダ店敷地内のカツラの若木 1 本
1 月～3 月 街路樹のエンジュは丸坊主状態、ホンダ店敷地内カツラは落葉中で、
増入りは 0 でした。

4 月 4 日 18 時頃 ハクセキレイの声は聞こえたが増入りは確認できない。

5 月 12 日 18 時頃 エンジュ、カツラとも葉が茂ってきたが、確認できず。

6 月 19 日 19 時 20 分頃 ハクセキレイ 4～5 羽エンジュに入る。

7 月 2 日 18 時 25 分～18 時 55 分 ハクセキレイ 22 羽エンジュに入る。
3 羽はカツラに入る。

7 月 24 日 19 時 10 頃 ハクセキレイ 2 羽カツラのみに入る。エンジュには
入らない。

7 月 26 日 19 時 05 分～19 時 15 分ハクセキレイ 4 羽カツラに。エンジュ
には入らない。

8 月 3 日 14 時 55 分～19 時 08 分カツラに 17 羽、エンジュに 7 羽、ヒマラ
ヤスギに 2 羽、うちセグロセキレイ 3 羽。

8 月 7 日 18 時 50 分～19 時 00 分 ハクセキレイ 22 羽カツラに。

9 月 2 日 18 時 20 分～18 時 33 分 ハクセキレイ 15 羽エンジュに。

9 月 11 日 18 時 10 分～18 時 16 分 ハクセキレイ 28 羽エンジュに。

10 月 5 日 17 時 25 分～18 時 40 分 62 羽エンジュに、カツラには入らない。
セグロセキレイの声も少し聞こえる。

10 月 27 日 19 時頃 既にエンジュに入っているセキレイの姿が少なくとも 27
羽数えられる。色の薄い若鳥が多いようだ。木の下に糞跡が多い。

11 月 2 日 16 時 45 分～17 時 10 分木の下に糞跡は沢山あるが増入りは 0。

(6) 高尾駅南口・(八王子2G、横山由美子調査)

高尾駅南口の京王ストア屋上や看板の上に一旦降りて鳴き交わしてからマク
ドナルド店前の 2 本の桜の木(街路樹)に入ります。駅前マンションの上空をカ
ラスの群れが西に向かって移動を始める頃セキレイが集まり始めるので時間的に
も観察しやすい場所です。7 月 14 日に初めて気づきました。

7 月 14 日 18 時 55 分～19 時 05 分殆どセグロセキレイのみと見える 60
羽が桜に入る。

7 月 16 日 19 時 05 分～19 時 25 分 63 羽、ハクセキレイも少し混ざって
いる。

8 月 8 日 19 時頃 20 以上セグロセキレイの囀り

9 月 3 日 18 時 15 分～18 時 40 8 羽

9 月 25 日 17 時 43 分～17 時 52 分 25 羽ハクセキレイが 2 羽入っている。

10 月 観察できなかった。

11 月 3 日 16 時 50 分～17 時 10 分 79 羽。JR 線路に近い側の桜のみには

いる。セグロセキレイが多いがハクセキレイも 10 羽前後いる模様。木の下に白い糞跡多数あり。7,8,9,10 月には糞跡が目立つ事はなかった。

(7) 片倉町の「中華店登龍門前他」・(八王子7G、粕谷和夫調査)

場所は国道16号と北野街道の交差点(片倉)

11月30日、2本のトウカエデ(街路樹)に入ります。1本は中華店登龍門前で185羽が罅入りしました。もう1本は北野街道を隔てて反対側の「セレモアやすらぎ館八王子」の店の前で約30羽が罅入り、合わせて約215羽が罅入りしました。内2羽のセグロセキレイを確認しました。

罅入り開始は16時45分で終了は16時55分でした。

トウカエデは落葉樹で、既に黄色に紅葉(黄葉)していましたが、未だ落葉はしていませんでした。

罅入り前の集合場所は、中華店登龍門の4階ビル屋上、隣の八王子片倉郵便局屋上、道を隔てた反対側のセレモアやすらぎ館八王子の屋上、電線等です。

(8) 式分方町のセグロセキレイ・(拝島3A、関根伸一、今井達郎調査)

調査年月日 2002年11月6日、16時20分~17時10分

場所 八王子市式分方町

16時29分	上空にセグロセキレイ2羽現れる
37分	// 5羽になるが飛び去る
	夕日は山の端に入る
38分	3羽住宅の屋根にとまる
39分	電線に4羽とまる
43分	16羽上空を飛び
	11羽電線にとまる、内数羽は住宅の陰へ降りる
45分	22羽上空通過
48分	11羽上空通過 まだ目の前の桑畑にはおりない
50分	12羽上空に、10羽住宅の屋根の上に、別の屋根にも10羽
54分	屋根に15羽待機、18羽になる
56分	約20羽屋根に待機
17時00分	屋根のセグロセキレイは住宅の陰(東側)に消える
02分	全てのセグロセキレイが視野から消える。観察総数約142羽

昨年観察した罅場所の桑畑には1羽も入らないで、観察場所から見える住宅の陰に下りてしまった。従って、今年の罅場所は特定できなかった。

ヒメアマツバメの動向（2002年7月～12月）

取りまとめ：粕谷和夫

コロニーのメインである私立八王子高校の高床式体育館は、上から落ちてくるヒメアマツバメ、イワツバメの糞が迷惑だとしてツバメ達をシャットアウトしてしまうという計画に対し、教育の場でツバメ達との共存が継続されるよう2002年7月10日に同校校長宛にカワセミ会は要望書を提出しました。校長からは検討してみるという回答がり、その後、工事は1年延期してその間、対策を検討するという回答が電話でありましたが、依然として体育館は三方ともツバメ達のシャットアウト用のネットが張られたままになっています。

1. 京王線高尾駅西側ホーム高架下・八王子2G（川上恵調査担当）

8月22日・昼頃（10:50～11:20）観察時1羽が巣から飛び出したが直ぐ戻って来なかった。

8月24日・夕 使用中と思われる巣1個確認、2羽帰巣確認
（17:30～18:25）

11月20日・夕 使用中と思われる巣1個確認、2羽帰巣確認
（16:10～16:45）

16:35上空100m位に7羽のヒメアマツバメが現れ暫く旋回していたがだんだん東方へ移動、この7羽は入巣せず東方へ消えた。

2. 八王子学園八王子高校体育館・高床の下（ピロティ）

八王子5J（川上恵調査担当）

8月22日・昼頃（11:15～11:30）観察した結果、約20羽が体育館周辺を旋回しては巣に出入りしており雛への給餌と考えられ、繁殖しているものと思われる。

8月25日・夕 使用中と思われる巣40個確認、約80羽帰巣確認
（17:30～18:35）

17:30未だ明るい時点で20～30羽が巣に出入りしており雛への給餌と思われた。本隊は18:20頃上空に現れ旋回後18:33頃までに入巣した。

体育館は三方ともアマツバメシャットアウト用のネットに覆われており、ヒメアマツバメは僅かな隙間から又はネットに一時足をとめて頭から中に入っていくもの等が見られた。

11月24日・夕 使用中と思われる巣35~40個確認、60~70羽帰巣確認 (15:50~16:40)

体育館は三方ともネットに覆われているが、一旦ネットに足を掛けてから入る様子が観察できた。

3. 京王線高尾山口駅東側高架下 八王子1F (川上恚調査担当)

・・・95年に発見された所

8月11日・昼には周辺を飛翔しており、雛が育っていると思われたが、8月22日の10:20~10:40の観察では給餌行動等周辺飛翔は見られず、繁殖は不明。

8月22日・夕 使用中と思われる巣2個確認、4羽帰巣確認

(17:20~18:10)

11月19日・夕 使用中と思われる巣3~4個確認、5~7羽帰巣確認

(16:00~16:45)

入巣した5~7羽以外に10数は上空に現れたが、入巣せず他へ去ったと思われる。

4. 東浅川小学校校舎 (屋根裏) 未調査

5. 浅川・中央高速道橋下 未調査

6. JR八王子駅 未調査

7. 南大沢駅・武蔵府中OD (木村信幸調査担当)

12月1日朝 (6:20~7:50) 朝、巣を飛び出していった数7羽

(6:42~6:54)

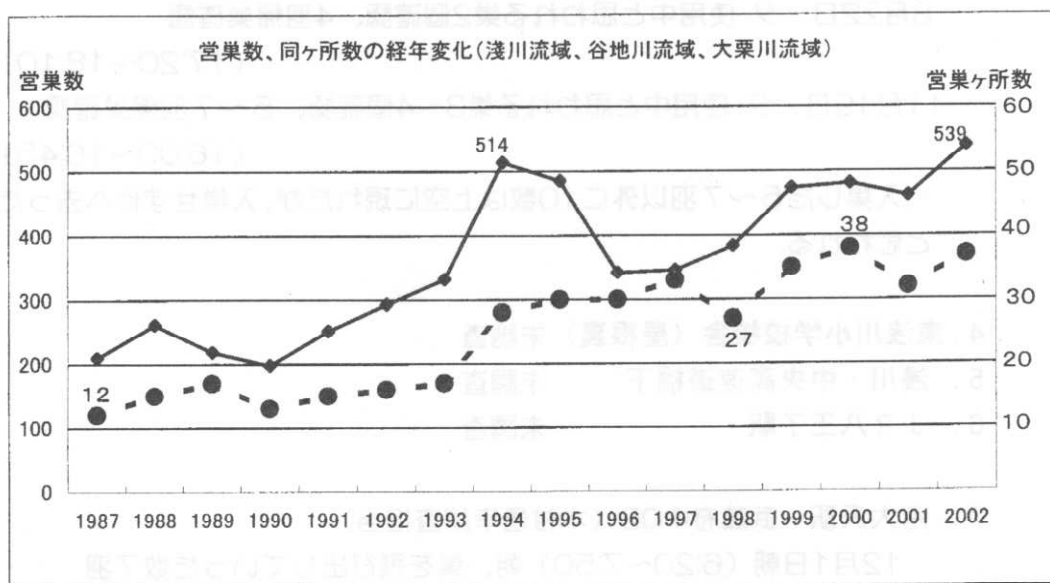
昨年建設されたコロニー近くの大型商業ビルの影響が懸念されたが、ヒメアマツバメは健在であった。

調査地点	調査日時	調査者	確認状況
八王子1F	8月11日	川上恚	雛が育っている
八王子1F	8月22日	川上恚	給餌行動等周辺飛翔は見られず
八王子1F	8月22日	川上恚	使用中と思われる巣2個確認、4羽帰巣確認
八王子1F	11月19日	川上恚	使用中と思われる巣3~4個確認、5~7羽帰巣確認
八王子1F	11月24日	川上恚	使用中と思われる巣35~40個確認、60~70羽帰巣確認
東浅川小学校校舎			未調査
浅川・中央高速道橋下			未調査
JR八王子駅			未調査
南大沢駅・武蔵府中OD	12月1日朝	木村信幸	巣を飛び出していった数7羽

2002年浅川流域イワツバメ営巣調査

(取りまとめ: 粕谷和夫)

この調査は1987年から毎年行っているもので2002年は16年目となった。調査方法は前年までと同じで、5月から7月の間に2回以上、その年に繁殖に利用している巣の数をカウントした。浅川流域を川筋別に16に分割し、その他に谷地川、程久保川及び大栗川を加えて行った。調査区域と調査者は第2表、結果は第1表の2002年欄の通りであり、前年よりやや増加した。



(第1表) 2002年イワツバメ営巣調査地域と調査者

調査地域	調査者	調査地域	調査者
① 北浅川 (大沢橋～陵北大橋)	丸山二三夫	⑫ 城山川 (月夜峯新橋～浅川合流)	木村晴美
② 北浅川 (陵北大橋～松枝橋)	河村道寛・洋子	⑬ 山田川 (山田橋～浅川合流)	平井国二
③ 浅川本流 (松枝橋～鶴巻橋)	山浦秀雄	⑭ 山田川・市民会館	粕谷和夫
④ 浅川本流 (鶴巻橋～大和田橋)	倉本修	⑮ 湯殿川 (白旗橋上流部)	横山由美子
⑤ 浅川本流 (大和田橋～長沼橋)	佐藤哲郎	⑯ 湯殿川 (白旗橋～時田橋)	-
⑥ 浅川本流 (長沼橋～一番橋)	山崎悠一・久美子	⑰ 湯殿川 (時田橋～浅川合流)	加藤岸男
⑦ 浅川本流 (一番橋～多摩川合流)	門口一雄、青木繁昌	⑱ 湯殿川 (都立片倉高校周辺)	門口一雄
⑧ 川口川 (川口橋～明治橋)	鈴木章七	⑲ 程久保川	青木繁昌
⑨ 川口川 (明治橋～浅川合流)	小沢礼子	⑳ 谷地川 (月夜橋～新左入橋)	新田茂、井手龍世
⑩ 南浅川 (案内橋～敷島橋)	川上恵	㉑ 谷地川 (新左入橋～田島橋)	大川征治・香
⑪ 南浅川 (敷島橋～浅川合流)	小池一男	㉒ 谷地川 (田島橋～多摩川合流)	傍島玲子
⑬ 南浅川・八王子総合福祉センター	川上恵	㉓ 大栗川	木村信幸
⑭ 南浅川・南多摩病院他	平井国二		

(第2表) イワツバメ営業数 (○内数値は前表の流域別に対応) 単位: 乗数 (X: 人による破壊, -: 未調査)

流域	メッシュNo	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	2002
①北浅川(大沢橋~陵北大橋)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②松枝住宅(A)	拝島3B	-	-	X	3	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③北浅川中央高速道橋(B)	拝島4A	17	30	34	14	16	0	12	13	12	16	15	28	10	14	2	6
③市立第2中学校(A)	拝島5A	-	16	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④萩原橋(B)	八王子6K	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④浅川渡合橋(B)	八王子7K	0	14	42	35	21	22	17	11	3	8	1	0	0	0	0	0
④浅川浅川大橋(B)	八王子7K	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
⑤浅川大和田橋(B)	八王子8J	69	60	39	36	7	0	0	3	0	10	18	15	7	36	44	29
⑤北野清掃工場(A)	八王子8J	X	X	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ゾマ生工場(A)→西東京生ソ	八王子8H	25	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤浅川JR中央線鉄橋高架(C)	八王子9H	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥浅川長沼橋(B)	八王子9H	0	0	0	0	10	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥浅川渡合橋(B)	武蔵府中0H	0	0	0	0	0	9	19	19	20	22	17	7	5	3	1	11
⑥平山中学校	武蔵府中1H	-	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦浅川一番橋(B)	武蔵府中1J	1	0	0	0	2	12	6	0	1	6	1	2	6	4	0	16
⑦浅川高幡橋(B)	武蔵府中2K	1	0	0	5	0	0	5	20	25	11	0	0	0	20	33	42
⑧川口児童館(A)	拝島2C	-	-	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧陶館小学校(A)	拝島4C	-	1	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
⑨中央道中野山王町高架(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	-
⑨清水小学校(A)	拝島5A	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
⑨シワ(株)(A)	拝島5A	-	9	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
⑨楮原中学校(A)	拝島5B	-	X	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
⑨川口川吹守橋(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	4	0	4	8	3	0	0	0	0	0	-
⑩京王高尾山口駅(C)	八王子1F	6	7	6	10	7	20	13	15	20	15	15	23	25	40	35	45
⑩案内川高尾橋詰橋本屋	八王子1F																
⑩京王高尾駅(C)	八王子2G	10	5	5	20	20	20	20	15	18	17	20	25	20	30	5	10
⑩高尾駅南口マンション(A)	八王子2G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	20	40	40	30
⑩東浅川小学校(A)	八王子3G	0	0	0	0	0	0	1	5	13	0	0	0	0	0	0	0
⑩京王線東浅川小学校前(B)姫天燕	八王子3G	20	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪私立八王子高校体育館(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	100	50	40	30	27	94	45	26	20	20
⑪南浅川東横山橋(B)	八王子4J	6	8	5	0	0	0	4	2	7	6	6	3	3	0	0	0
⑪都立八王子工校体育館(A)	八王子4J	0	0	5	7	8	8	13	6	3	0	0	0	0	0	0	0
⑪八王子総合福祉センター(A)	八王子3H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	0	1	0	0
⑪NTT八王子(A)	八王子4H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑪南多摩病院(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	6	5	3	3
⑪ライオンズマンション西八王子駅前(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
⑪台町市民センター(A)	八王子5J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	1	1
⑪都立第2商業高校(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1	0	0
⑫城山川(日夜新橋~浅川合流)	八王子3K4K	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬JR八王子駅(D)	八王子7J	50	92	45	51	117	100	120	120	148	43	38	70	148	118	135	127
⑬八王子市民会館(A)	八王子6J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	2	2	0	0	0
⑭湯殿川新田中橋下	八王子5H																
⑭卜-3-1-八王子店駐車場ビル5階	八王子3H																
⑭はざま住宅(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	27	7	1	2	0	3	3	26	14	14
⑭メジロ台ハイム(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭スリーポンド本社(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	0	0	0	23	37	9	6	6	0	0
⑭大信プラスチック(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	0	0	0	17	24	14	9	5	4	4
⑭富士重工第2スバル寮(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
⑮JR片倉駅(C)	八王子7G	0	0	0	0	5	12	14	10	12	27	19	8	0	12	5	-
⑮片倉台小学校(A)	八王子7F	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	5	0	1	1	-	-
⑮片倉サンライズ幼稚園(A)	八王子7F	0	0	0	0	8	10	25	0	0	0	0	0	0	2	1	-
⑮湯殿川東橋(B)	八王子7G	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
⑮兵衛川横浜線鉄橋(C)	八王子7G	0	0	0	0	3	4	0	0	4	10	3	0	0	7	4	-
⑮湯殿川横浜線鉄橋	八王子8H																
⑮湯殿川打越大橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	11	4	2	0	0	0	0	0	0
⑮湯殿川時見橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0	2	2
⑮北野ハケシタビル(A)	八王子8G	1	6	9	6	X	0	0	11	10	6	2	0	3	0	0	0
⑯京王北野駅(C)	八王子8G	0	0	0	0	13	58	56	54	69	49	45	43	31	25	35	39
⑯京王北野駅~長沼駅(C)	八王子9G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	12
⑯京王長沼駅(C)	八王子9G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	8	3	9	7
⑯都立片倉高校																	
⑯都立片倉高校北側の陸橋																	
合計営業数(I)		210	262	219	198	252	293	332	454	437	305	300	339	420	442	438	494
営業力所数(I)		12	15	17	13	15	16	17	22	21	22	22	19	22	25	26	27

程久保川、谷地川、大栗川の流域	メッシュNo	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	2002
①程久保川															0	0	0
⑩中央高速下石川西児童公園 (C)	拝島9A	-	-	-	-	-	-	-	15	5	0	1	0	0	6	5	13
⑩谷地川鶴巻橋 (B)	拝島9B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	4	3	5	6	1	0	0
⑩谷地川西野橋 (B)	拝島8A	-	-	-	-	-	-	-	0	1	4	2	0	0	0	0	1
⑩谷地川八幡宿橋 (B)	拝島7C														3	0	0
⑩カレツツア駐車場 (A)	拝島7B													7	6	0	0
⑩いちょう接骨院 (A)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	1	2	0	0
⑩谷地川八方地橋 (B)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	0	4	3	6	8
⑩谷地川万年橋 (B)	拝島9B	-	-	-	-	-	-	-	0	2	0	1	1	0	1	1	3
⑩谷地川新鶴見橋 (B)	立川0B	-	-	-	-	-	-	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0
⑩谷地川新瀬水橋 (B)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	1	1	0	?
⑩京王南大沢駅 (C)	武蔵府中0D	-	-	-	-	-	-	-	16	17	11	12	9	8	2	4	4
⑩アメニティトライアル多摩21 (D)	武蔵府中0D	-	-	-	-	-	-	-	16	4	0	0	0	0	-	-	-
⑩南大沢舞の橋歩道橋 (B)	武蔵府中0D	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0
⑩太田川おかんだう橋 (B)	武蔵府中1D	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	5	0	0	0
⑩大田川峯が谷戸橋 (B)	武蔵府中1E	-	-	-	-	-	-	-	10	10	7	0	0	0	2	5	0
⑩太田川板橋 (B)	武蔵府中1E													0	4	3	5
⑩太田川川幡橋 (B)	武蔵府中1E																5
⑩ハローマック多摩NT店 (A)	武蔵府中1E	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	7	5	0	0	0
⑩京王堀之内駅 (C)	武蔵府中2E	-	-	-	-	-	-	-	0	5	7	3	0	6	0	0	3
⑩大栗川大片瀬橋 (B)	武蔵府中0E	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	9	0	0	0	0	0
⑩大栗川富士見橋 (B)	武蔵府中0E	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	7	12	5	0	0	0
⑩大栗川山下歩道橋 (B)	武蔵府中0E																2
⑩大栗川常盤橋 (B)	武蔵府中3F	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	2	0	3	0	0
⑩大栗川宮田橋 (B)	武蔵府中3F	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	2	0	0	0
⑩大栗川横倉橋 (B)	武蔵府中4G	-	-	-	-	-	-	-	2	0	0	2	4	3	5	0	1
合計営業数 (Ⅱ)									60	48	37	46	44	54	39	24	45
営業力所数 (Ⅱ)									6	9	8	11	8	13	13	6	10

浅川流域とその周辺の合計

	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	2002
合計営業数 (Ⅰ)	210	262	219	198	252	293	332	454	437	305	300	339	420	442	438	494
合計営業数 (Ⅱ)								60	48	37	46	44	54	39	24	45
合計営業数 (Ⅰ+Ⅱ)	210	262	219	198	252	293	332	514	485	342	346	383	474	481	462	539
営業力所数 (Ⅰ)	12	15	17	13	15	16	17	22	21	22	22	19	22	25	26	27
営業力所数 (Ⅱ)								6	9	8	11	8	13	13	6	10
営業力所数 (Ⅰ+Ⅱ)	12	15	17	13	15	16	17	28	30	30	33	27	35	38	32	37



2002年、秋のサシバ等渡り調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

2002年は10カ所（第1図）で、9月18日から10月14日まで調査した。通過するサシバ、ハチクマ等の渡り鳥及び渡りをする蝶アサギマダラをカウントした。

調査には延べ144名の会員が参加した（第1表）。本年もEメールを使い関東近辺の調査グループと情報の相互交換を行うとともに、本年は「タカ渡り全国ネットワーク」のホームページとリンクしてカワセミ会ホームページの毎日の調査結果を当日の夜にアップし、全国に日毎のデータをタイムリーに発信した。

（第1図）タカ渡り調査地の位置図（1/2.5万地形図10等分メッシュ図）



注) 1メッシュは約1km

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 高月給水所：与瀬5E | 6 下恩方清水宅：与瀬0A |
| 2 小峰BC：五日市8F | 7 夕焼け農園：五日市7A |
| 3 GMG第2P：与瀬2E | 8 陣馬山山頂 (陣場山)：与瀬3H |
| 4 大博採石場最上部 (大博石場)：五日市9. | 9 高尾山霞台 (高尾霞台)：八王子0F |
| 5 遠矢城公園 (遠矢公園)：与瀬9K | 10 城山湖：八王子2C |

調査参加者氏名

青木繁昌、井形定子、井手龍世、井上典子、石橋公子、今井達郎、大川征治、大川香、粕谷和夫、神谷古牧、川上恵、河村洋子、倉本修、小塩菊子、佐伯直寛、佐藤サヨ子、清水盛通、下重光正、白川司、白川史子、関根伸一、傍島玲子、高橋和子、田中英吉、千葉慎子、中野悠紀子、新田茂、原田佳世、平井国二、平井智恵子、福本順吉、古山隆、前田善明、丸山二三夫、峯尾真澄、三好恒雄、森松幹治、山崎悠一、山崎久美子、若狭誠、渡辺仁

(第1表) 2001年サシバの調査参加者

調査地 / 調査月日	高月給水所	小峰BC	G M G 第2 P	大博採石場最上部	遠矢堀公園	下恩方清水宅	夕焼け農園	陣馬山山頂	高尾山霞台	城山湖	計 (単位は人数)
9月18日					2						2
19日					1						1
20日											0
21日	1			1	2			1	1	1	7
22日	2				1					1	4
23日					4					3	7
24日					2						2
25日	1				6			1		2	10
26日	1	1			6						8
27日	1							3	1		5
28日											0
29日	4			1	7			2	3	2	19
30日	2				6			2		2	12

調査地 / 調査月日	高月給水所	小峰BC	G M G 第2 P	大博採石場最上部	遠矢堀公園	下恩方清水宅	夕焼け農園	陣馬山山頂	高尾山霞台	城山湖	計 (単位は人数)
10月1日											0
2日					5					1	6
3日	2				1	8			3	2	16
4日					2						2
5日					4	2		1		1	8
6日					11				2	1	14
7日	3										3
8日					3						3
9日			1		3						4
10日					4					1	5
11日							1				1
12日					2			1			3
13日					1						1
14日						1					1
計	17	1	1	7	78	1	1	11	10	17	144

1. サシバ、ハチクマの通過羽数 (数のカウント)

第2表の通りで、全体ではサシバは1,058羽~1,663羽、ハチクマは18羽~24羽が通過した。羽数に幅があるのは複数ヶ所がカウントしたもの内、第2表の「月日計」欄に示したとおり、最も多かった所の羽数をXn (日最大値の計)、複数ヶ所の計をXmとし、合計をΣ (Xn~Xm) としたことによる。場所別では遠矢堀公園が最も多く、本年はここだけで1,000羽を越えた。

第2表の天気及び最高気温は八王子市天気相談所発行の「八王子市気象月報」から引用のものである

(第2表) 2002年の通過羽数・サシバ、ハチクマ

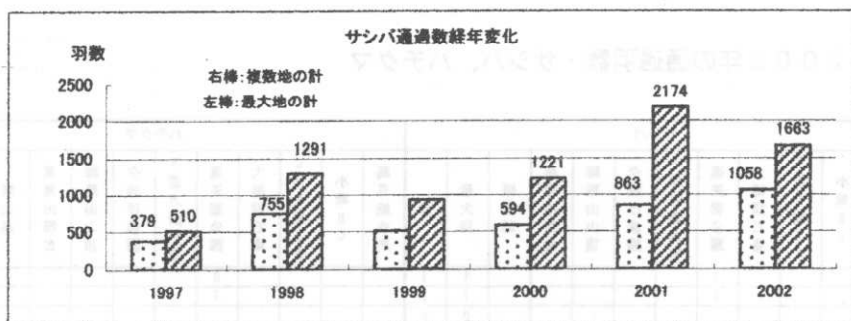
月日	天気	最高気温	サシバ											ハチクマ											計			
			高月給水所	小峰BC	G M G第2P	大博採石場	遠矢堀公園	下忍方清水宅	夕焼け農園	陣馬山山頂	高尾山露台	城山湖	最大値	計	高月給水所	小峰BC	G M G第2P	大博採石場	遠矢堀公園	下忍方清水宅	夕焼け農園	陣馬山山頂	高尾山露台	城山湖		最大値	計	
9月18日	晴	27.0				1						1	1					0							0	0		
19日	晴	25.4				2						2	2					1								1	1	
20日	晴	27.5										0	0													0	0	
21日	晴	27.2	0			0	1			3	0	0	3	4	0			1	0		0	0	0	6	6	7		
22日	雨	21.0	0			0						0	0	0	0											0	0	
23日	曇	21.9				0						0	0	0										1	1	1		
24日	晴	25.4				0						0	0													0	0	
25日	晴	26.2	0			62			8			0	62	70	0					0				0	0	0	0	
26日	曇	21.2	2	98		230						230	330	0	1			0								1	1	
27日	雨	17.5	0						0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0	
28日	雨	20.3										0	0														0	0
29日	曇	27.9	9			0	10			24	3	0	24	46	0			0	1		1	0	1	1	1	3	3	
30日	曇	21.9	0						0			0	0	0	0					0						0	0	
10月1日	雨	22.7										0	0													0	0	
2日	晴	29.2	2			6						2	6	10	0				1					0	1	1	1	
3日	曇	26.4	1			308	413	29		5	46	413	802	0				2	4			0	1	4	7	7		
4日	晴	29.7				210						210	210						0							0	0	
5日	晴	28.3	0			57	61		9			12	61	139	0			0	0		0					0	0	
6日	曇	26.1	0			0				5	0	5	5	0					0							0	0	
7日	雨	29.2	0									0	0	0												0	0	
8日	曇	21.4				0						0	0						0							0	0	
9日	曇	20.4			0	20						20	20					0	1						1	1	1	
10日	晴	24.0				15				3	15	18						0					1	1	1	1	1	
11日	晴	19.9						0				0	0						0							0	0	
12日	晴	21.3				0		0				0	0						1		0					1	1	
13日	晴	22.4				2						2	2						0							0	0	
14日	晴	25.9						4				4	4						0							0	0	
			14	98	0	365	1,033	33	0	44	13	63	1058	1663	0	1	0	3	9	0	0	1	0	10	18	24		

2. 経年変化

サシバの経年変化は第3表の通りで本年は日最大値の計が過去最高を記録した。

(第3表) 八王子上空を通過するサシバ総数の経年変化

	日最大値の計	複数値の計	多く通過した日	調査期間	主調査ヶ所数	調査者延べ数	備考
1993	-	100羽	9/26,	9/26,	4ヶ所	24名	特定日調査
1994	-	90羽	10/2,	9/17~10/10	3ヶ所	58名	特定日調査
1995	-	20羽	特に無し	9/21~10/7	1ヶ所	32名	特定日調査
1996	-	318羽	9/28,	9/15~10/16	4ヶ所	117名	連続日調査
1997	379羽	510羽	9/20, 9/24	9/17~10/19	5ヶ所	154名	連続日調査
1998	755羽	1291羽	9/27, 10/3	9/19~10/12	6ヶ所	174名	連続日調査
1999	509羽	937羽	9/26, 27, 10/3, 4, 9	9/18~10/12	5ヶ所	204名	連続日調査
2000	594羽	1221羽	9/27, 30, 10/5, 6, 10	9/15~10/14	9ヶ所	177名	連続日調査
2001	863羽	2174羽	9/23, 9/29	9/13~10/12	8ヶ所	167名	連続日調査
2002	1058羽	1663羽	9/25, 26, 10/3, 4, 5	9/18~10/14	10ヶ所	144名	連続日調査



第4表) サシバ、ハチクマ以外の野鳥等出現羽数又は回数 (2002. 9/18~10/14)

注) 単位は基本的には羽数であるが、地着きの野鳥については出現回数も含まれ、両者が混在している			高月給水所	小峰BC	GMG第2P	大博採石場	遠矢堀公園	夕焼け農園	陣馬山山頂	高尾山霞台	城山湖	計
地着き又は通過のワシタカ	118	ミサゴ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	120	トビ	43	2	1	21	61	3	6	4	42	183
	123	オオタカ	21	0	1	5	37	1	0	1	9	75
	125	ツミ	6	0	0	0	14	0	1	0	2	23
	126	ハイタカ	0	0	0	0	5	0	2	0	2	9
	129	ノスリ	13	0	0	8	30	0	0	0	19	70
	131	クマタカ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	141	ハヤブサ	0	0	0	3	7	0	1	0	4	15
	142	チゴハヤブサ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	145	チョウゲンボウ	0	0	0	1	2	0	0	0	2	5
通過のアマツバメ、ツバメ類 (ヒメアマツバメは地着き含む)	318	ハリオアマツバメ	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20
	319	ヒメアマツバメ	27	0	0	0	5	0	200	0	7	239
	320	アマツバメ	355	0	0	3	43	0	52	45	20	518
	346	ショウトウツバメ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	347	ツバメ	329	0	0	1	4	0	1	0	8	343
	349	コシアカツバメ	2	0	0	0	0	0	0	0	4	6
	350	イワツバメ	132	0	0	11	89	0	2	11	16	261
通過のその他の野鳥、蝶	367	ヒヨドリ	149	0	105	297	1894	233	0	250	66	2994
	431	サメビタキ	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
	432	エソビタキ	1	0	0	0	1	0	7	39	1	49
	433	コサメビタキ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	388	ノビタキ	0	0	0	0	2	0	0	0	4	6
	303	ツツドリ	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
		アサギマダラ	1	2	0	2	12	0	3	8	11	39

3. 他の野鳥やサギマダラの出現羽数

ミサゴ 1 羽は大博採石場最上部で9/21に観察されたもの、クマタカ2羽は9/29に陣馬山山頂と高尾山霞大で観察されたもの、チゴハヤブサ1羽は高月給水所では9/20に観察されたもので、いずれも渡りのものと思われる。

本年も渡りの途中と思われるアマツバメ類、ツバメ類が同時に観察された。ただし、ヒメアマツバメは八王子市内で越冬する個体もあるので、全てが渡りのものと断定できない。ヒタキ類ではエソビタキが49羽記録された。本年は渡り途中と思われるノビタキ、ツツドリも観察された。渡りのものと思われるアサギマダラは39頭記録された。

2002 年片倉城跡公園巣箱調査

取りまとめ：新田 茂

2002 年 12 月 8 日恒例の巣箱利用状況調査と清掃、シュロ縄の交換を行いました。

利用状況

No	形式(四十雀用)		四十雀 利用	ねぐらとし て利用	不利用	備 考
1	プラスチック植木鉢製	筒形			○	
2	木製	箱形	○			
3	//	//		○		
5	//	//	○			
6	//	//		○		
8	//	//			○	屋根破損修理
10	丸太くりぬき	筒形		○		
11	木製	箱形			×	紛失
12	プラスチック植木鉢製	筒形	○			
15	木製	箱形	○			
17	塩ビ管製	筒形			○	屋根紛失
18	木製	箱形	○			
19	//	//	○			
20	//	//			○	
21	//	//			×	紛失
22	//	//	○			
計 16 個			7 個	3 個	6 個(内破損 2、紛失 2)	

プラスチック植木鉢を利用した 2 個の内 1 個は四十雀が利用し、1 個には雀が運び込んだと思われる枯草がありましたが、この形の巣箱はこれまで利用されなかったため昨年未架け替えを行ったのが良かったのだと思われます。

キツツキ類によりと思われる出入り口の拡大については、no20 に補修する必要もない程度のもが見られただけでした。

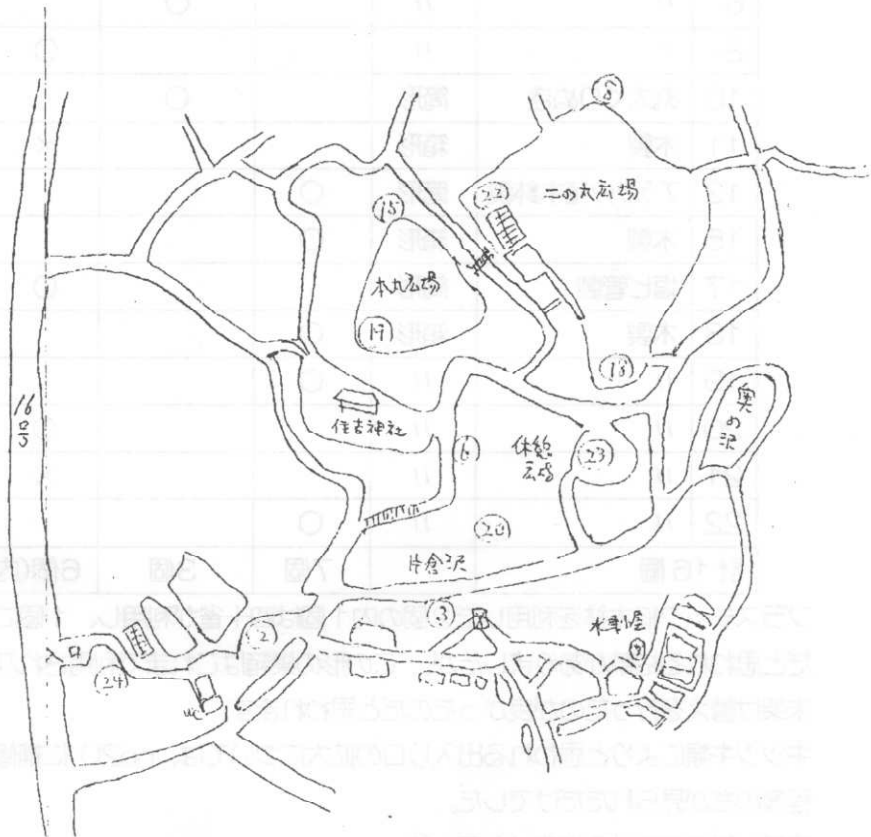
また、蜂の造巣はありませんでした。

紛失した 2 個については、原因は分かりませんが 4 月 8 日の観察時に 1 個は既に無くなっており、1 個は落下したので再度取り付けを行っていますのでその後無くなったものと思われます。

架設状況

no	形式(四十雀用)	樹木名	地上高(m)	出入口方向	提供者
2	木製 箱形	ケヤキ	25	北東	川上恚
3	〃	コナラ	1.85	南	神谷古牧
6	〃	ホウノキ	2.45	東	〃
8	〃	アカシデ	2.20	北東	新田茂
15	〃	ケヤキ	2.10	西	川上恚
18	〃	コナラ	2.60	南	〃
19	〃	イロハカエデ	2.00	北	神谷古牧
20	〃	クルミ	2.50	北東	〃
22	〃	サルスベリ	2.55	北	〃
23	〃	コナラ	2.60	北東	〃
24	〃	アカシデ	2.35	西	〃

架設位置
を
横
決



今回からは傾斜地での作業は危険が伴うためすべて平地に架設するようにしました。神谷会員から今年も2個の提供がありましたので老朽化したもの、破損したものは取り外し11個として架け替えを行いました。

今回の調査には次の会員の協力を頂きました。

今井達郎 粕谷和夫 川上恚 神谷古牧 門口一雄

2002年、我が家の庭に来る野鳥調査結果

取りまとめ:丸山二三夫

2002年は市街地11庭(マンションなし)、郊外24庭(庭22、マンション2)計35庭がこの調査に参加した。前年参加したが02年には参加しなかった人が10名、新規に参加した人が9名で差し引き1名減となった。

結果は第1表の通り、1年間のうち、最低1回でも庭に来た鳥(以下●で示す)は市街地で26種、郊外で38種とほぼ前回なみとなった。一方自宅付近に来た鳥(以下○で示す・例えば隣近所に来た鳥、自分の家で声を聞いた鳥など)は市街地、郊外とも6種で前回の各9種より3種減った。結果累計でその他欄の鳥を含め44種の鳥が35庭およびその付近のどこかで確認されたことになる。

市街地と郊外は厳密な定義分けはなく、昨年までと同様、会員の現住所から概ね市街地らしきところ、郊外らしき所と便宜的に分けた。1庭当たりの平均飛来種数は第2表のとおり、●が13種、○が9種、●○計21種(市街地20種、郊外22種)であり、前年と大きな変化はない。

各人別のデータは第4表のとおりである。80%以上の出現率の野鳥(28庭以上で記録された野鳥)は、ツバメ、カラス、ヒトリ、クマドリ、シヨビ、クミ、クイ、ツユカラ、メ、カササギ、スズメ、ムドリ、ハブトガスの14種で、前年よりクマドリ、クミ、クイの3種が増えている。庭に池がある、庭が用水路に接しているなどのお宅ではクマドリ、カササギ、クミなどが姿を現し、クマドリ、クミ、クイ、ツユカラなどが姿を現すうらやましいお宅もある。一方急速に増えていたガビチョウは、00年11庭、01年10庭、02年11庭と横ばい状態が続いている。

夏鳥のカササギ(3庭)とクマドリ(17庭)は前年と同じ傾向だが、クマドリは9→12→17庭と確実に増えている。なお、第4表のその他欄は、調査依頼時のデータに記載されていなかった鳥について報告のあったものを記録した。ただし、ガビチョウは例年報告件数が多いため、表に加えることにした。

庭での繁殖状況は第3表のとおりで、ツバメ、ヒトリ、ツユカラ、メ、スズメの5種で前年より減ったが、ごく標準的な実態と思われる。

(第1表)2002年に]会員の庭及びその付近に訪れた野鳥の種類数

	市街地				郊外				合計
	庭	マンション	計	累計種類	庭	マンション	計	累計種類	
調査数	11	0	11		22	2	24		35
●	26	0	26	26	38	2		38	累計種類
○	6	0	6	6	6	24		6	
合計	32	0	32	32	44	26		44	44

(第2表)1庭当たりの平均飛来種類数

	市街地			郊外			合計
	庭	マンション	計	庭	マンション	計	
調査数	11	0	11	22	2	24	35
●	14	0	14	13	1	12	13
○	6	0	6	9	12	10	9
合計	20	0	20	22	13	22	21

注)●:実際に1回でも庭に来た鳥の種類数

○:庭の付近に来た鳥の種類数

(第3表)2002年・我が家の庭で繁殖した野鳥

	市街地										郊外(M:マンション)										合計・庭数																			
	井上典子	大室君子	小川清成	粕谷和夫	久保田ヤス子	小池一男	佐伯直寛	平井智恵子	細田富美代	尾尾良雄	三好恒雄	小計・庭数	新井洋子	井手龍世	今井達郎	大川征治	小笠原敏子	川上志	木村正子	白川夫妻		杉森ユリ	鈴木一	関根伸一	傍嶋玲子	高橋英昭	永見博子	夏目昌明	西巻虎彦	新田茂	萩原正昭	福井秀雄	丸山二三夫	山崎夫妻	山下弘文	小計・庭数	M木村信幸	M佐藤サヨ子		
メッシュ位置	様6A	武0G	武0K	武0J	八4H	八4A	八4J	八4A	立0A	八4A	八4A		八5H	八6B	八0K	八8K	八8F	八2H	武0F	八4B	八6G	八2K	八9C	武0K	八2A	八2H	武3K	八6B	八9G	八8F	八1C	武0G	八4J	武1E	武3F					
149コジュケイ																																								
296キジハト	①					①				③	3	②																	①③									3		
347ツバメ																																								
354キセキレイ																																								
367ヒヨドリ			②								1	②																												
410ウグイス																																								2
440ヤマカウ																																								
441シジュウカラ	②	③	①			①			①②	6	③	①①③	①	③	①													①②	③									10		
444メジロ																																							1	
488スズメ						③			③	2	③				①	③								①				③										5		
493ムクドリ																																								
504ハシロガラス																																								
カビチョウ																																								
計①営巣立ち	1		1		1	1			1	5		1	1	2	1									1		1	1											8		
②営巣途中放棄	1		1						1	3	2																1											3		
③親子連れ来庭		1					1	1	1	4	2	1		2	1														3	1							10			
④その他																																								
合計①②③④	2	1	2		1	2		1	3	12	2	2	1	2	2	2	2							1		2	4	1									21			

2002年 ツバメの集団ねぐらの調査結果、活動経過概要

(取りまとめ：粕谷和夫、神谷古牧、渡辺仁)

多摩川の国道16号拜島橋とJR八高線鉄橋の間にある平堰(日野用水取水口)付近にはツバメの集団ねぐらがあり、八王子・日野カワセミ会では1995年から毎年調査を実施しています。また、当地より下流の支流谷地川合流付近にも春先に小さなねぐらが形成されることが発見されました。

2002年の調査の経緯は以下のとおりで、4月7日から10月12日まで調査を行いました。(注:「推定入り羽数」は前回調査結果との増減の様子からの推定であるが、谷地川ではねぐら入後にライトを照射し実数カウントを行った場合もある)

多摩川平の堰付近(八王子側)

《 年月日	時間帯	推定入り羽数	観察者 》
2002.04.07	夕	0	神谷古牧
2002.04.13	夕	0	渡辺仁他
2002.04.19	夕	0	粕谷和夫
2002.04.20	夕	0	神谷古牧
2002.04.27	夕	0	渡辺仁他
2002.04.29	夕	0	神谷古牧
2002.04.30	夕	0	神谷古牧
2002.05.03	夕	0	渡辺仁他
2002.05.11	夕	0	渡辺仁他
2002.05.14	夕	0	神谷古牧
2002.05.31	夕	100	神谷古牧
2002.06.07	夕	300~500	粕谷和夫
2002.06.22	夕	300~700	粕谷和夫
2002.06.29	夕	5,000~7,000	粕谷和夫他
2002.07.06	夕	10,000~15,000	粕谷和夫他
2002.07.13	夕	10,000~15,000	粕谷和夫他
2002.07.19	夕	20,000~25,000	粕谷和夫
2002.07.20	夕	20,000~28,000	川上憲
2002.07.27	夕	20,000~25,000	探鳥会
2002.08.04	夕	20,000~25,000	渡辺仁他
2002.08.11	夕	20,000	渡辺仁他
2002.08.17	夕	8,000~12,000	渡辺仁
2002.08.24	夕	12,000	粕谷和夫他
2002.08.25	夕	14,000~18,000	渡辺仁
2002.08.31	夕	5,000	渡辺仁
2002.09.01	夕	5,000~7,000	粕谷和夫
2002.09.07	夕	2,000~3,000	粕谷和夫
2002.09.08	夕	3,000~5,000	渡辺仁

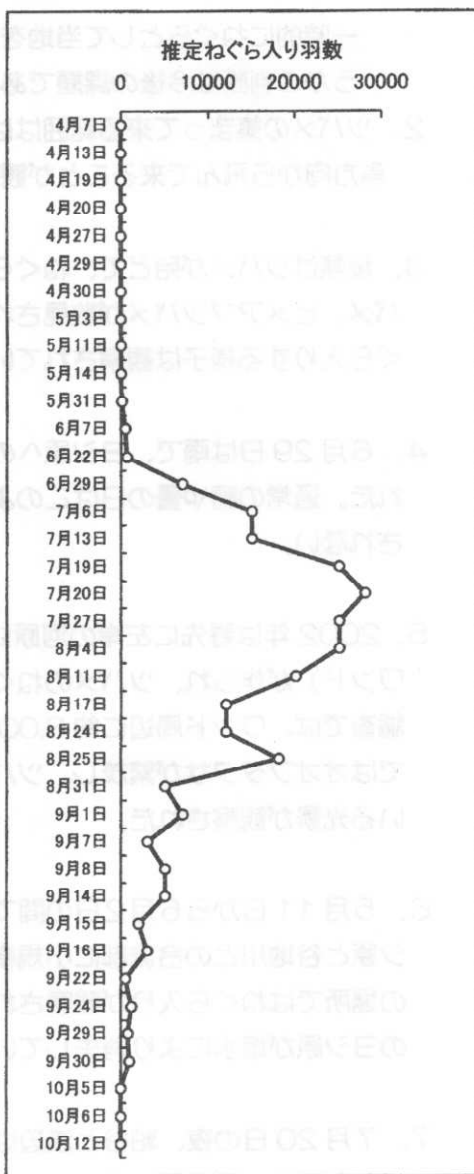
年月日	時間帯	推定入り羽数	観察者
2002.09.14	夕	3,000~5,000	渡辺仁
2002.09.15	夕	2,000	神谷古牧
2002.09.16	夕	2,000~3,000	粕谷和夫
2002.09.22	夕	300~500	粕谷和夫
2002.09.24	夕	800~1,200	渡辺仁
2002.09.29	夕	400~800	渡辺仁
2002.09.30	夕	500~1,000	粕谷和夫
2002.10.05	夕	0	粕谷和夫
2002.10.06	夕	0	渡辺仁他
2002.10.12	夕	0	渡辺仁他

多摩川平の堰付近(昭島側)

年月日	時間帯	推定入り羽数	観察者
2002.08.17	夕	3,000	粕谷和夫
2002.08.18	夕	2,000~3,000	渡辺仁
2002.08.25	夕	400~500	渡辺仁
2002.08.31	夕	1	渡辺仁
2002.09.08	夕	0	渡辺仁

谷地川河口浄化施設上流側

年月日	時間帯	推定入り羽数	観察者
2002.04.27	夕	50	神谷古牧
2002.05.05	夕	10	神谷古牧
2002.05.11	夕	15	渡辺仁他
2002.06.02	夕	100	神谷古牧
2002.08.25	夕	0	渡辺仁
2002.08.31	夕	0	渡辺仁
2002.09.14	夕	0	渡辺仁
2002.09.08	夕	0	渡辺仁



2002年の調査結果、活動経過等の要約は以下のとおりです。

1. 図は調査対象中で最大規模の平堰(八王子側)での時期別のねぐら入り推定数をグラフ化したものである。ねぐら入りの初認は6月7日であるが、この時期は一番仔の巣立の時期にほぼ一致する。以後日を重ねる毎に急速に増加し7月末にピークとなる。ピーク時のねぐら入り数は25,000~30,000羽と推定される。8月はお盆を過ぎると急速に減少するが、2002年は終認が例年より遅く9月30日であった。9月になっても数は多くないが連続的にねぐら入りが観察されることは、関東以北の個体が渡り途中に

一時的にねぐらとして当地を利用していることも考えられるが、事実かどうかの判断は今後の課題である。

2. ツバメの集まって来る範囲ははっきりしないが、八王子方向、日野方向、昭島方向から飛んで来ることが観察される。
3. 種類はツバメが殆どで、ねぐら入り前の空中群舞の中にイワツバメ、アマツバメ、ヒメアマツバメが散見されることがあるが、これらの種が同じ場所にねぐら入りする様子は観察されていない。
4. 6月29日は雨で、ヨシ原への滞入り直前まで電線に止まる数千羽が観察された。通常の晴や曇の日はこのような多数のツバメが電線に止まることは観察されない。
5. 2002年は春先に左岸の河原にヨシ原を人工的に掘り起こしてワンド（昭島ワンド）が作られ、ツバメのねぐら入りへの影響が懸念されたが、8月中旬の調査では、ワンド周辺に約3,000羽のねぐら入りが見られた。ワンド周辺ではオオブタクサが繁茂し、ツバメがこのオオブタクサに止まりねぐらとしていた光景が観察された。
6. 5月11日から6月2日の間では、谷地川河口浄化施設上流側の小規模なヨシ原と谷地川との合流部に小規模のねぐらが観察されたが、この時期以降はこの場所ではねぐら入りが見られなかった。また、谷地川河口浄化施設上流側のヨシ原が増水により消失していることが9月14日に確認された。
7. 7月20日の夜、粕谷と渡辺は徹夜で多摩川河口から平塚まで断続的に、ライトとスコープを用いてツバメの集団ねぐらの踏査を行った。その結果、多摩川土手付近と川崎市の小島新田で河原のヨシ原に小規模のねぐらがあることを発見した。同様の方法で7月21日夜間、渡辺は府中四谷橋下流側左岸のヨシ原に平塚と大規模なねぐらを見つけた。翌日、粕谷と渡辺は、ねぐら入り時の観察で2万羽程度の規模であることを確認した。

多摩川流域ツバメ集団塹調査連絡会の立ち上げと2003年計画

2002年12月21日、多摩川でツバメのねぐら調査に関係のある団体や個人にカワセミ会が呼びかけ、「多摩川のツバメねぐら調査の情報交換の場」とするための「多摩川流域ツバメ集団塹調査連絡会」を立ち上げました。

参加団体と世話人は以下のとおりです（2003年2月15日現在）。

世田谷の野鳥環境を考える会（世話人：澤村信之、宮森達雄）

多摩川と生きる昭島市民の会（世話人：長谷川博之）

多摩川の自然を守る会（世話人：柴田隆行）

八王子・日野カワセミ会（世話人：粕谷和夫、渡辺仁）

府中野鳥クラブ（世話人：大室清、古山敏雄）

日本野鳥の会研究センター・WING（世話人：神山和夫）

日本野鳥の会東京支部（世話人：井守美穂）

個人会員（川内博、鈴木秀夫）

代表世話人 粕谷和夫（八王子・日野カワセミ会）

事務局担当世話人 渡辺仁（八王子・日野カワセミ会）

2003年は主として次の3種類の調査を各参加団体や個人会員が協力して共通の方法で行うこととしています。

1. 集団塹の分布把握調査（青梅から河口までの間、塹がどこにあるか探す調査）
2. 大きな塹の個体数変動調査（既知集団塹の塹入りカウント継続調査）
3. 塹のありそうな環境の調査（アシハラ等の環境の図測と現地確認調査）

2003年冬鳥一斉カウント結果

取りまとめ：阿江範彦

1991年より実施している、冬鳥一斉調査は、1月12日、69名の会員の参加のもと行われました。本年の結果は、72種、10,603羽の野鳥が確認さ

年次	浅川本・支流		程久保・谷地川		調査人数
	総数	種類	総数	種類	
1991	11,356	60			31
1992	12,825	59			41
1993	13,557	60			46
1994	12,787	60			40
1995	11,917	61			41
1996	11,615	62			67
1997	12,226	66	1,682	42	82
1998	13,936	64	1,817	40	67
1999	11,344	66	1,740	41	75
2000	10,988	67	2,667	41	65
2001	11,438	61	1,608	39	82
2002	10,492	70	1,883	42	81
2003	8,950	69	1,653	40	69

(表1) 1991年からの総括表

区間	区間		総数	種類数
北浅川	大沢	陵北	370	38
	陵北	松枝	716	37
浅川 (上流)	松枝	鶴巻	433	30
	鶴巻	大和	1,092	37
	大和	長沼	400	37
浅川 (下流)	長沼	一番	602	35
	一番	万歩	739	46
	万歩	合流	424	32
川口川	川口	明治	664	30
	明治	合流	658	27
南浅川	案内	敷島	313	26
	敷島	合流	686	28
城山川	月夜	合流	547	25
山田川	山田	合流	574	28
湯殿川	白旗	時田	385	25
	時田	合流	347	27
程久保川	小宮	合流	411	31
谷地川	月見	左入	698	29
	左入	合流	544	33
合計			10,603	40

(表2) 区間ごとの総数と種類数

れました。調査結果は(表1)、調査参加者は(表3)のとおりです。

浅川本・支流で見ると過去11年間で総数が最低値を記録した昨年をさらに下回り1万羽を切る結果となりました。

1. 区間ごと

調査区間ごとの総数と種類数は、(表2)のとおりで、最も多くの種類が確認されたのは、一番橋からふれあい橋間の46種(去年は39種)。

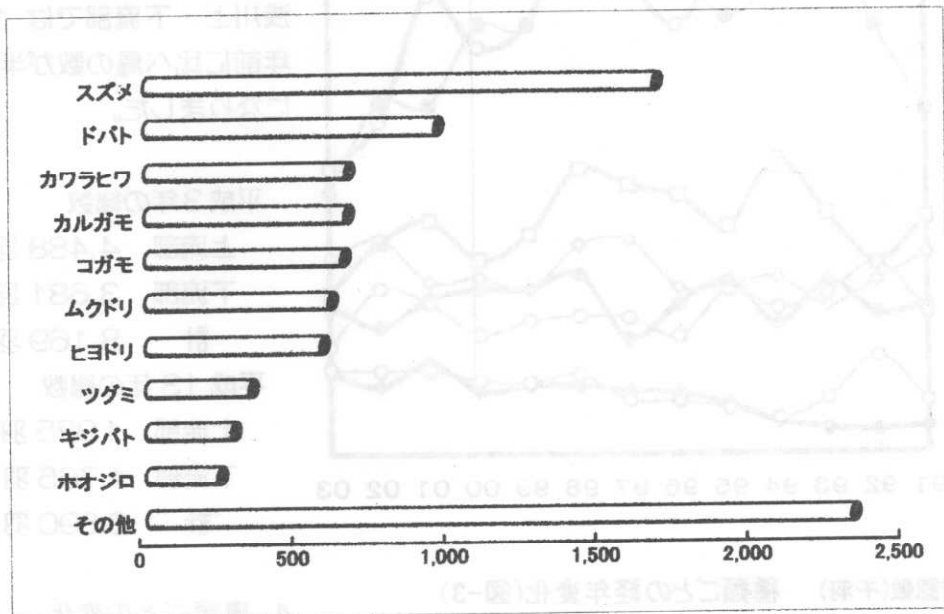
総数では、昨年と同様に鶴巻橋から大和田橋間の1,092羽

(去年は1,510羽)が最高となりました。

2. 一番多かった鳥は

浅川流域で種類ごとの上位10種は(図1)。一番多く確認された鳥はスズメの1,676羽。(昨年は2,475羽)。二位はドバトの956羽(昨年は1,375羽)で順位も同じであった。昨年3位だったコガモは今年5位であった。上位10種の鳥が総数の74%を占め、残り26%の数の中に59種の鳥が含まれます。

1991年から2000年までの10年間の平均と本年度を比較したのが(表3)。コガモとオナガガモの減少が著しい。

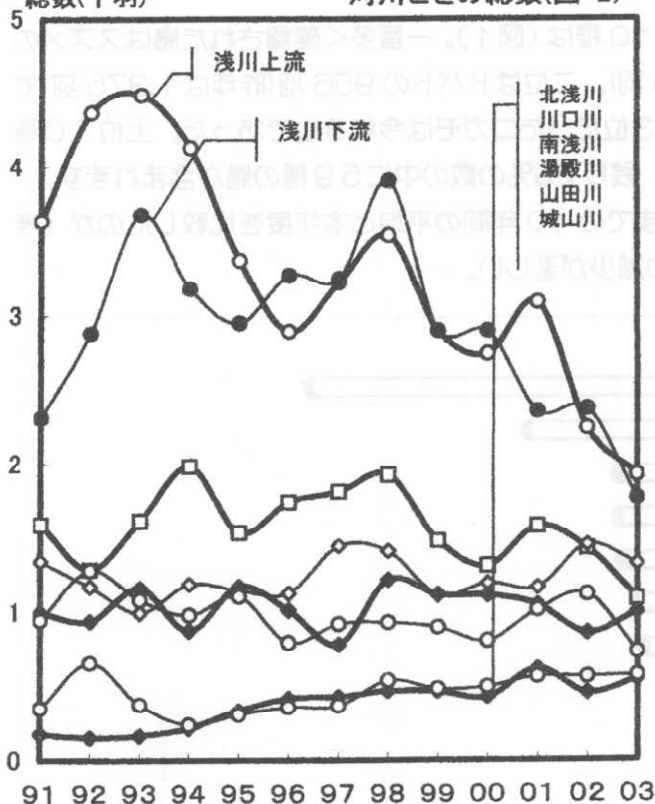


(図1) 上位10種の鳥

名称	2003年調査		過去10年間の平均	
	順位	総数	総数	順位
スズメ	1	1,676	2,362	1
コガモ	5	646	1,490	2
ドバト	2	956	1,033	3
カワラヒワ	3	664	1,006	4
カルガモ	4	568	986	5
ムクドリ	6	603	758	6
オナガガモ	19	96	556	7
カワセミ	31	28	22	36
オオタカ	44	4	3	58

(表3) 主な鳥の10年間の平均と本年度の比較

総数(千羽) 河川ごとの総数(図-2)



3. 河川ごとの変化

河川ごとに年変化の総数が(図-2)。浅川上下流の減少が見られます。

10年前に比べ、浅川上流部で約6割減。下流部で約5割の減。

浅川上・下流部では10年前に比べ鳥の数が半数になりました。

平成3年の総数

上流部 4,488羽

下流部 3,681羽

計 8,169羽

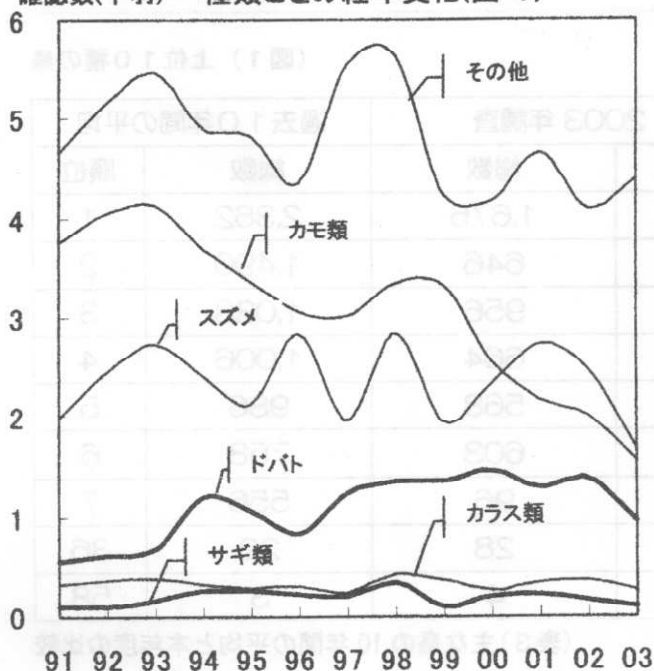
平成13年の総数

上流部 1,925羽

下流部 1,765羽

計 3,690羽

確認数(千羽) 種類ごとの経年変化(図-3)



4. 種類ごとの変化

種類ごとの経年変化が(図3)。カモ類の減少が著しく、総数減少はカモ類の減少が大きく影響している。スズメ・サギ類、カラス類に比べ、ドバトの増加が見受けられます。

各区域で確認された野鳥(一部)は以下のとおりです。詳細なデータがご希望の方は取りまとめ者までご連絡下さい。

調査区域	確認された野鳥 (一部)
北浅川	オオタカ ノスリ クサシギ クイナ アオゲラ マヒワ
浅川本流	アメリカヒドリ アカハラ カワセミ チョウゲンボウ
川口川	アオサギ コジュケイ トビ イソシギ コゲラ
南浅川	ダイサギ オナガガモ オオタカ タシギ カワセミ
城山川	コガモ ヒドリガモ シロハラ エナガ キセキレイ
山田川	コサギ カルガモ キジバト モズ シュウビタキ シメ
湯殿川	コサギ トモエガモ ヒドリガモ イソシギ カワセミ
程久保川	カワウ アオサギ ミソサザイ ショウビタキ バリケン
谷地川	カイツブリ ノスリ ルリビタキ カシラダカ シメ

調査区域		参加者		
1	北浅川	大沢橋～陵北大橋	丸山二三夫 今井達郎 清水盛道 柚木鎮夫 柚木育子 白川司 白川史子 森松幹治	
		2	陵北大橋～松枝橋	河村道寛 河村洋子 関根伸一 青木静子
3	浅川本流	松枝橋～鶴巻橋	山浦 秀雄	
4		鶴巻橋～大和田橋	倉本修 田中英吉 若狭誠	
5		大和田橋～長沼橋	佐藤哲郎 井形定子	
6		長沼橋～一番橋	山崎悠一 岩本嘉之 嶋崎太郎 小原堅嗣 中野悠紀子 萩原正昭 福井秀雄 福井代利子	
7		一番橋～ふれあい橋	馬場裕 馬場百合亜 原田佳世	
8		ふれあい橋～合流部	阿江範彦 小塩菊子 木村正子 相田弘治 細田富美代 他1名	
9		川口川	川口橋～明治橋	鈴木章七 杉森熊二 杉森ヨリ 福井司郎
10			明治橋～合流部	三好恒雄 小沢礼子 小沢節子 永見博子 佐伯直寛 井上典子
11	南浅川	案内橋～敷島橋	川上恵 横山由美子 夏目昌明 夏目満子 久保田ヤス子	
12		敷島橋～合流部	粕谷和夫 伊倉恵子	
13	城山川	月夜峰新橋～合流部	木村晴美	
14	山田川	山田橋～合流部	平井国二 平井智恵子	
15	湯殿川	白旗橋～時田橋	山崎久美子 長谷川典子	
16		時田橋～合流部	門口一雄 門口裕子	
17	程久保川	小宮橋～合流部	青木紫昌 佐藤サヨ子 渡辺仁 渡辺直美 渡辺たくみ	
18	谷地川	月見橋～左入橋	新田茂 井手龍世	
19		左入橋～合流部	大川征治 大川香 傍嶋玲子	
合計		72名		

(表3) 調査参加者

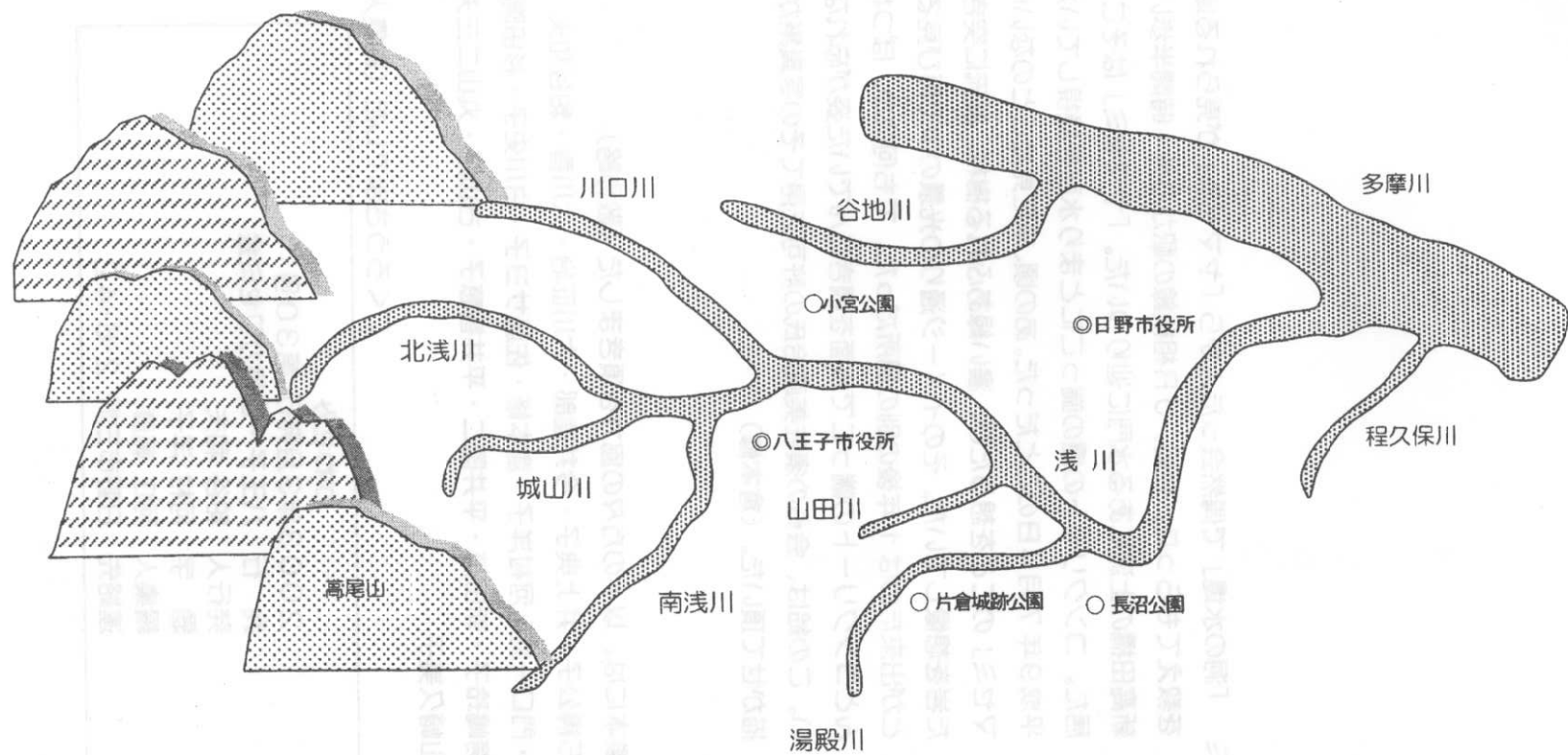
三多摩自然環境センターからの便り

会報カワセミの送付先の一つである三多摩自然環境センターに第29号を郵送したところ、「あて所に尋ねあたりません」と返送されました。同センターのHPでメールアドレスを調べ、「会報「カワセミ（年2回発行）を貴センターに届けていたのですが、役にたっていたのでしょうか？もし、貴会にとって役にたっていないのであれば、経費が無駄になりますので、これを機会に今後は送付を取止めさせていただきます。ご一報を頂ければ幸いです。」と送信したところ、以下のような返信がありました。

会報をいつもお送りいただきありがとうございます。年10回とにかく出す！がここ最近の目標になりつつある三多摩自然環境センターとしては、毎号、ぎっしり詰まった冊子をいただき、平伏する思いで見せていただいております。

三多摩自然環境センターでは、私個人の楽しみを別にすれば、会員の皆さんに「届いてます」というお知らせを出すのが精一杯です。ですから役に立っているのか??と聞かれると言葉がないのですが…。

経費削減は、当センターも同じ悩みを抱えているのでよく分かります。ですから無理は言えませんが、こちらに送っていただいた多くの会報は、すべて、資料として保存し、（その間に希望者があれば貸し出し、閲覧できるのですが残念ながら一度もその申し出はありませんが）。年度毎に、農工大人間自然共生学講座多摩文庫に寄贈し、多摩地域の自然環境保全団体活動資料としてさらに活用していただくことにしていますので、できれば今後も送付していただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。



八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲

表紙：ヤマセミ 「洞の水場」で偶然会った人から「ヤマセミ」が見られる場所を教えてもらった。翌朝、JR相模線の駅から約1時間半歩いて新高田橋の上流にある水門に辿りついた。「ヤマセミ」はそこに居た。コンクリートの堰の端っこにとまり水面を凝視していた。平成9年7月4日のことだった。あの頃、未だ見たことのない「ヤマセミ」のことを想うたび、濃い緑あふれる樹林、溪流に突き出た岩を想像していた。そのイメージ通りの光景の中で再び見ることが出来たのは1年後の別の場所だった。でも何故か、ぽつねんとコンクリートの端っこで水面を覗きこんでいた姿が忘れられない。この絵は、会員の須佐美康治氏の許可を得てその写真集から描かせて頂いた。(倉本修)

29号印刷・製本には、以下の方々の協力を頂きました(敬称略)。

青木繁昌・石橋公子・井上典子・今井達郎・大川征治・大川香・粕谷和夫
粕谷寿美子・門口一雄・河村洋子・倉本修・佐藤サヨ子・白川史子・杉田陽子
鈴木章七・傍嶋玲子・新田茂・平井国二・平井智恵子・古山隆・丸山二三夫
山崎悠一・山崎久美子

ごくろうさまでした(編集人)

かわせみ

2003年3月発行 第30号
発行 八王子・日野カワセミ会
発行人 粕谷 和夫
題字 河村 洋子
編集人 阿江 範彦
連絡先 日野市三沢 2-6-42



**Hachiōji
Kawasemikai**